

令和3年度  
桑名市民満足度調査  
調査結果報告書



令和4年2月  
桑 名 市



# 目 次

<b>I</b>	<b>調査の概要</b> .....	<b>1</b>
1	調査の目的 .....	1
2	調査対象 .....	1
3	調査期間 .....	1
4	調査方法 .....	1
5	回収状況 .....	1
6	調査結果の表示方法 .....	1
7	標本誤差について .....	2
<b>II</b>	<b>回答者属性</b> .....	<b>3</b>
<b>III</b>	<b>満足度・重要度の総覧</b> .....	<b>7</b>
<b>IV</b>	<b>調査結果</b> .....	<b>21</b>
1	中央集権型から全員参加型の市政について .....	21
2	命を守ることが最優先について .....	44
3	子どもを3人育てられるまちについて .....	69
4	世界に向けて開かれたまちについて .....	86
5	地理的優位性を活かした元気なまちについて .....	91
6	桑名をまちごと「ブランド」について .....	105
7	納税者の視点で次の世代に責任ある財政について .....	127



# I 調査の概要

## 1 調査の目的

桑名市では、市民の皆さまの意識や生活スタイルなどを把握し、各施策の進行を確認するため、定期的に「桑名市民満足度調査」を実施しています。今回は平成30年度に実施しました。

今後のまちづくりを進めていく上での基礎資料として、調査を実施するものです。

## 2 調査対象

桑名市在住の15歳以上3,500人を無作為抽出

## 3 調査期間

令和3年9月30日から令和3年10月18日

## 4 調査方法

郵送による配布・回収（インターネットによる回答を併用）

## 5 回収状況

	配布数	有効回答数	有効回答率
市民	3,500通	1,422通	40.6%

## 6 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、最も高い割合のものを下線にしています。（無回答を除く）
- ・回答者数が1桁の場合、回答件数による表記としています。

## 7 標本誤差について

今回のように全体(母集団)から一部を抽出して行う標本調査では、全体を対象に行った調査に比べて調査結果に差が生じることがあります。抽出による結果の誤差は、以下の計算式によって算出されます。(信頼度 95%)

$$\text{標本誤差} = \pm 1.96 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(1-P)}{n}}$$

N = 母集団数、n = 回答者数、P = 回答比率(0 ≤ P ≤ 1)

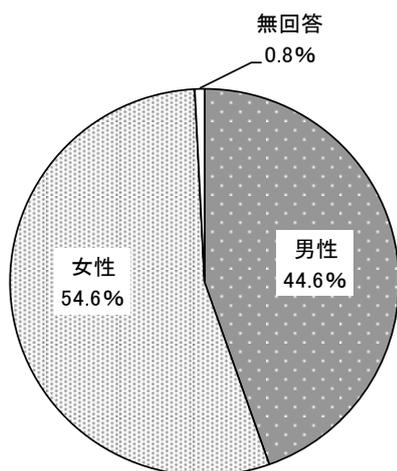
標本数と回答の比率ごとに誤差を整理したものが以下の表となります。例えば、ある設問の回答者数(n)が1,422人であり、その設問中の選択肢の回答比率(P)が50%であった場合、その回答比率の誤差は±2.6%となり、47.4%~52.6%の範囲にあると考えられます。

	回答者数(n)	回答比率(P)									
		5% 95%	10% 90%	15% 85%	20% 80%	25% 75%	30% 70%	35% 65%	40% 60%	45% 55%	50%
全体	1,422	1.1	1.6	1.8	2.1	2.2	2.4	2.5	2.5	2.6	2.6
男性	634	1.7	2.3	2.8	3.1	3.4	3.5	3.7	3.8	3.9	3.9
30歳未満	62	5.4	7.4	8.9	9.9	10.7	11.4	11.8	12.2	12.3	12.4
30~39歳	60	5.5	7.6	9.0	10.1	10.9	11.6	12.0	12.4	12.5	12.6
40~49歳	97	4.3	5.9	7.1	7.9	8.6	9.1	9.4	9.7	9.9	9.9
50~59歳	100	4.3	5.9	7.0	7.8	8.4	8.9	9.3	9.6	9.7	9.8
60~69歳	109	4.1	5.6	6.7	7.5	8.1	8.5	8.9	9.1	9.3	9.3
70~74歳	96	4.3	5.9	7.1	7.9	8.6	9.1	9.4	9.7	9.9	9.9
75歳以上	105	4.1	5.7	6.8	7.6	8.2	8.7	9.1	9.3	9.5	9.5
女性	776	1.5	2.1	2.5	2.8	3.0	3.2	3.3	3.4	3.5	3.5
30歳未満	96	4.3	6.0	7.1	8.0	8.6	9.1	9.5	9.8	9.9	10.0
30~39歳	99	4.3	5.9	7.0	7.8	8.5	9.0	9.3	9.6	9.7	9.8
40~49歳	131	3.7	5.1	6.1	6.8	7.4	7.8	8.1	8.3	8.5	8.5
50~59歳	105	4.1	5.7	6.8	7.6	8.2	8.7	9.1	9.3	9.5	9.5
60~69歳	127	3.8	5.2	6.2	6.9	7.5	7.9	8.2	8.5	8.6	8.6
70~74歳	95	4.3	6.0	7.1	8.0	8.6	9.1	9.5	9.8	9.9	10.0
75歳以上	122	3.8	5.3	6.3	7.1	7.6	8.1	8.4	8.6	8.8	8.8

## II 回答者属性

### 【性別】

全 体	男性	女性	その他	無回答
1,422	634	776	-	12
100.0%	44.6%	<b>54.6%</b>	-	0.8%

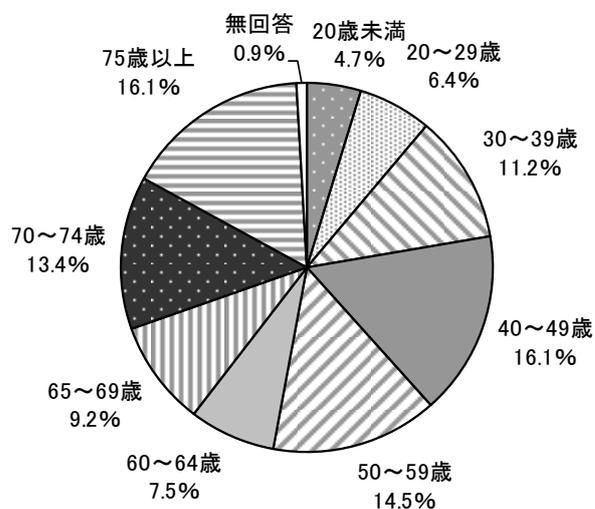


回答者の性別は、「男性」の割合が44.6%、「女性」の割合が54.6%となっています。

回答者数 = 1,422

### 【年齢】

全 体	20歳未満	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上	無回答
1,422	67	91	159	229	206	106	131	191	229	13
100.0%	4.7%	6.4%	11.2%	<b>16.1%</b>	14.5%	7.5%	9.2%	13.4%	<b>16.1%</b>	0.9%

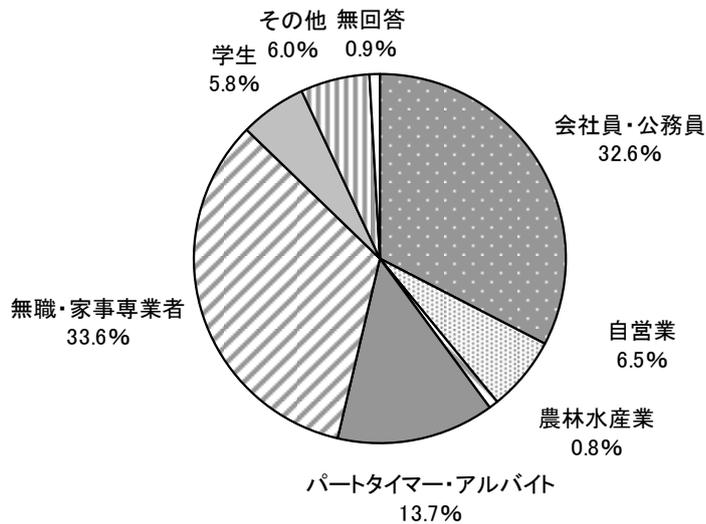


年齢は、「40～49歳」、「75歳以上」の割合が16.1%と最も高く、次いで「50～59歳」の割合が14.5%となっています。

回答者数 = 1,422

【職業】

全 体	会社員・ 公務員	自営業	農林 水産業	パートタイ マー・アル バイト	無職・家事 専業者	学生	その他	無回答
1,422	463	93	11	195	478	83	86	13
100.0%	32.6%	6.5%	0.8%	13.7%	<u>33.6%</u>	5.8%	6.0%	0.9%

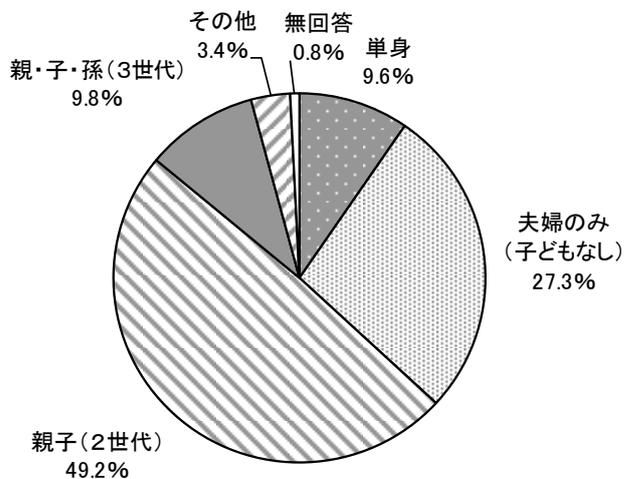


職業は、「無職・家事専業者」の割合が33.6%と最も高く、次いで「会社員・公務員」の割合が32.6%、「パートタイマー・アルバイト」の割合が13.7%となっています。

回答者数 = 1,422

【家族構成】

全 体	単身	夫婦のみ (子どもなし)	親子(2世代)	親・子・孫 (3世代)	その他	無回答
1,422	136	388	699	140	48	11
100.0%	9.6%	27.3%	<u>49.2%</u>	9.8%	3.4%	0.8%

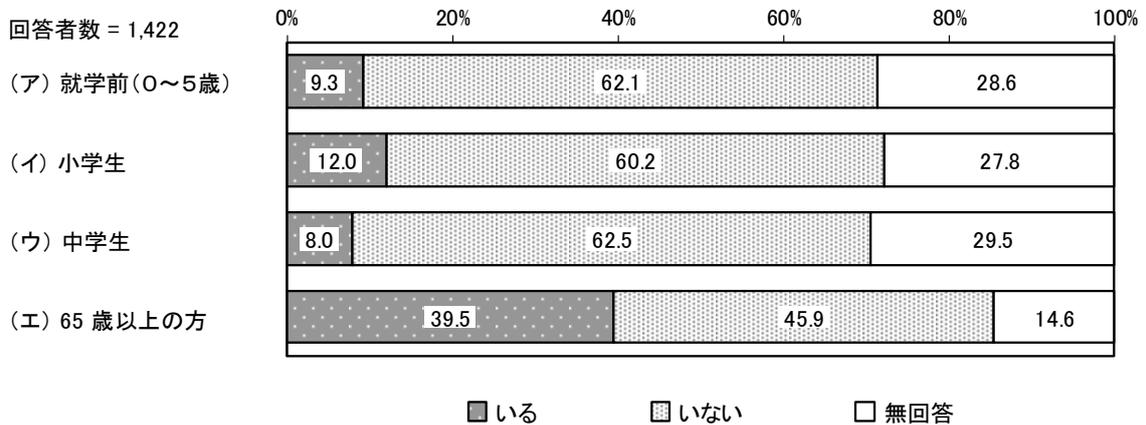


家族構成は、「親子(2世代)」の割合が49.2%と最も高く、次いで「夫婦のみ(子どもなし)」の割合が27.3%となっています。

回答者数 = 1,422

【同居家族（子ども・高齢者）】

	全 体	いる	いない	無回答
(ア) 就学前(0~5歳)	1,422	132	883	407
	100.0%	9.3%	<u>62.1%</u>	28.6%
(イ) 小学生	1,422	171	856	395
	100.0%	12.0%	<u>60.2%</u>	27.8%
(ウ) 中学生	1,422	114	889	419
	100.0%	8.0%	<u>62.5%</u>	29.5%
(エ) 65歳以上の方	1,422	562	652	208
	100.0%	39.5%	<u>45.9%</u>	14.6%



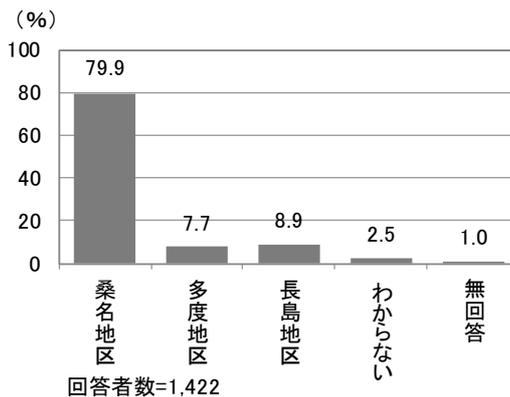
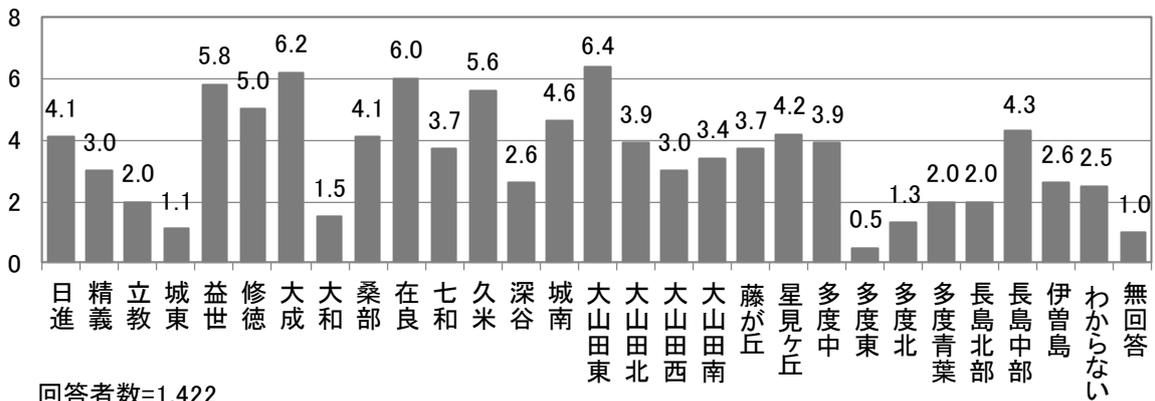
同居家族に就学前（0～5歳）の子どもがいる人は9.3%、小学生がいる人は12.0%、中学生がいる人は8.0%、65歳以上の方（高齢者）がいる人は39.5%となっています。

【小学校区】

全 体	日進小学校区	精義小学校区	立教小学校区	城東小学校区	益世小学校区	修徳小学校区
1,422	59	43	28	16	82	71
100.0%	4.1%	3.0%	2.0%	1.1%	5.8%	5.0%
	大成小学校区	大和小校区	桑部小学校区	在良小学校区	七和小校区	久米小学校区
	88	21	59	86	53	79
	6.2%	1.5%	4.1%	6.0%	3.7%	5.6%
	深谷小学校区	城南小学校区	大山田東小学校区	大山田北小学校区	大山田西小学校区	大山田南小学校区
	37	65	91	56	42	48
	2.6%	4.6%	<b>6.4%</b>	3.9%	3.0%	3.4%
	藤が丘小学校区	星見ヶ丘小学校区	多度中小学校区	多度東小学校区	多度北小学校区	多度青葉小学校区
	52	60	55	7	18	29
	3.7%	4.2%	3.9%	0.5%	1.3%	2.0%
	長島北部小学校区	長島中部小学校区	伊曽島小学校区	わからない	無回答	
	29	61	37	36	14	
	2.0%	4.3%	2.6%	2.5%	1.0%	

現在住んでいる小学校区は、「大山田東」小学校区が 6.4%で最も高く、次いで「大成」(6.2%)、「在良」(6.0%)、「益世」(5.8%)、「久米」(5.6%) の順で高くなっています。

(%)



### Ⅲ 満足度・重要度の総覧

#### 【ポートフォリオによる分析】

##### (1) 満足度・今後の重要性の得点化

32 項目の質問項目について、「満足度」と「重要度」を5つの選択肢の中から回答してもらい、下記の手順で得点化し、分析を行いました。

#### ■満足度・今後の重要性の得点化の手順■

満足度		得点		重要度		得点
満足	→	2 点		力を入れて 取り組むべき	→	2 点
どちらかといえ ば満足	→	1 点		できれば力を入 れて取り組むべき	→	1 点
ふつう	→	0 点		今のままでよい	→	0 点
どちらかといえ ば不満	→	-1 点		あまり力を入れな くてもよい	→	-1 点
不満	→	-2 点		力を入れなくても よい	→	-2 点
無回答	→	計算対象外		無回答	→	計算対象外

#### ■得点の算出式■

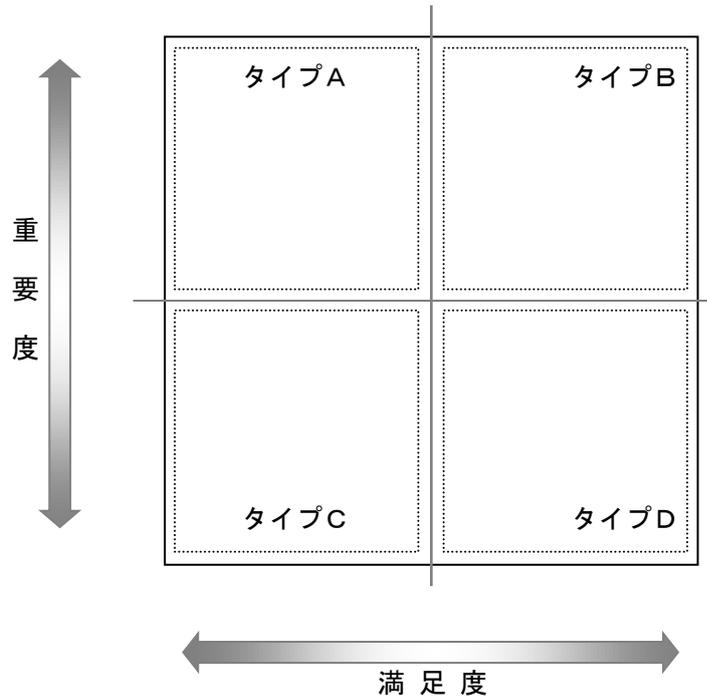
$$\begin{aligned}
 & 2点 \times \text{「満足（力を入れて取り組むべき）」の回答数} \\
 & + 1点 \times \text{「どちらかといえば満足できれば力を入れて取り組むべき」の回答数} \\
 & + 0点 \times \text{「ふつう（今のままでよい）」の回答数} \\
 & - 1点 \times \text{「どちらかといえば不満（あまり力を入れなくてもよい）」の回答数} \\
 & - 2点 \times \text{「不満（力を入れなくてもよい）」の回答数} / \text{無回答を除く回答数}
 \end{aligned}$$

算出された満足度・重要度の得点をもとに、各施策の満足度・重要度別に順位付けを行いました。

## (2) ポートフォリオ分析による満足度・重要度の評価

各項目の満足度・重要度の得点の関係について、満足度・重要度をそれぞれ縦軸と横軸にとり、得点の平均値を境界として、4つの領域に区分したプロット図を作成し、今後の施策の方向性について分析しました。

施策は、全体的に満足度が低く、重要度が高い傾向があり、その中でも重要度および満足度が高い理由についての検証が必要なタイプBに特に分布しています。

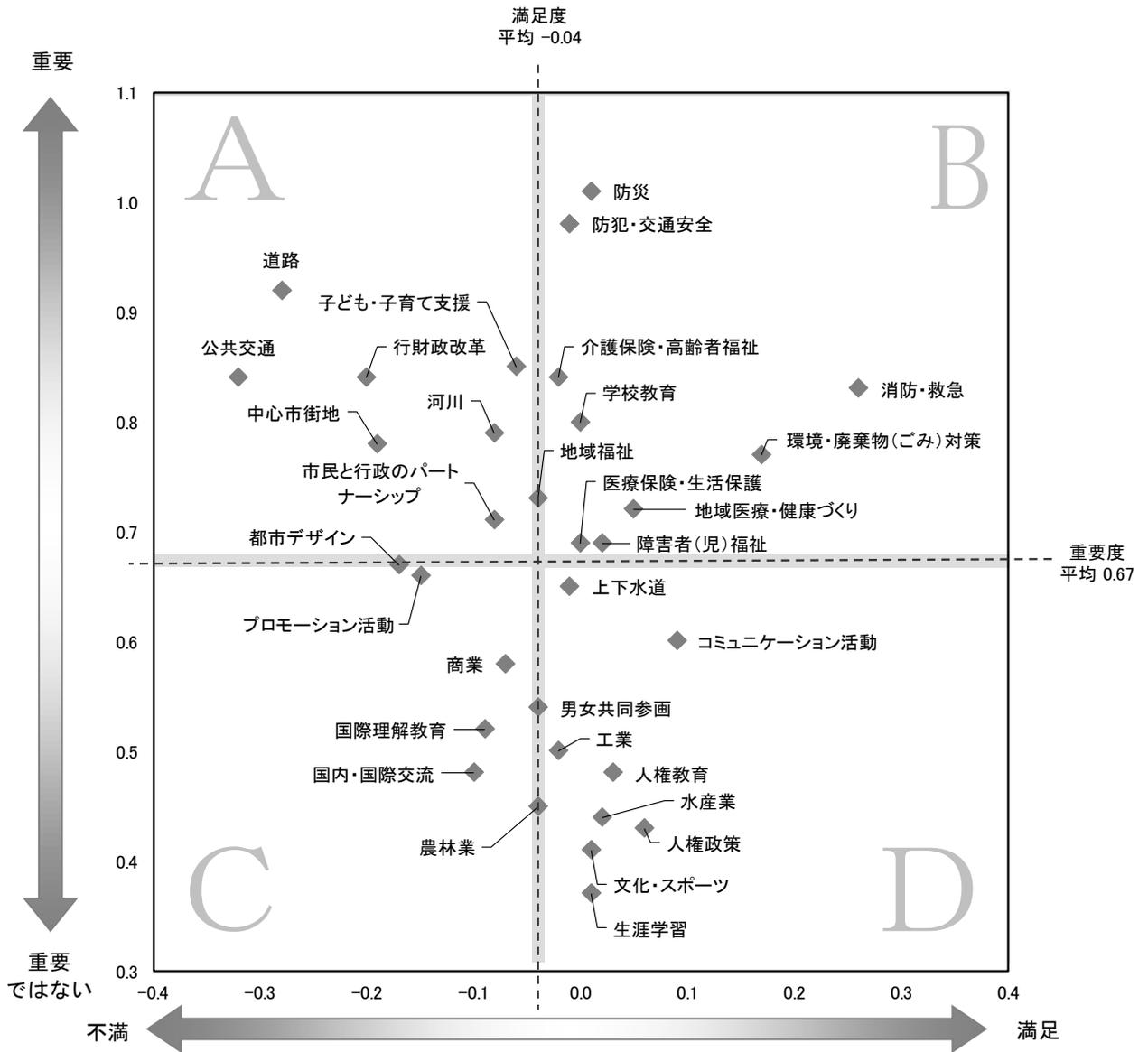


- ◆タイプA      **満足度は低いが、重要度は高い**  
→ 今後の重点課題として検討が必要なタイプ。
- ◆タイプB      **満足度は高く、重要度も高い**  
→ 事業の継続実施、もしくは施策展開について検討が必要なタイプ。
- ◆タイプC      **満足度は低く、重要度も低い**  
→ 全体に比べ、重要度および満足度が低い理由についての検証が必要なタイプ。施策の縮小や廃止などを含めた検討が必要。
- ◆タイプD      **満足度は高いが、重要度は低い**  
→ これまでの施策が充実した結果、満足度が高くなったものが含まれていると考えられるタイプ。ただし、施策が過剰になっていないか検討が必要。

●施策のポートフォリオ分析【全体】

満足度・重要度の分布図を全体でみると、今後重点的に取り組むことが期待される施策分野として、「道路」「公共交通」「行財政改革」「河川」「中心市街地」「市民と行政のパートナーシップ」などが該当しています。

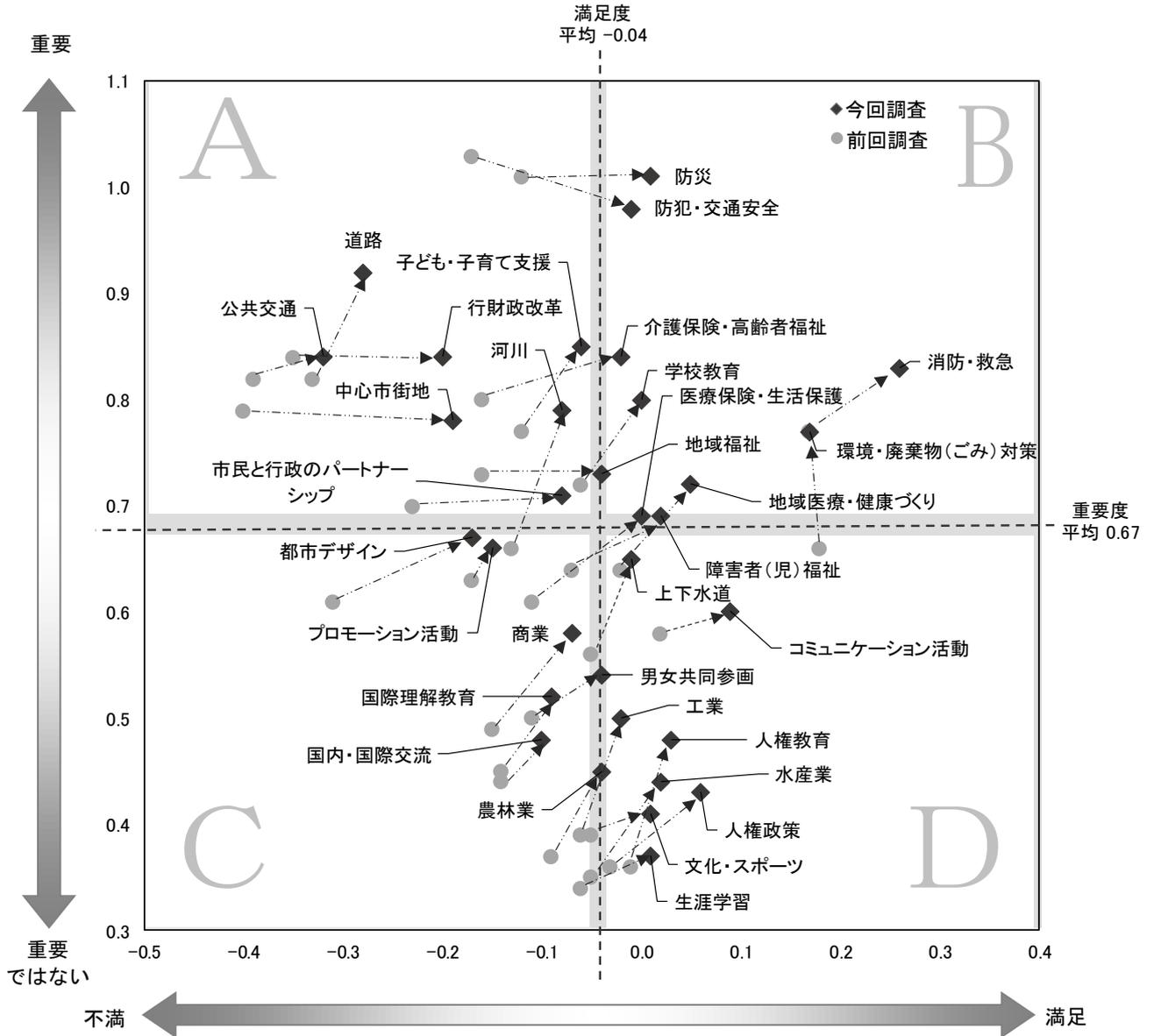
図表 1 満足度・重要度の分布図【全体】



●施策のポートフォリオ分析【前回調査との比較】

満足度・重要度の分布図を前回の調査と比較すると、今後重点的に取り組むことが期待される施策分野で、「道路」「子ども・子育て支援」「河川」などが増加しています。

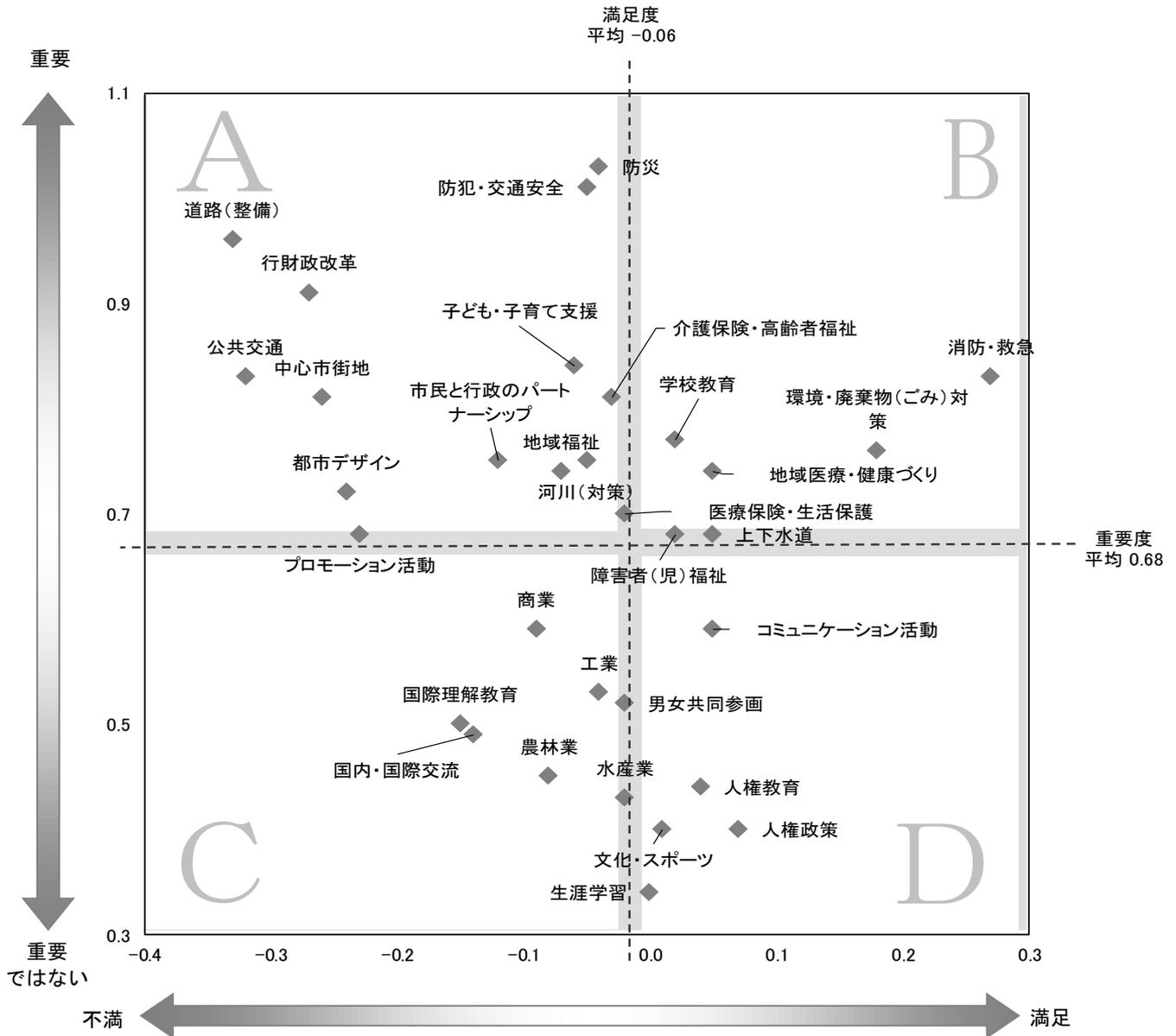
図表 2 満足度・重要度の分布図【前回調査との比較】



●施策のポートフォリオ分析【男性】

満足度・重要度の分布図を性別でみると、男性では、今後重点的に取り組むことが期待される施策分野として、「防災」「防犯・交通安全」「道路（整備）」「行財政改革」「公共交通」「中心市街地」「都市デザイン」「市民と行政のパートナーシップ」「地域福祉」「河川（対策）」などが該当しています。

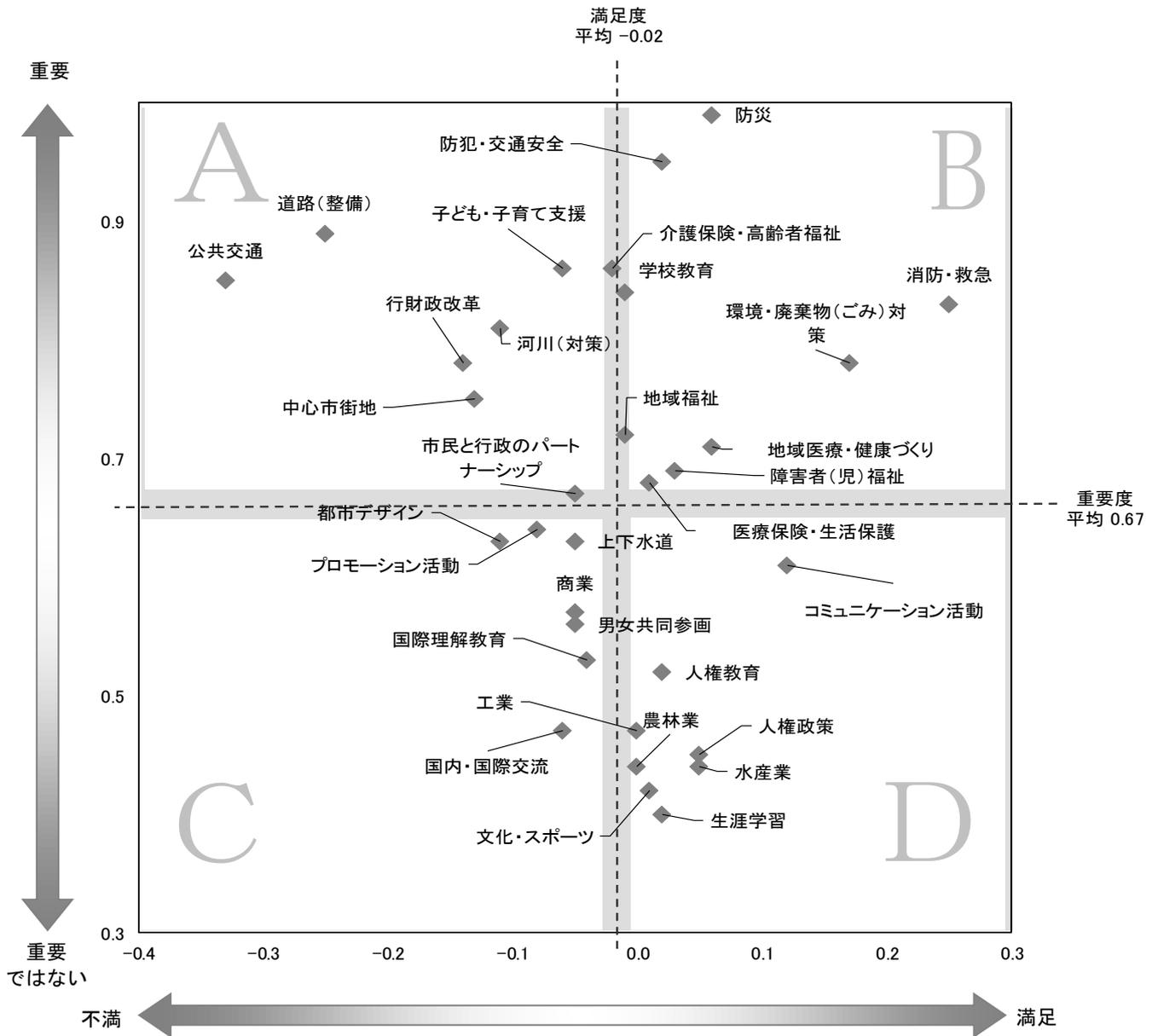
図表 3 満足度・重要度の分布図【男性】



●施策のポートフォリオ分析【女性】

女性では、今後重点的に取り組むことが期待される施策分野として、「公共交通」「子ども・子育て支援」「道路（整備）」「行財政改革」「中心市街地」「河川（対策）」などが該当しています。

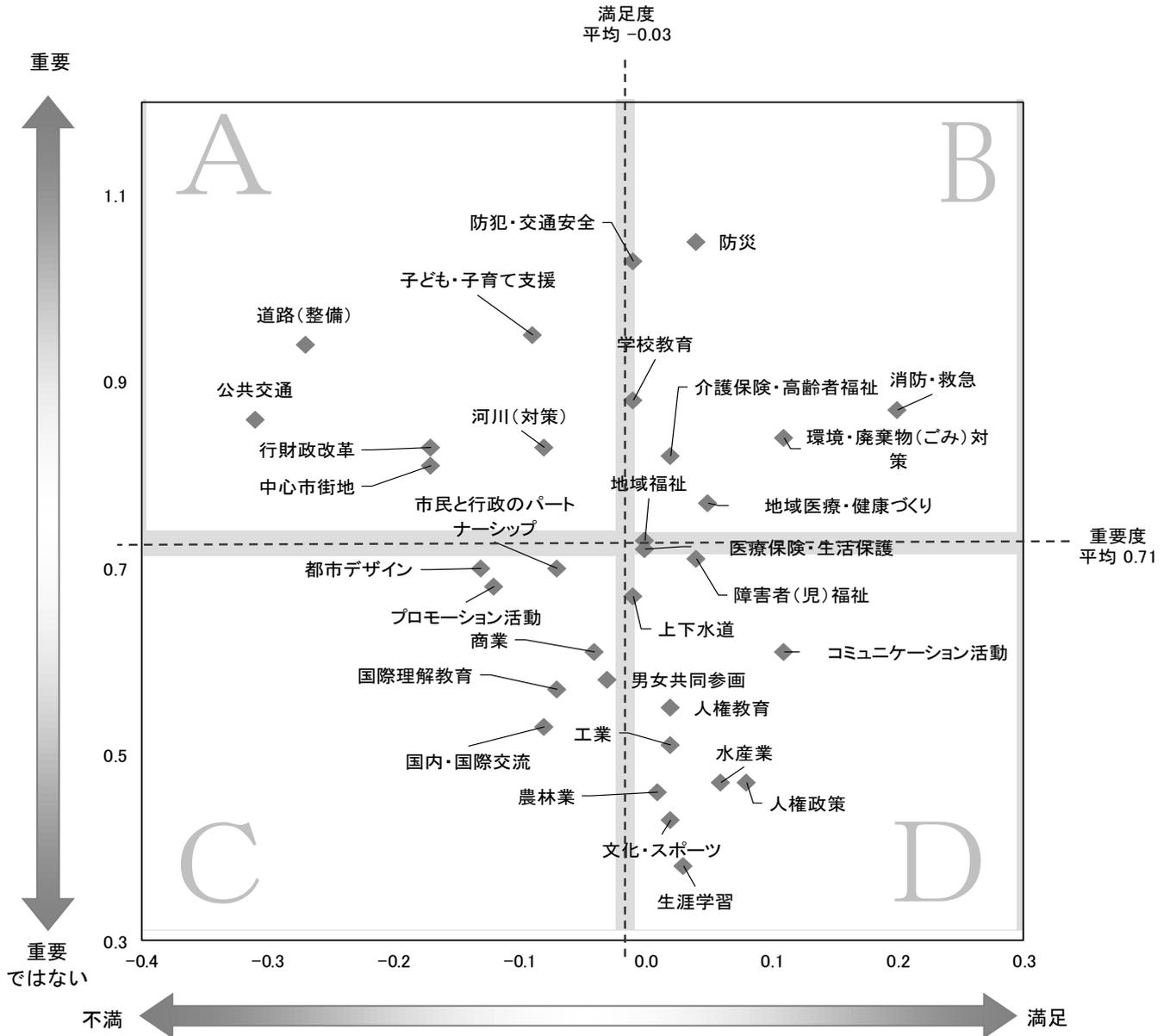
図表 4 満足度・重要度の分布図【女性】



●施策のポートフォリオ分析【15～64歳】

年齢2区分別で見ると、15～64歳では、今後重点的に取り組むことが期待される施策分野として、「公共交通」「行財政改革」「子ども・子育て支援」「道路（整備）」「中心市街地」「河川（対策）」などが該当しています。

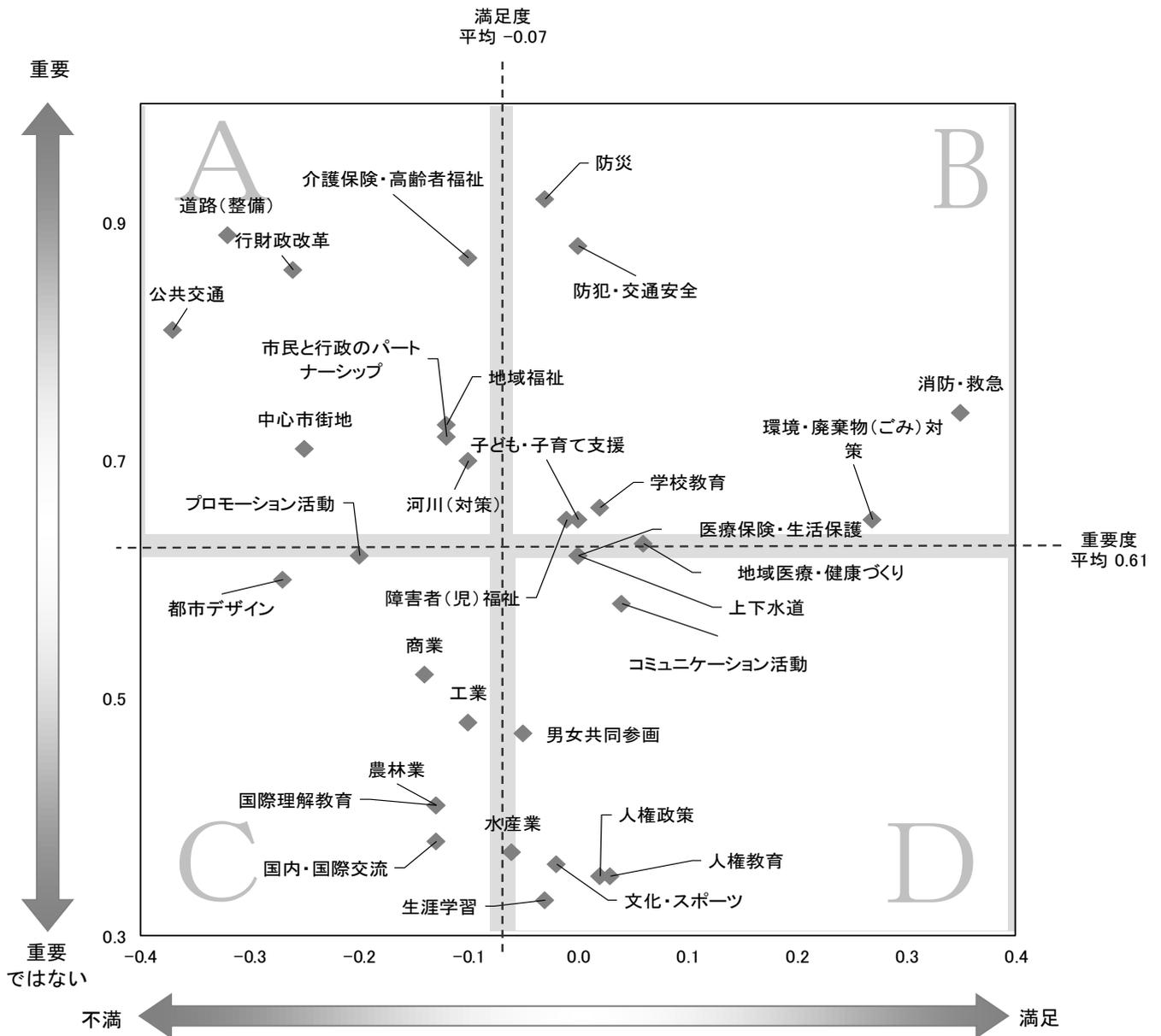
図表 5 満足度・重要度の分布図【15～64歳】



●施策のポートフォリオ分析【65歳以上】

65歳以上では、今後重点的に取り組むことが期待される施策分野として、「介護保険・高齢者福祉」「道路（整備）」「行財政改革」「公共交通」「市民行政パートナーシップ」「中心市街地」「地域福祉」「河川（対策）」などが該当しています。

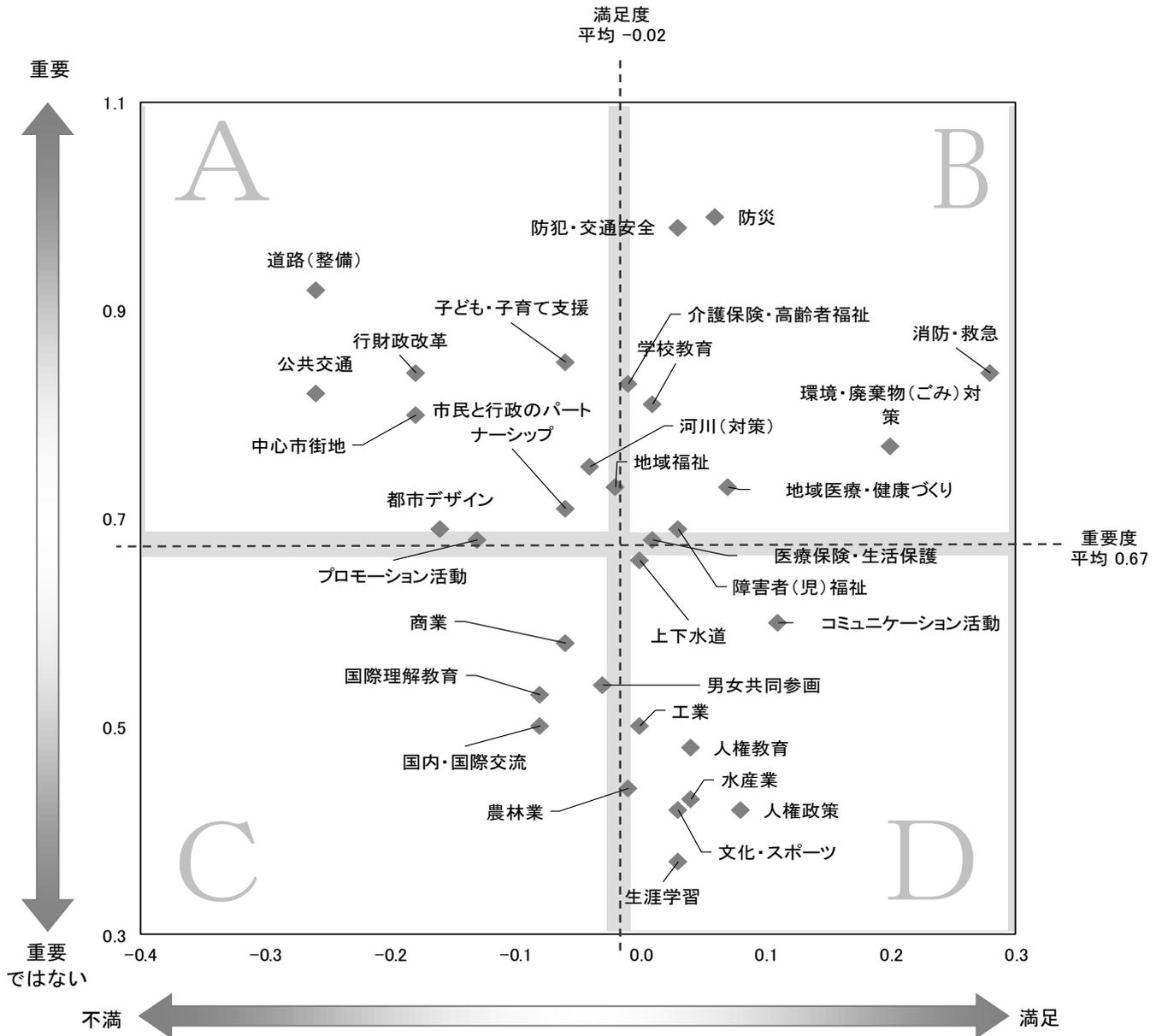
図表 6 満足度・重要度の分布図【65歳以上】



●施策のポートフォリオ分析【桑名地域】

桑名地域では、今後重点的に取り組むことが期待される施策分野として、「中心市街地」「行財政改革」「道路（整備）」「公共交通」「子ども・子育て支援」「市民と行政のパートナーシップ」などが該当しています。

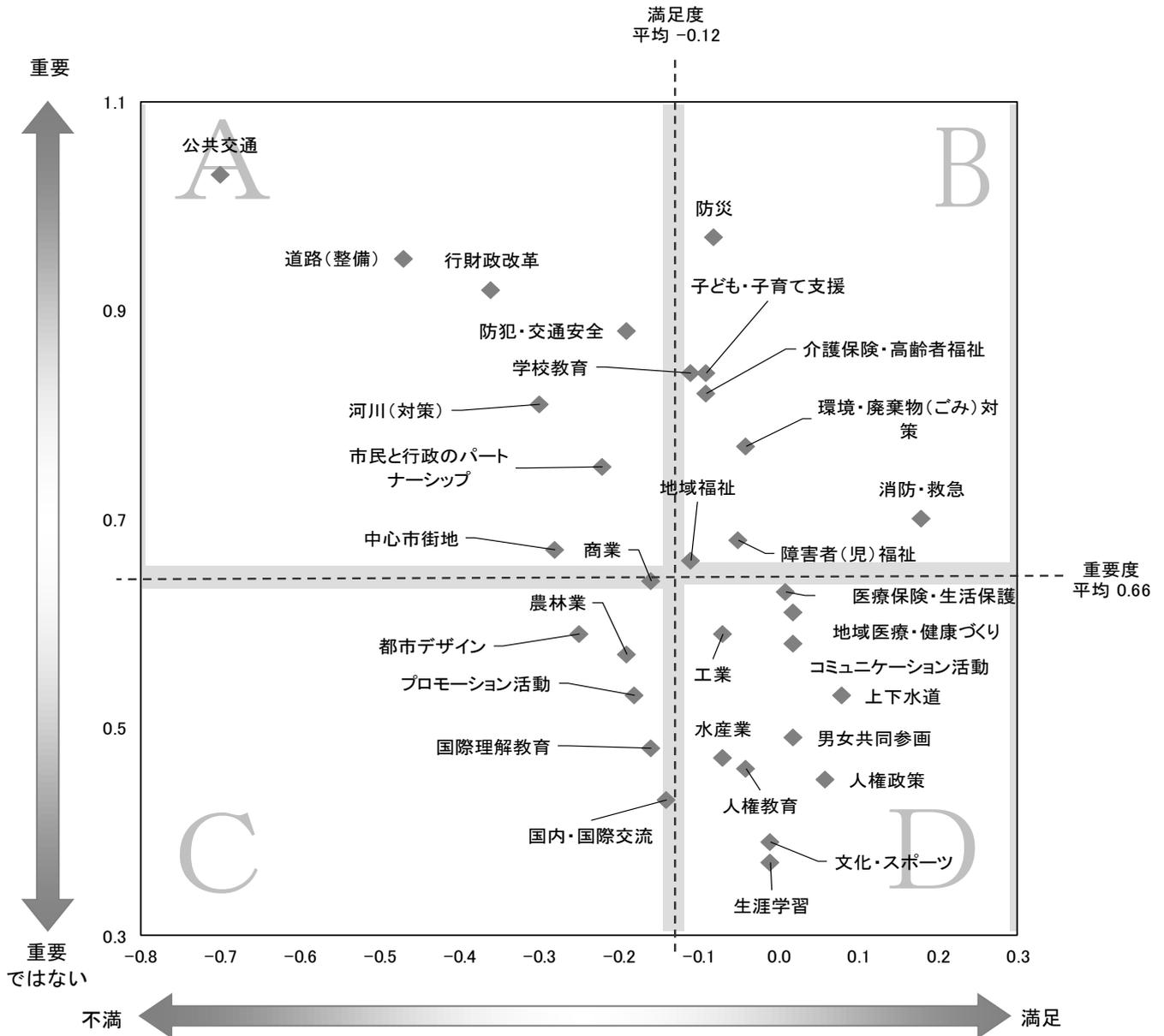
図表 7 満足度・重要度の分布図【桑名地域】



●施策のポートフォリオ分析【多度地域】

多度地域では、今後重点的に取り組むことが期待される施策分野として、「防犯・交通安全」「行財政改革」「道路（整備）」「公共交通」「河川（対策）」「市民と行政のパートナーシップ」「中心市街地」などが該当しています。

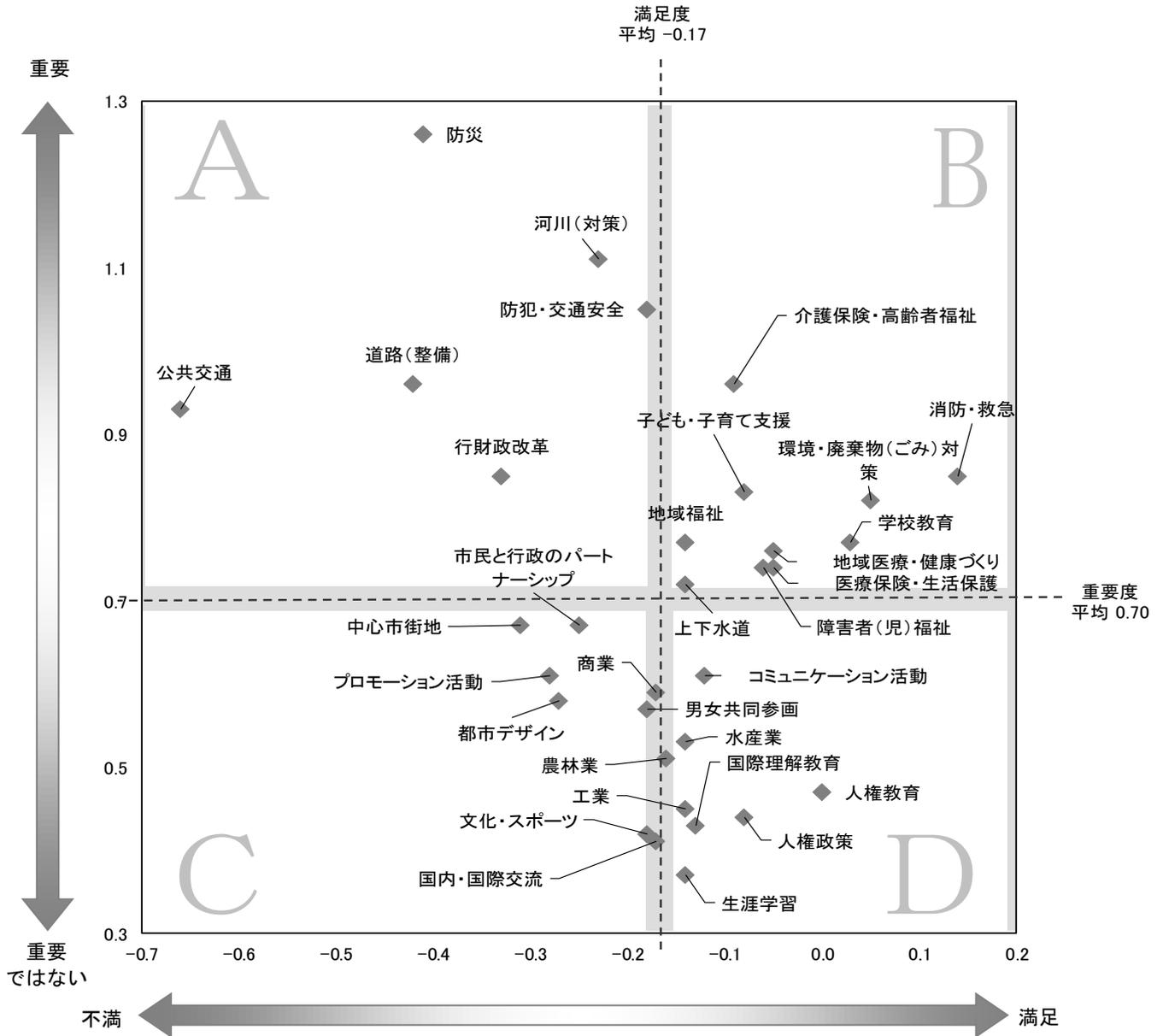
図表 8 満足度・重要度の分布図【多度地域】



●施策のポートフォリオ分析【長島地域】

長島地域では、今後重点的に取り組むことが期待される施策分野として、「防災」「行財政改革」「道路（整備）」「公共交通」「防犯・交通安全」などが該当しています。

図表 9 満足度・重要度の分布図【長島地域】



## まちづくり施策のニーズ得点

市の施策についてのニーズ得点は「道路(整備)」が 12.858 ポイントで最も高くなっています。

ニーズ得点は、満足度が低く重要度が高いほど得点となる指標です。ニーズ得点が高い施策ほど、今後優先的に取り組む必要があることを示しています。

今回の調査では、ニーズ得点は「道路(整備)」が 12.858 ポイントで最も高く、次いで「公共交通(電車、バス等)」が 12.749 ポイントで続いています。

### ニーズ得点の求め方

ニーズ得点は、下式により算出されるサンプル毎の得点の全体平均であり、市民のニーズが高いほど、かつ満足度が低いほど得点が高くなる指標です。

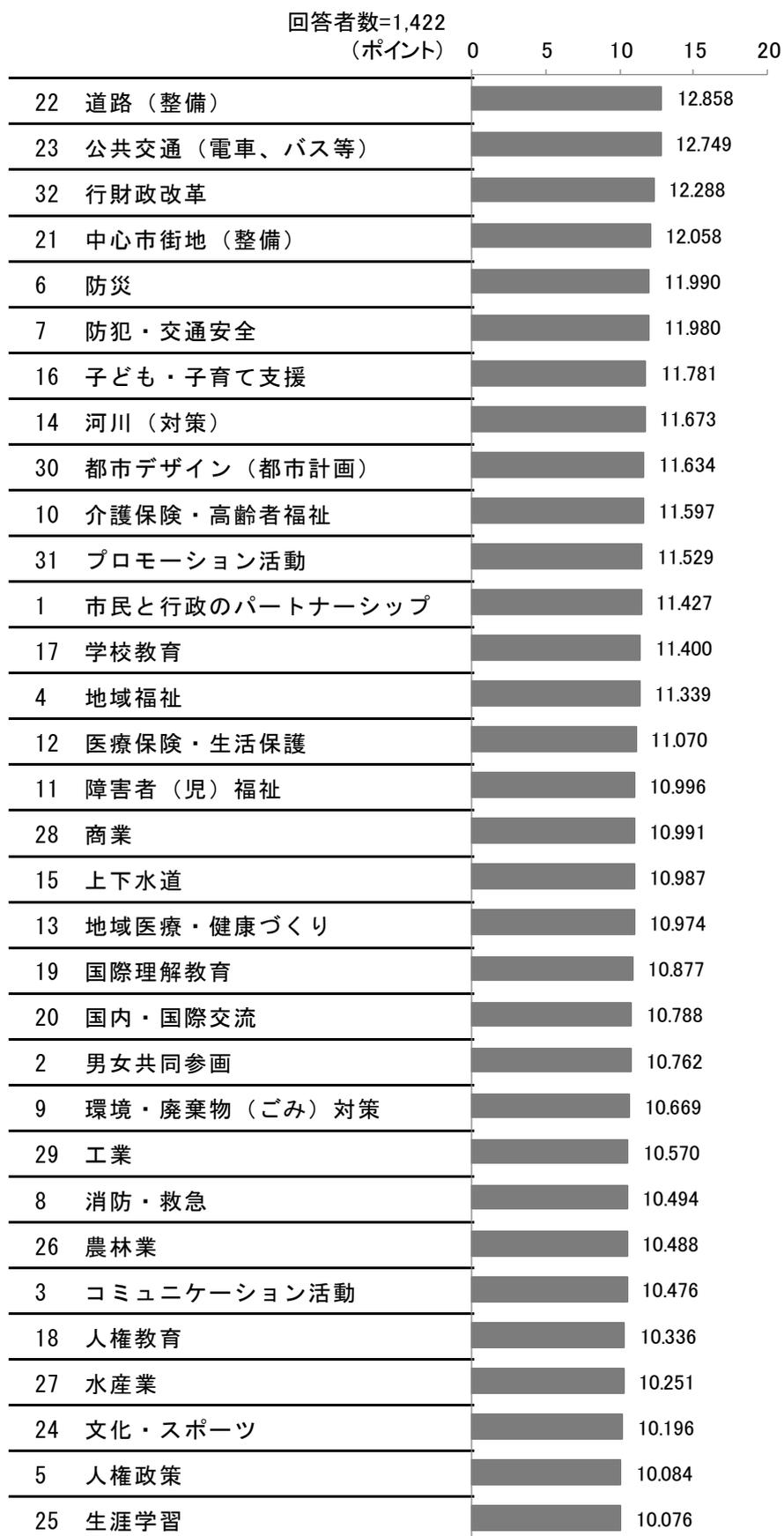
下表のように得点設定をし、25点(5点×5点)を満点として、算出しました。

満足度得点		重要度得点	
不満	(5点)	力を入れて取り組むべき	(5点)
どちらかといえば不満	(4点)	できれば力を入れて取り組むべき	(4点)
ふつう	(3点)	今のままでよい	(3点)
どちらかといえば満足	(2点)	あまり力を入れなくてもよい	(2点)
満足	(1点)	力を入れなくてもよい	(1点)

#### [計算式]

$$\text{ニーズ得点} = \text{満足度得点} \times \text{重要度得点}$$

図表 10 ニーズ得点



◎ニーズ得点は、「道路（整備）」が性別、年齢を問わず高くなっています。女性は「公共交通（電車、バス等）」「道路（整備）」「河川（対策）」などの交通手段や安全・安心面に関する項目、65歳以上の高齢者は「介護保険・高齢者福祉」が高くなっています。地域別では、桑名地域は「道路（整備）」、多度地域は「公共交通（電車、バス等）」、長島地域は「防災」が最も高くなっています。

- ・ニーズ得点を性別で見ると、男性では「道路（整備）」「行財政改革」「公共交通（電車、バス等）」が高くなっています。女性では「公共交通（電車、バス等）」「道路（整備）」「行財政改革」が高くなっています。
- ・年齢（2区分）別で見ると、15～64歳では「道路（整備）」「公共交通（電車、バス等）」「子ども・子育て支援」が高くなっています。65歳以上では「道路（整備）」「公共交通（電車、バス等）」、「中心市街地（整備）」「行財政改革」が高くなっています。
- ・地域別で見ると、桑名地域では「道路（整備）」、多度地域では「公共交通（電車、バス等）」、長島地域では「防災」が高くなっています。

図表 11 性別・年齢別・地域別「ニーズ得点」の上位5項目

		上位5項目				
全体		道路(整備)	公共交通 (電車、バス等)	行財政改革	中心市街地 (整備)	防災
回答者数=1,422		12.858	12.749	12.288	12.058	11.990
性別	男性	道路(整備)	行財政改革	公共交通 (電車、バス等)	中心市街地 (整備)	防災
	回答者数=634	13.187	12.786	12.716	12.421	12.251
	女性	公共交通 (電車、バス等)	道路(整備)	行財政改革	河川(対策)	子ども・ 子育て支援
	回答者数=776	12.821	12.643	11.869	11.849	11.812
年齢別	15～64歳	道路(整備)	公共交通 (電車、バス等)	子ども・ 子育て支援	行財政改革	防犯・交通安全
	回答者数=858	12.884	12.777	12.206	12.141	12.130
	65歳以上	道路(整備)	公共交通 (電車、バス等)	行財政改革	中心市街地 (整備)	介護保険・ 高齢者福祉
	回答者数=551	12.915	12.840	12.584	12.058	11.997
地域別	桑名地域	道路(整備)	公共交通 (電車、バス等)	行財政改革	中心市街地 (整備)	防犯・交通安全
	回答者数=1,136	12.779	12.453	12.211	12.084	11.821
	多度地域	公共交通 (電車、バス等)	道路(整備)	行財政改革	河川(対策)	防犯・交通安全
	回答者数=109	14.911	13.707	13.171	12.573	12.377
	長島地域	防災	公共交通 (電車、バス等)	道路(整備)	河川(対策)	防犯・交通安全
回答者数=127	14.527	14.384	13.543	13.275	12.879	

## IV 調査結果

### 1 中央集権型から全員参加型の市政について

#### <市民と行政のパートナーシップ>

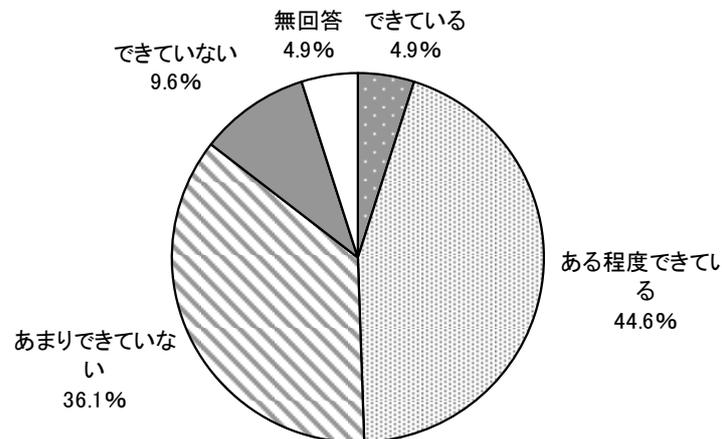
問7 桑名市は、市民、企業、行政などが共に考え、共に力を合わせた地域づくり（協働）ができていると思いますか。（○はひとつ）

全 体	できている	ある程度 できている	あまり できていない	できていない	無回答
1,422	70	634	513	136	69
100.0%	4.9%	<u>44.6%</u>	36.1%	9.6%	4.9%

◎市民、企業、行政が協働した地域づくりができていると思う市民は49.5%です。

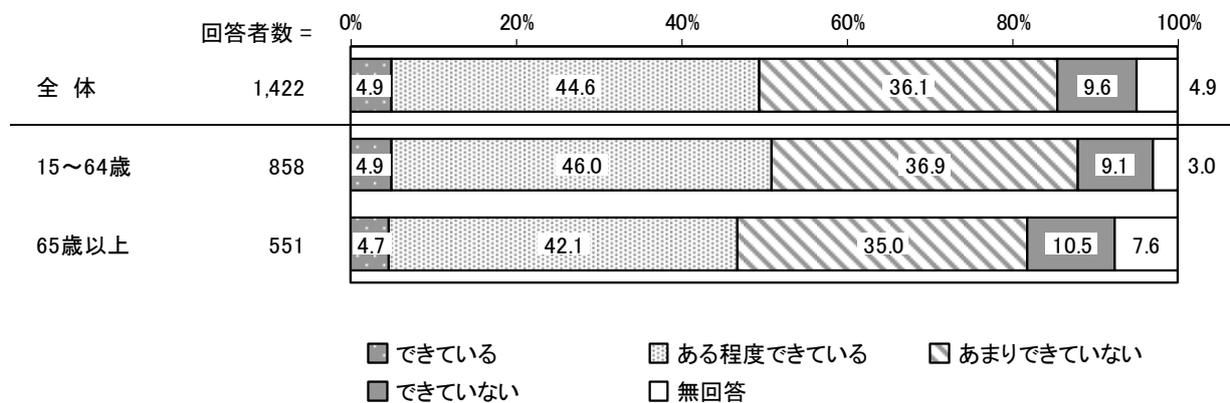
- ・市民、企業、行政が協働した地域づくりについては、「できている」（4.9%）と「ある程度できている」（44.6%）を合わせた『できている』と思う人は49.5%となっています。一方、「あまりできていない」（36.1%）と「できていない」（9.6%）を合わせた『できていない』と思う人は45.7%となっています。

図表 12 市民、企業、行政が協働した地域づくりの実現への評価



回答者数 = 1,422

図表 13 市民、企業、行政が協働した地域づくりの実現への評価【年齢別】



【年齢別】

年齢別で見ると、大きな差異はみられませんでした。

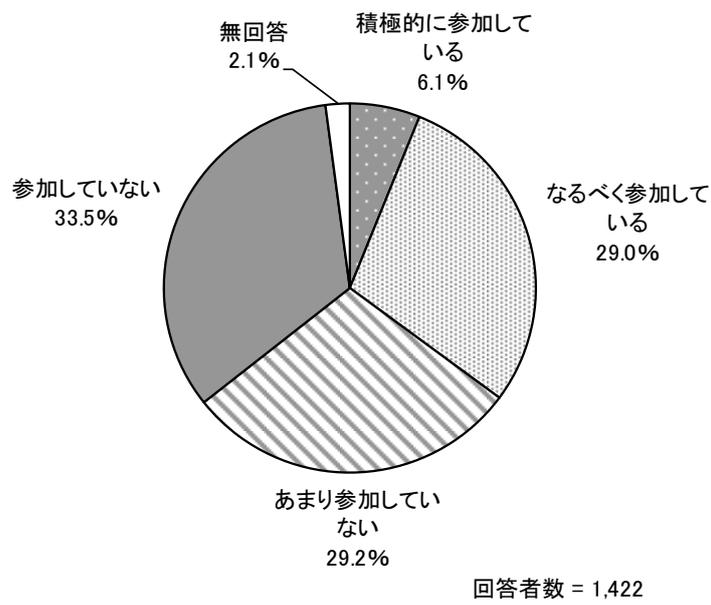
問8 あなたは、地域活動（自治会、子ども老人会など）にどの程度参加していますか。（○はひとつ）

全 体	積極的に参加している	なるべく参加している	あまり参加していない	参加していない	無回答
1,422	87	413	415	477	30
100.0%	6.1%	29.0%	29.2%	<u>33.5%</u>	2.1%

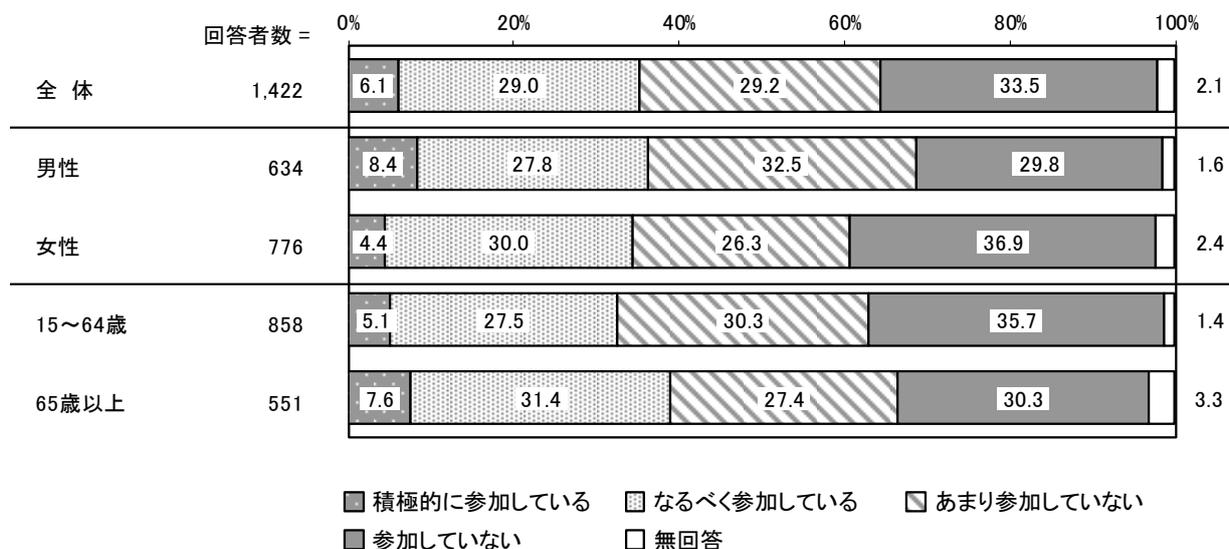
◎地域活動（自治会、子ども会、老人会など）に参加している市民は35.1%です。

・地域活動（自治会、子ども会、老人会など）への参加状況は、「積極的に参加している」（6.1%）と「なるべく参加している」（29.0%）を合わせた『参加している』人は35.1%となっています。一方、「あまり参加していない」（29.2%）と「参加していない」（33.5%）を合わせた『参加していない』人は62.7%となっています。

図表 14 地域活動への参加状況



図表 15 地域活動への参加状況【性別・年齢別】



【性別】

性別でみると、大きな変化はみられません。

【年齢別】

年齢別でみると、『参加していない』人は、15～64歳（66.0%）が65歳以上（57.7%）より8.3ポイント高くなっています。

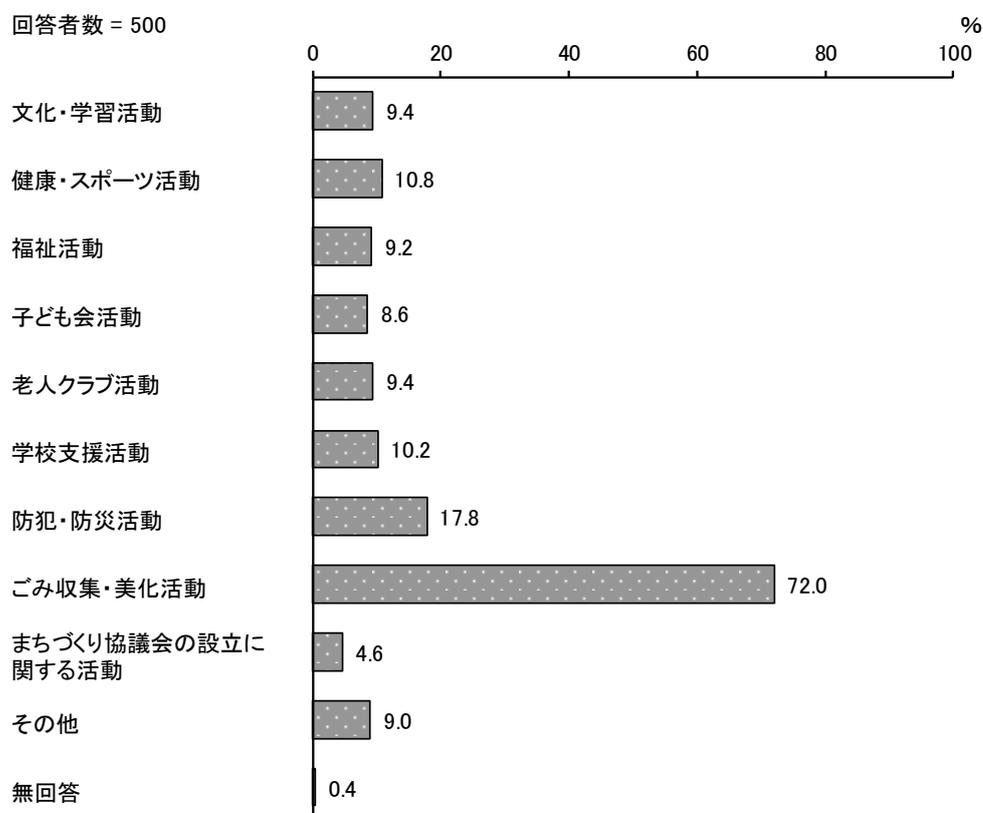
問 8 - 1 「1. 積極的に参加している」「2. なるべく参加している」とお答えの方にお聞きします。具体的にこの1年間で参加した活動に○をつけてください。  
(○はいくつでも)

全 体	文化・ 学習 活動	健康・ スポー ツ活動	福祉 活動	子ども 会活動	老人ク ラブ 活動	学校支 援活動	防犯・ 防災 活動	ごみ収 集・美 化活動	まちづくり 協議会の 設立に関 する活動	その他	無回答
500	47	54	46	43	47	51	89	360	23	45	2
100.0%	9.4%	10.8%	9.2%	8.6%	9.4%	10.2%	17.8%	<b>72.0%</b>	4.6%	9.0%	0.4%

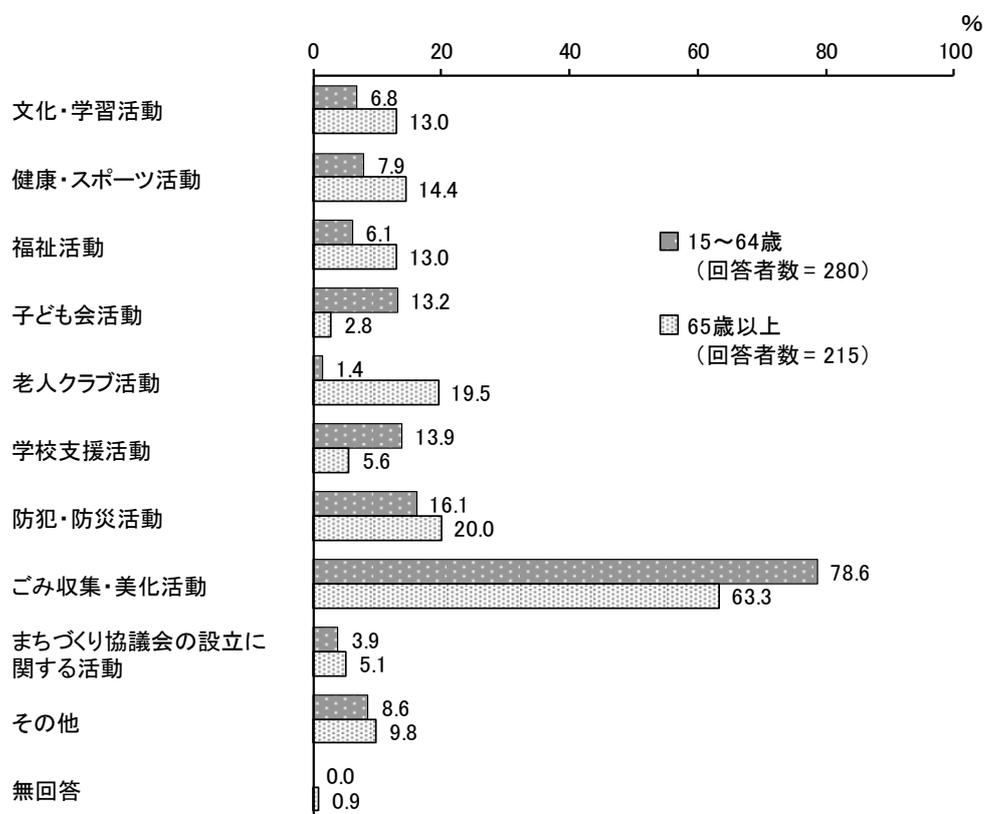
◎参加している活動では、「ごみ収集・美化活動」に参加している人が 72.0%となっています。

・『参加している』人の具体的な活動については、「ごみ収集・美化活動」が 72.0%で最も高く、次いで「防犯・防災活動」(17.8%)、「健康・スポーツ活動」(10.8%)、「学校支援活動」(10.2%)、「文化・学習活動」(9.4%)、「老人クラブ活動」(9.4%) となっています。

図表 16 参加している地域活動



図表 17 参加している地域活動【年齢別】



【年齢別】

参加している地域活動を年齢別で見ると、「子ども会活動」「学校支援活動」「ごみ収集・美化活動」を除いては、いずれも65歳以上の参加率が高くなっています。「子ども会活動」や「ごみ収集・美化活動」は15～64歳が65歳以上を10ポイント以上高くなっています。それに対し、「老人クラブ活動」は65歳以上が15～64歳より10ポイント以上高くなっています。

<男女共同参画>

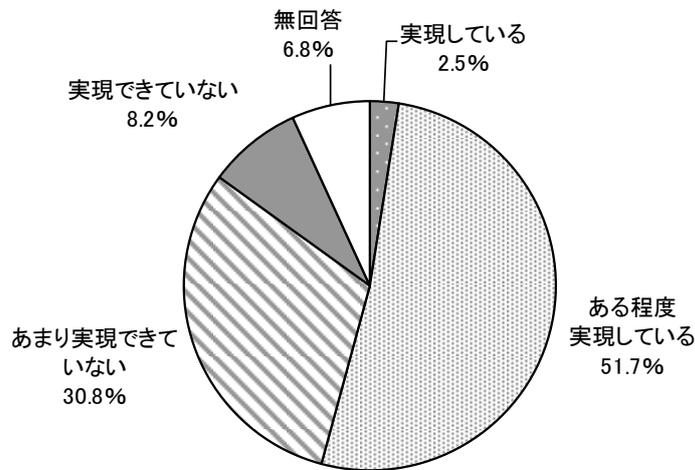
問9 あなたは、桑名市では男女共同参画社会が実現していると思いますか。  
(○はひとつ)

全 体	実現している	ある程度 実現している	あまり 実現できていない	実現できていない	無回答
1,422	36	735	438	116	97
100.0%	2.5%	51.7%	30.8%	8.2%	6.8%

◎桑名市で男女共同参画社会が実現していると思う市民は54.2%です。

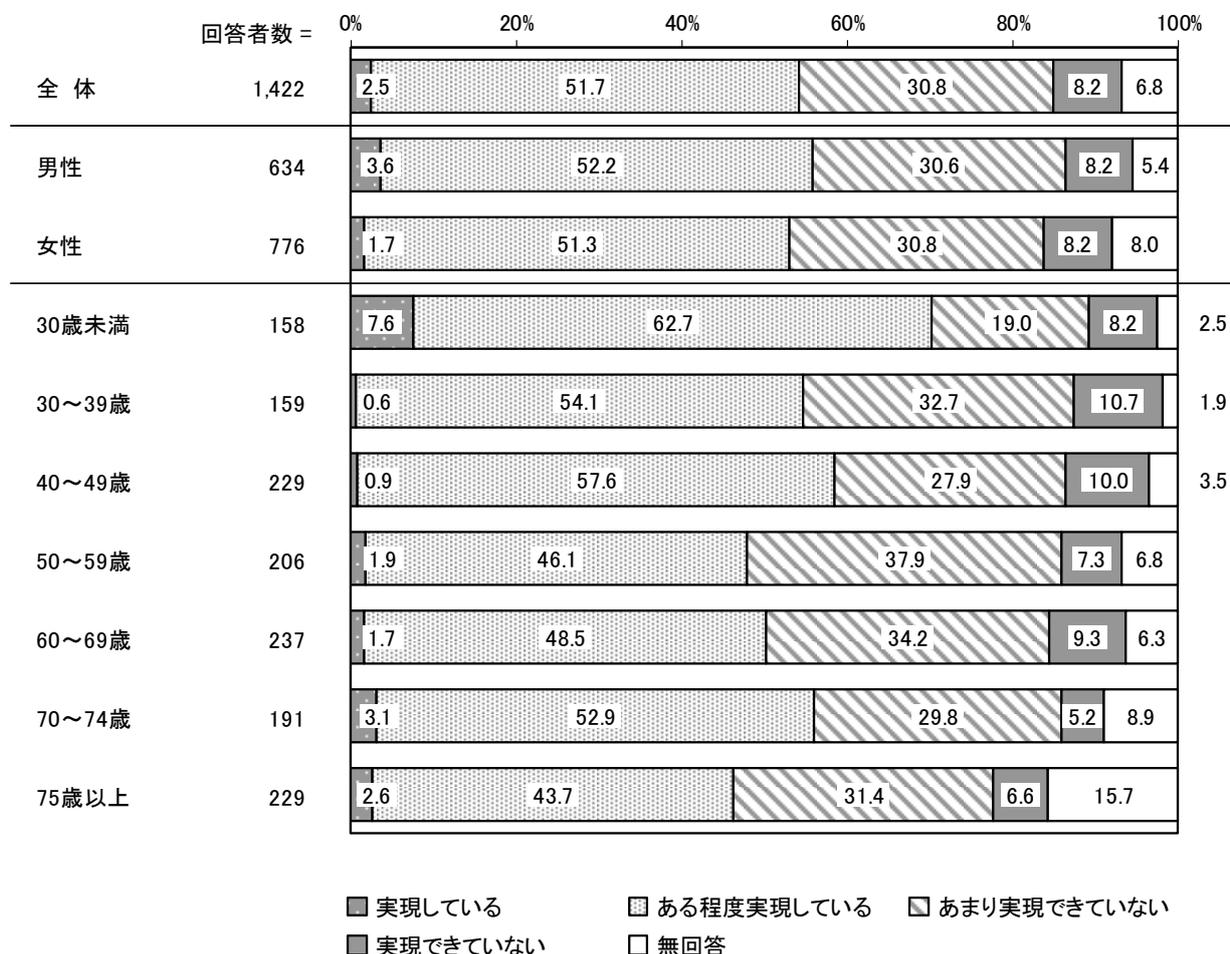
・桑名市で男女共同参画社会が実現しているかどうかについては、「実現している」(2.5%)と「ある程度実現している」(51.7%)を合わせた『実現している』と思う人は54.2%となっています。一方、「あまり実現できていない」(30.8%)と「実現できていない」(8.2%)を合わせた『実現できていない』と思う人は39.0%となっています。

図表 18 男女共同参画社会の実現への評価



回答者数 = 1,422

図表 19 男女共同参画社会の実現への評価【性別・年齢別】



【性別】

性別でみると、特に大きな差はみられません。

【年齢別】

年齢別でみると、『実現している』は、30歳未満で70.3%と最も高く、年齢とともに減少傾向にあり、50～59歳、75歳以上では半数以下となっています。

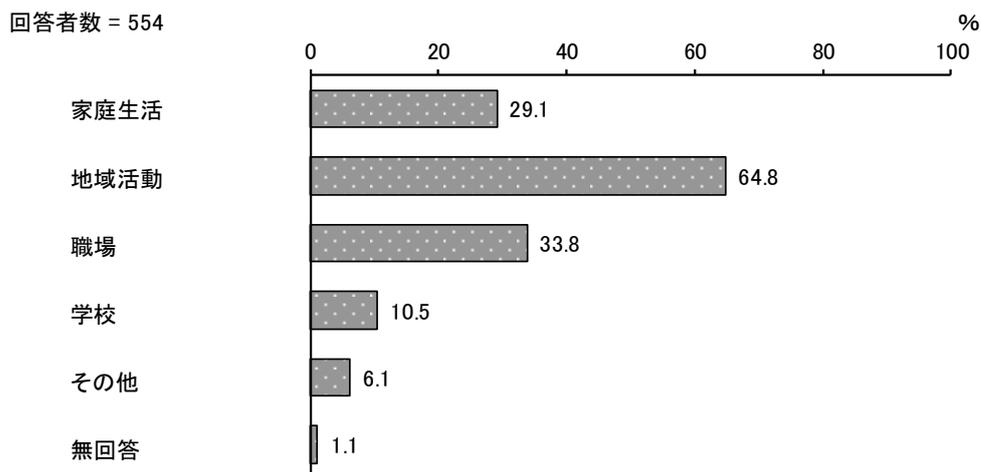
問9-1 「3. あまり実現できていない」「4. 実現できていない」とお答えの方にお聞きします。どのような場面でそう感じますか。 (〇はいくつでも)

全 体	家庭生活	地域活動	職場	学校	その他	無回答
554	161	359	187	58	34	6
100.0%	29.1%	<u>64.8%</u>	33.8%	10.5%	6.1%	1.1%

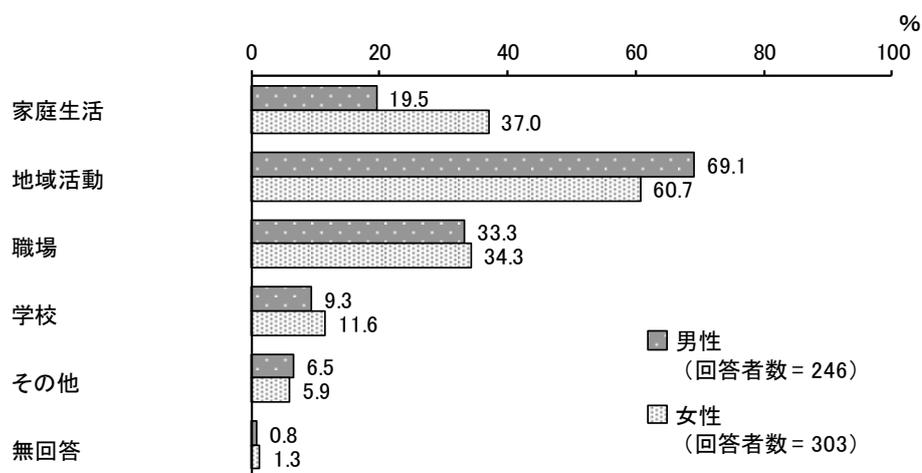
◎男女共同参画社会が実現できていないと思う場面は、地域活動が64.8%です。

・『実現できていない』と思う場面としては、「地域活動」が64.8%で最も高く、次いで「職場」(33.8%)、「家庭生活」(29.1%)となっています。

図表 20 実現できていないと思う場面



図表 21 実現できていないと思う場面【性別】



【性別】

性別で見ると、「家庭生活」は女性が（37.0%）が男性（19.5%）より17.5ポイント高くなっているのに対し、「地域活動」は男性（69.1%）が女性（60.7%）より8.4ポイント高くなっています。

問 10 以下の項目について、あなたの満足の度合いをお聞かせください。  
(項目ごとに○はひとつ)

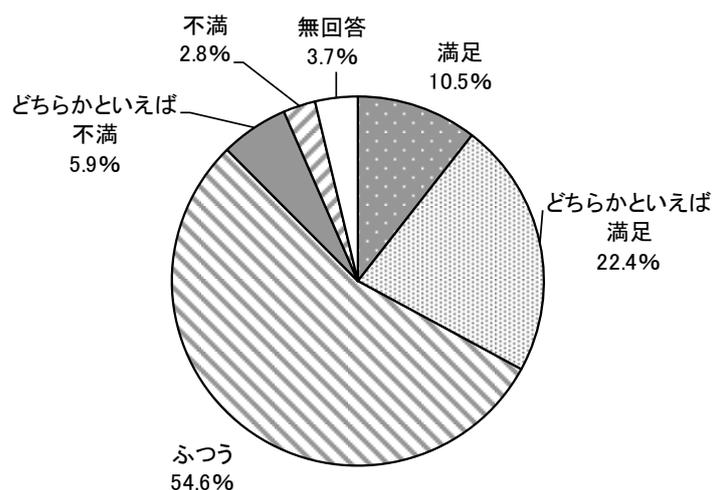
(ア)市からの情報提供（広報紙や市ホームページ）について

全 体	満足	どちらかとい えば満足	ふつう	どちらかとい えば不満	不満	無回答
1,422	150	319	776	84	40	53
100.0%	10.5%	22.4%	54.6%	5.9%	2.8%	3.7%

◎広報などによる市からの情報発信に満足している市民は 32.9%です。

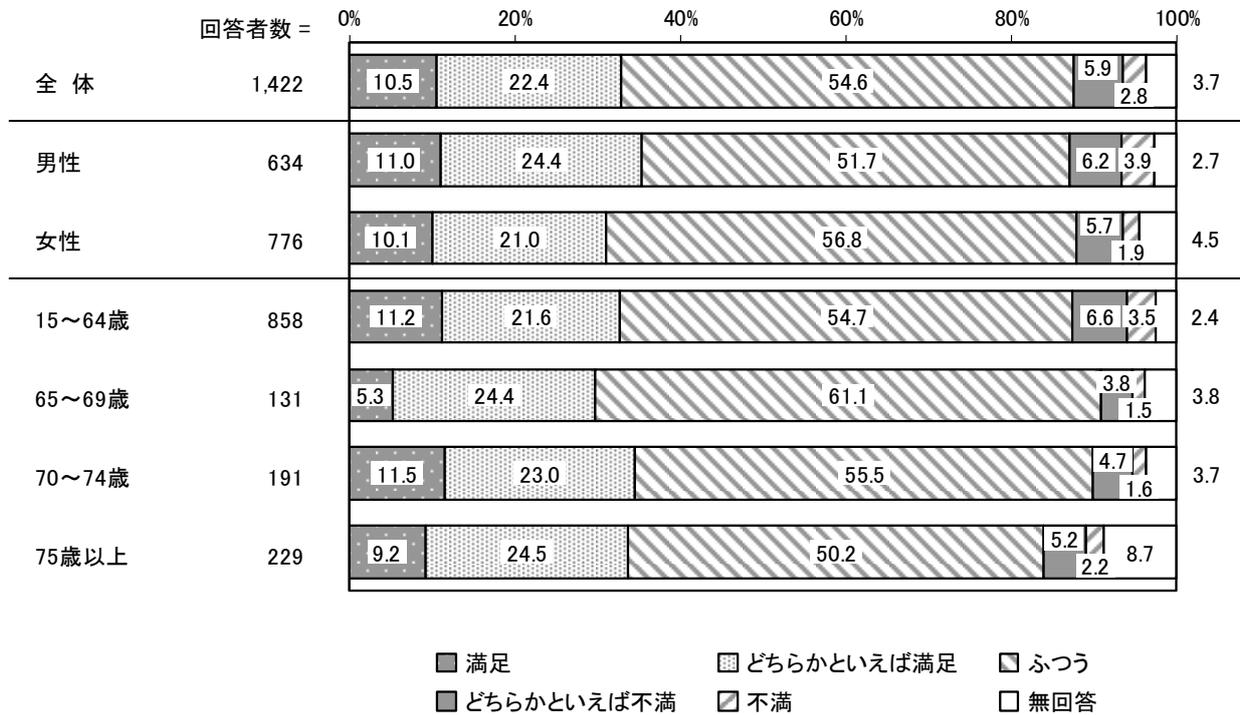
- ・市からの情報提供（広報紙やホームページ）については、「満足」（10.5%）と「どちらかとい  
えば満足」（22.4%）を合わせた『満足している』人は 32.9%となっています。

図表 22 実現できていないと思う場面【性別】



回答者数 = 1,422

図表 23 市からの情報提供への満足度【年齢別】



【性別】

年齢別でみると、大きな差異はみられませんでした。

【年齢別】

年齢別でみると、『満足していない』人は15~64歳で高く10.1%となっています。

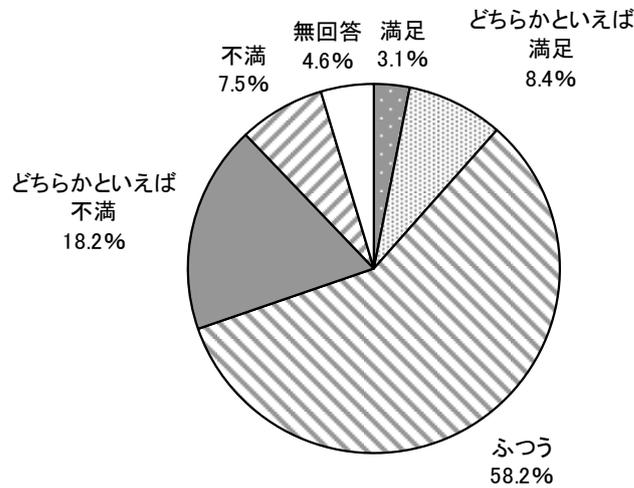
(イ) 市政に対する市民の意見・声を伝える場や機会について

全 体	満足	どちらかとい えば満足	ふつう	どちらかとい えば不満	不満	無回答
1,422	44	119	828	259	106	66
100.0%	3.1%	8.4%	58.2%	18.2%	7.5%	4.6%

◎市政に対する市民の意見・声を伝える場や機会に満足している市民は11.5%です。

・市政に対する市民の意見・声を伝える場や機会については、「満足」(3.1%)と「どちらかとい  
えば満足」(8.4%)を合わせた『満足している』人は、11.5%となっています。

図表 24 市政に対する市民の意見・声を伝える場や機会への満足度



回答者数 = 1,422

図表 25 市政に対する市民の意見・声を伝える場や機会への満足度【年齢別】



■ 満足                      □ どちらかとい  
えば満足                      □ 不満  
■ どちらかとい  
えば不満                      □ 無回答

【年齢別】

年齢別でみると、大きな差異はみられませんでした。

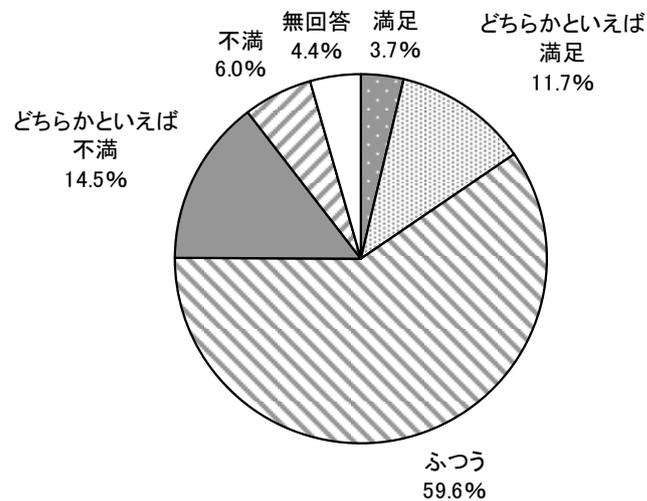
(ウ)市の情報提供全般、行政情報の公開による市政の透明性について

全 体	満足	どちらかといえ ば満足	ふつう	どちらかといえ ば不満	不満	無回答
1,422	53	167	848	206	85	63
100.0%	3.7%	11.7%	59.6%	14.5%	6.0%	4.4%

◎市の情報提供全般、行政情報の公開による市政の透明性に満足している市民は15.4%です。

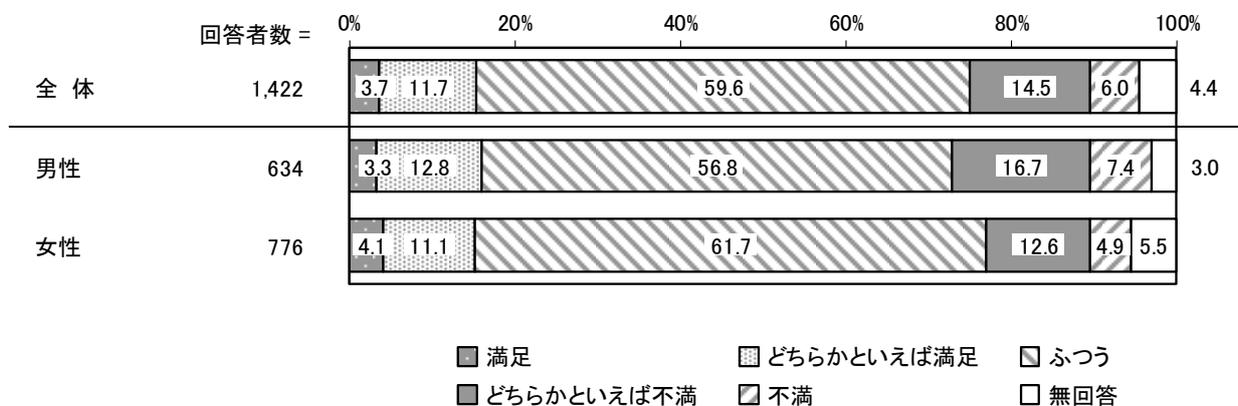
- ・市の情報提供全般、行政情報の公開による市政の透明性については、「満足」(3.7%)と「どちらかといえば満足」(11.7%)を合わせた『満足している』人は15.4%となっています。

図表 26 行政情報の公開による市政の透明性への満足度



回答者数 = 1,422

図表 27 行政情報の公開による市政の透明性への満足度【性別】



【性別】

性別で見ると、『満足していない』は、男性(24.1%)が女性(17.5%)より6.6ポイント高くなっています。

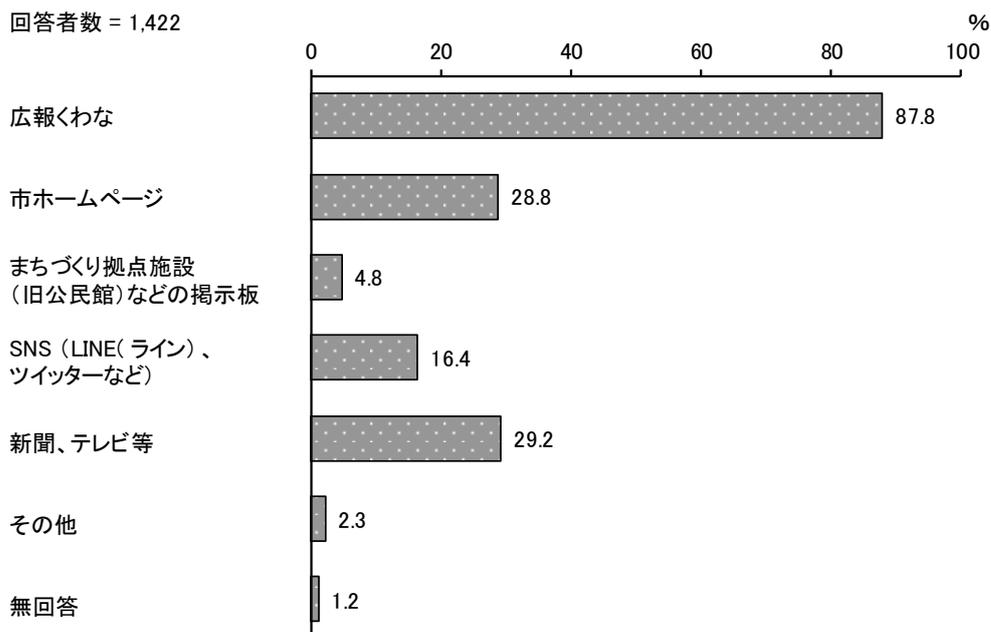
問 11 あなたは、市の情報を何から得ていますか。(〇はいくつでも)

全 体	広報くわな	市ホーム ページ	まちづくり拠 点施設(旧公 民館)などの 掲示板	SNS (LINE(ライ ン)、ツイタ ーなど)	新聞、 テレビ等	その他	無回答
1,422	1249	409	68	233	415	33	17
100.0%	87.8%	28.8%	4.8%	16.4%	29.2%	2.3%	1.2%

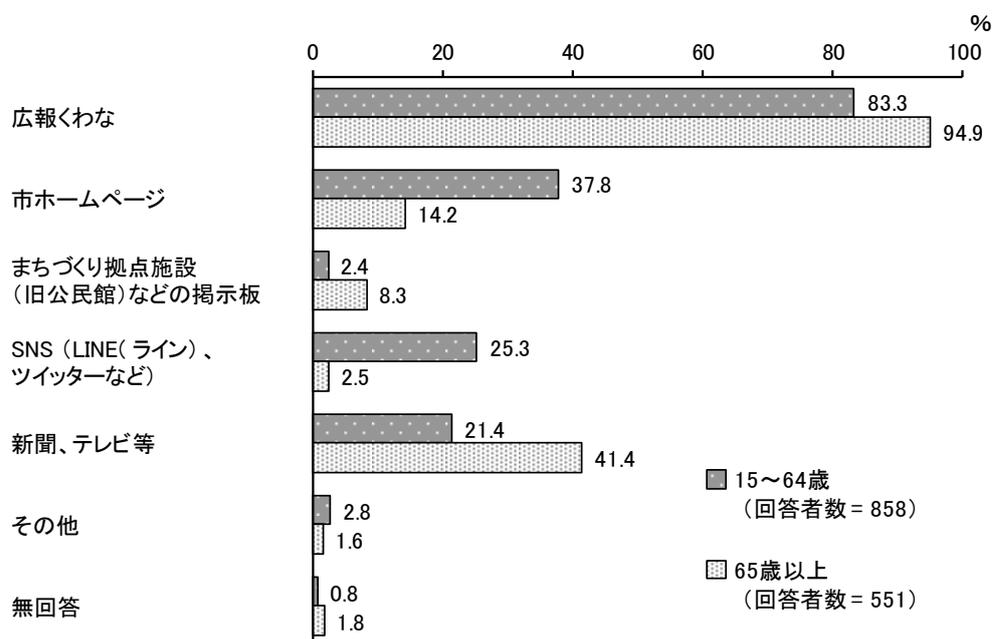
◎市の情報の入手媒体は、「広報くわな」が87.8%となっています。

- ・市の情報の入手媒体については、「広報くわな」が87.8%と最も高く、次いで「新聞、テレビ等」が29.2%、「市ホームページ」が28.8%となっています。

図表 28 行政情報の入手媒体



図表 29 行政情報の入手媒体【年齢別】



【年齢別】

年齢別でみると、いずれの年齢も「広報くわな」が最も高くなっているものの、「市ホームページ」は、15～64歳(37.8%)が65歳以上(14.2%)より23.6ポイント高くなっています。一方、「新聞、テレビ等」は、15～64歳(21.4%)より、65歳以上(41.4%)が20.0ポイント高くなっています。

<地域福祉>

問 12 以下の地域の支えあいに関する活動について、あなたの考えをお聞かせください。（項目ごとに○はひとつ）

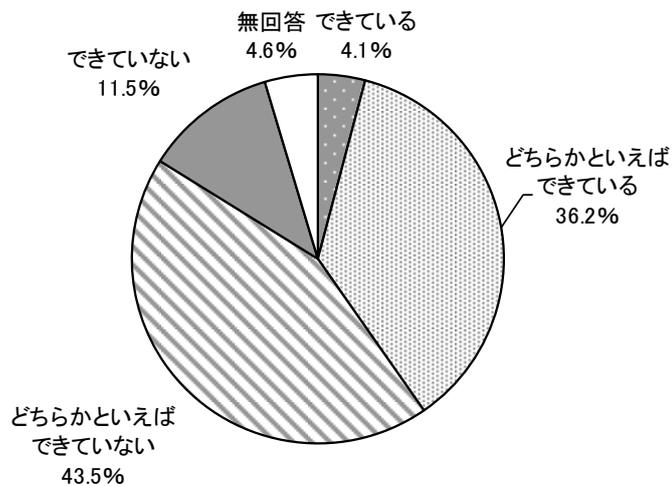
(ア) 地域で、福祉等のボランティア・担い手等の「人づくり」ができていますか

全 体	できている	どちらかといえば できている	どちらかといえば できていない	できていない	無回答
1,422	59	515	619	163	66
100.0%	4.1%	36.2%	<u>43.5%</u>	11.5%	4.6%

◎ 「地域を支える人づくり」ができていると思う市民は 40.3% です。

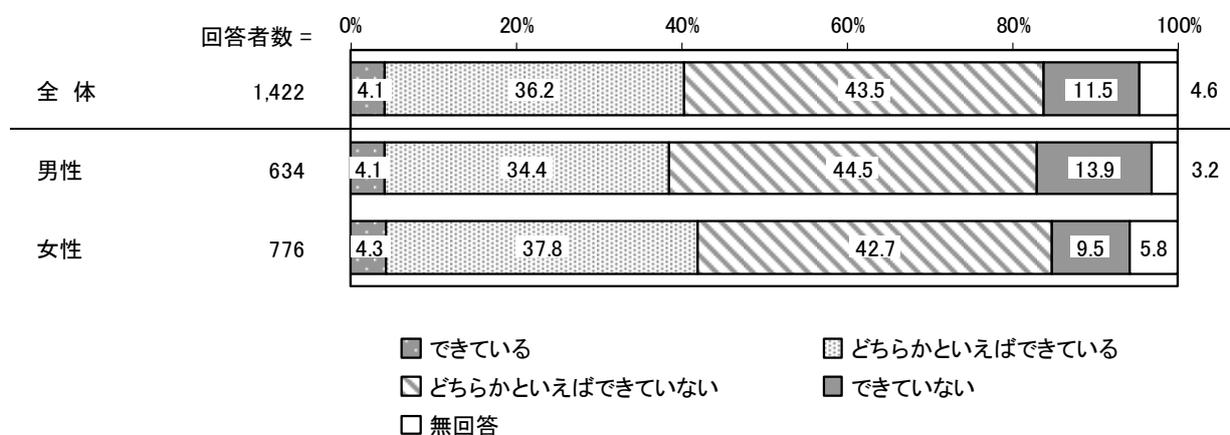
- ・「地域を支える人づくり」については、「できている」(4.1%) と「どちらかといえばできている」(36.2%) を合わせた『できている』人は 40.3% となっています。一方、「できていない」(11.5%) と「どちらかといえばできていない」(43.5%) を合わせた『できていない』人は 55.0% となっています。

図表 30 「地域を支える人づくり」の実現への評価



回答者数 = 1,422

図表 31 「地域を支える人づくり」の実現への評価【性別】



【性別】

性別で見ると、『できていない』人は、男性（58.4%）が女性（52.2%）より 6.2 ポイント高くなっています。

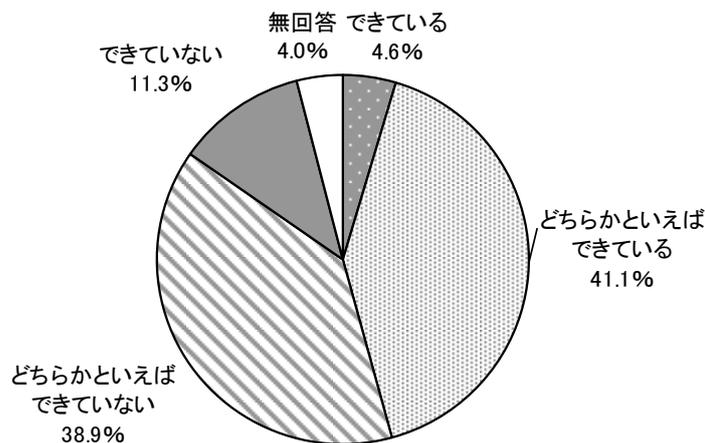
(イ)地域で、高齢者や子ども等を見守る「仕組みづくり」ができていますか

全 体	できている	どちらかといえば できている	どちらかといえば できていない	できていない	無回答
1,422	66	585	553	161	57
100.0%	4.6%	41.1%	38.9%	11.3%	4.0%

◎「地域を見守る仕組みづくり」ができていると思う市民は45.7%となっています。

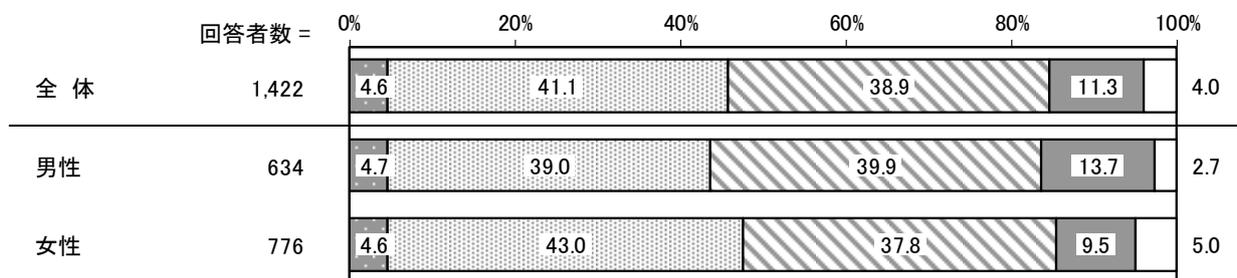
・「地域を見守る仕組みづくり」については、「できている」(4.6%)と「どちらかといえばできている」(41.1%)を合わせた『できている』人は45.7%となっています。一方、「できていない」(11.3%)と「どちらかといえばできていない」(38.9%)を合わせた『できていない』人は50.2%となっています。

図表 32 「地域を見守る仕組みづくり」の実現への評価



回答者数 = 1,422

図表 33 「地域を見守る仕組みづくり」の実現への評価【性別】



できている
  どちらかといえばできている  
 どちらかといえばできていない
  できていない  
 無回答

【性別】

性別で見ると、『できていない』人は、男性(53.6%)が女性(47.3%)より6.3ポイント高くなっています。

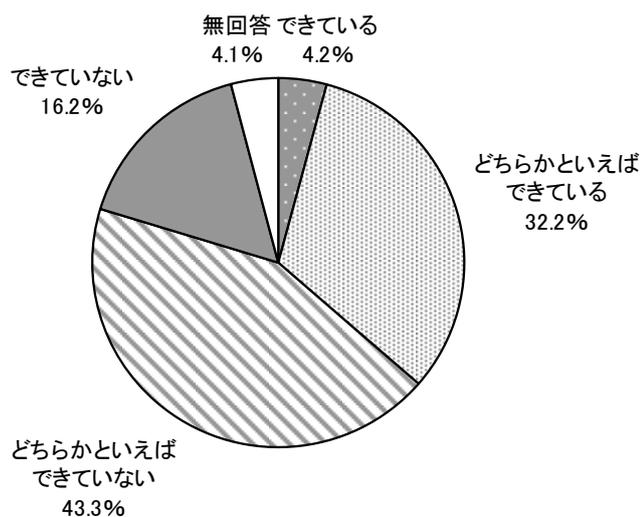
(ウ)地域で、地域住民同士が交流する「場づくり」ができていますか

全 体	できている	どちらかといえば できている	どちらかといえば できていない	できていない	無回答
1,422	60	458	616	230	58
100.0%	4.2%	32.2%	<b>43.3%</b>	16.2%	4.1%

◎「地域をつなげる場づくり」ができていると思う市民は36.4%となっています。

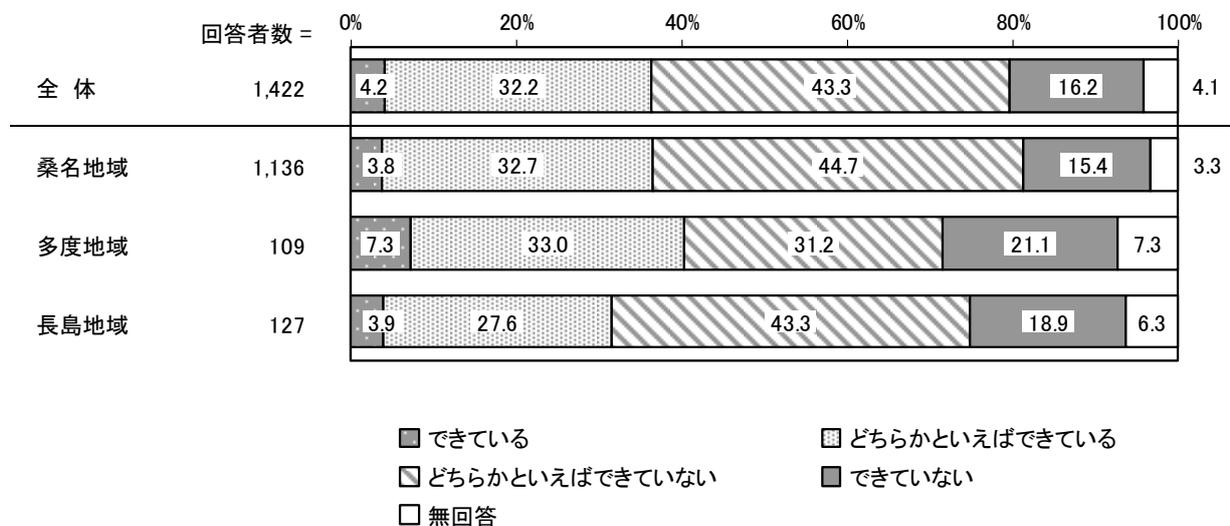
・「地域をつなげる場づくり」については、「できている」(4.2%)と「どちらかといえばできている」(32.2%)を合わせた『できている』人は36.4%となっています。一方、「できていない」(16.2%)と「どちらかといえばできていない」(43.3%)を合わせた『できていない』人は59.5%となっています。

図表 34 「地域をつなげる場づくり」の実現への評価



回答者数 = 1,422

図表 35 「地域をつなげる場づくり」の実現への評価【居住地域別】



【居住地域別】

居住地域別で見ると、『できている』人は、多度地域で 40.3%と、他の地域に比べて高くなっています。

<人権政策>

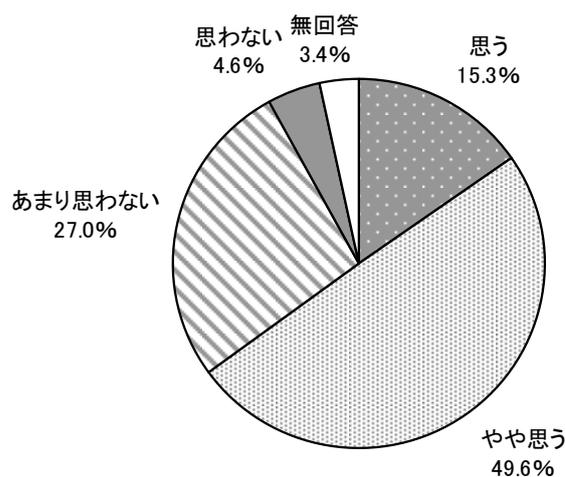
問 13 あなたは、桑名市は人権が尊重されているまちだと思いますか。(〇はひとつ)

全 体	思う	やや思う	あまり思わない	思わない	無回答
1,422	218	706	384	66	48
100.0%	15.3%	<u>49.6%</u>	27.0%	4.6%	3.4%

◎桑名市は人権が尊重されているまちになっていると思う市民は64.9%となっています。

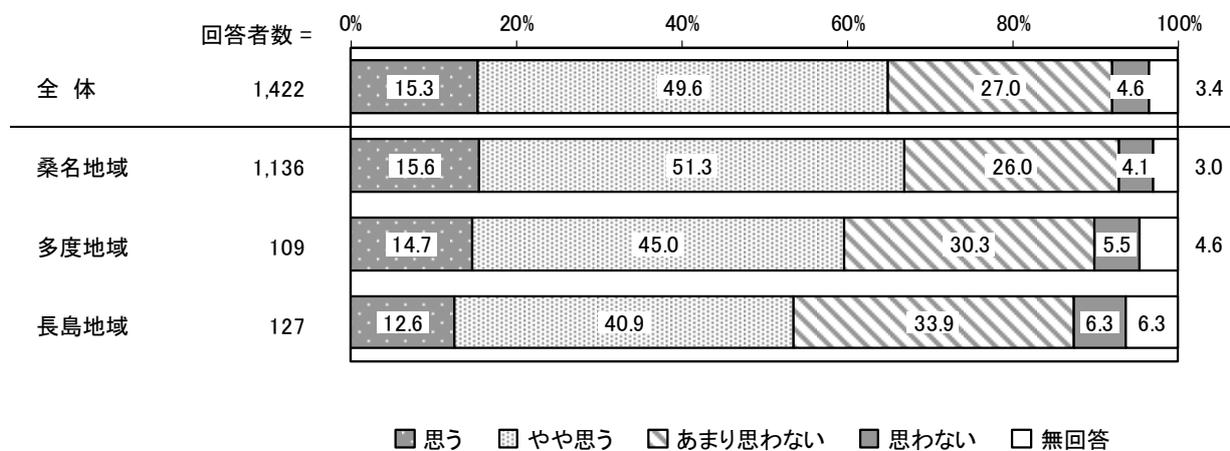
- ・桑名市は人権が尊重されているまちになっているかについては、「思う」(15.3%)と「やや思う」(49.6%)を合わせた、尊重されているまちだと『思う』人は64.9%となっています。一方、「あまり思わない」(27.0%)と「思わない」(4.6%)を合わせた『思わない』人は31.6%となっています。

図表 36 桑名市における人権尊重の実現への評価



回答者数 = 1,422

図表 37 桑名市における人権尊重の実現への評価【居住地域別】



【居住地域別】

居住地域別で見ると、『思う』人は、長島地域で 53.5%と、他の地域に比べて低くなっています。

## 2 命を守ることが最優先について

### <防災>

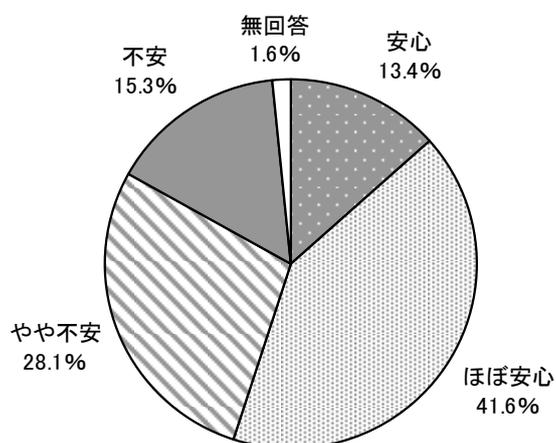
問 14 あなたがお住まいの地域は、災害に対して安心して暮らせる地域だと思いますか。  
(○はひとつ)

全 体	安心	ほぼ安心	やや不安	不安	無回答
1,422	191	591	399	218	23
100.0%	13.4%	41.6%	28.1%	15.3%	1.6%

◎「災害の心配が少ない」と思う市民は55.0%となっています。

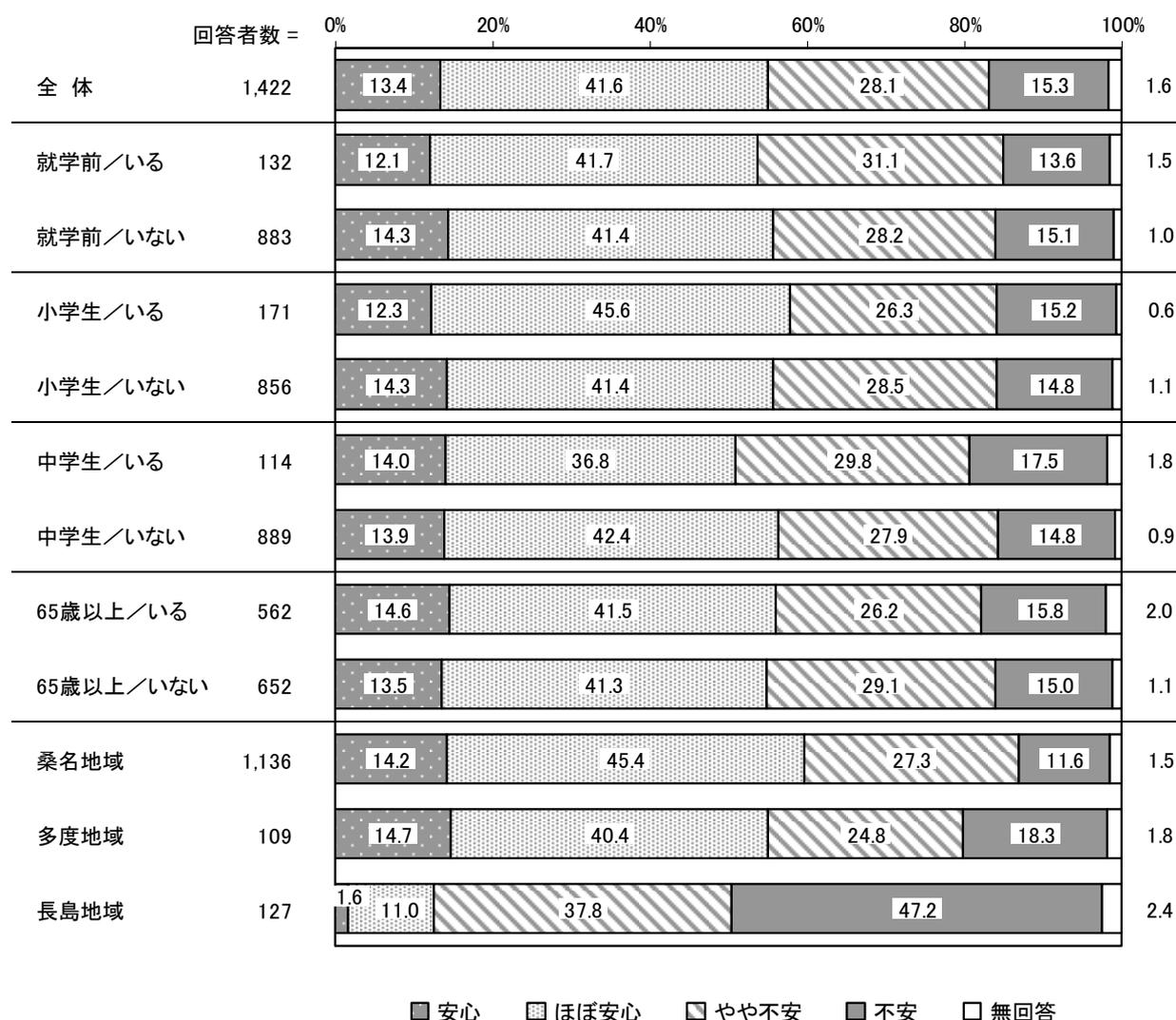
- ・地域での暮らしが災害に対して安心かどうかについては、「安心」(13.4%)と「ほぼ安心」(41.6%)を合わせた『安心』と思う人は55.0%となっています。一方、「やや不安」(28.1%)と「不安」(15.3%)を合わせた『不安』と思う人は43.4%となっています。

図表 38 災害に対する安心への評価



回答者数 = 1,422

図表 39 災害に対する安心への評価【同居家族別・居住地域別】



【同居家族別】

同居家族別で見ると、『安心』と思う人は、いずれの家族においても5割を超えています。

【居住地域別】

居住地域別で見ると、『安心』は、桑名地域(59.6%)や多度地域(55.1%)などでは5割を超えているものの、長島地域では12.6%と低くなっています。

問 15 あなたの家庭では、災害から身を守るため、どのような準備をしていますか。  
(〇はいくつでも)

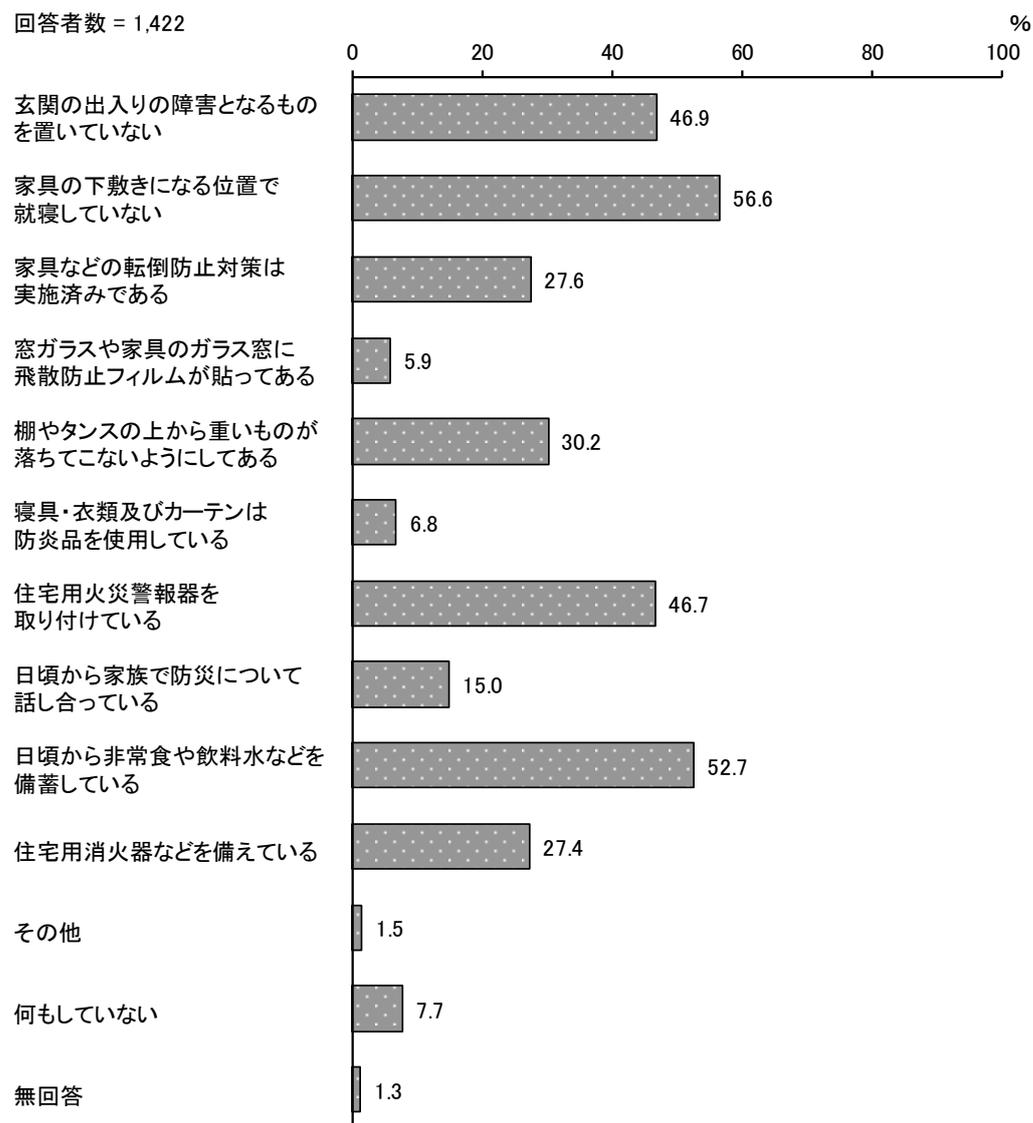
全 体	玄関の出入りの障害となるものを置いていない	家具の下敷きになる位置で就寝していない	家具などの転倒防止対策は実施済みである	窓ガラスや家具のガラス窓に飛散防止フィルムが貼ってある	棚やタンスの上から重いものが落ちてこないようにしてある	寝具・衣類及びカーテンは防災品を使用している	住宅用火災警報器を取り付けている
1,422 100.0%	667 46.9%	805 <b>56.6%</b>	392 27.6%	84 5.9%	429 30.2%	96 6.8%	664 46.7%
	日頃から家族で防災について話し合っている	日頃から非常食や飲料水などを備蓄している	住宅用消火器などを備えている	その他	何もしていない	無回答	
	213 15.0%	749 52.7%	390 27.4%	22 1.5%	109 7.7%	18 1.3%	

◎防災対策を実施している世帯は91.0%となっています。

- ・災害から身を守るために防災対策を実施している家庭（全体から「何もしていない」と「無回答」を除いた割合）は全体の約9割（91.0%）を占めています。家庭で行っている防災対策では、「家具の下敷きになる位置で就寝していない」が56.6%と最も高く、次いで「日頃から非常食や飲料水などを備蓄している」（52.7%）、「玄関の出入りの障害となるものを置いていない」（46.9%）、「住宅用火災警報器を取り付けている」（46.7%）となっています。

図表 40 家庭で行っている防災対策

回答者数 = 1,422



図表 41 家庭で行っている防災対策【同居家族別】

単位：％

区分	回答者数(件)	玄関の出入りの障害となるものを置いていない	家具の下敷きになる位置で就寝していない	家具などの転倒防止対策は実施済みである	家具などの転倒防止対策は	飛散防止フィルムが貼ってある	窓ガラスや家具のガラス窓に落ちてこないようにしてある	棚やタンスの上から重いものが落ちてこないようにしてある	寝具・衣類及びカーテンは防災品を使用している	住宅用火災警報器を取り付けている	日頃から家族で防災について話し合っている	日頃から非常食や飲料水などを備蓄している	住宅用消火器などを備えている	その他	何もしていない	無回答
全 体	1422	46.9	<u>56.6</u>	27.6	5.9	30.2	6.8	46.7	15.0	52.7	27.4	1.5	7.7	1.3		

【同居家族別】

就学前／いる	132	43.2	<u>67.4</u>	25.8	5.3	25.8	12.1	53.0	11.4	66.7	16.7	—	8.3	1.5
就学前／いない	883	46.4	<u>56.6</u>	28.4	5.7	29.9	7.0	46.7	14.9	53.8	27.7	1.4	7.6	0.8
小学生／いる	171	38.6	<u>60.2</u>	29.8	5.8	23.4	15.2	58.5	19.3	57.9	20.5	—	5.8	0.6
小学生／いない	856	46.7	<u>57.1</u>	28.2	6.0	30.0	6.4	45.7	13.6	54.2	26.9	1.4	8.3	0.8
中学生／いる	114	40.4	<u>56.1</u>	28.9	9.6	32.5	6.1	53.5	21.9	51.8	19.3	0.9	4.4	0.9
中学生／いない	889	46.6	<u>57.3</u>	28.7	5.6	29.2	7.6	47.2	14.2	55.5	26.9	1.3	8.1	0.8
65歳以上／いる	562	48.6	<u>53.6</u>	25.6	6.4	31.7	5.9	45.2	15.3	49.6	36.8	1.4	7.1	1.4
65歳以上／いない	652	45.1	<u>58.7</u>	29.0	4.8	28.7	7.1	47.5	14.1	55.8	20.9	1.4	8.0	0.9

【同居家族別】

同居家族別でみると、小学生までの子どものいる人は、「家具の下敷きになる位置で就寝していない」「日頃から非常食や飲料水などを備蓄している」が他の家族形態に比べて高くなっています。また、65歳以上の高齢者がいる家族では、「玄関の出入りの障害となるものを置いていない」がやや高くなっています。

<消防・救急>

問 16 以下の項目について、あなたの満足の度合いをお聞かせください。  
(項目ごとに○はひとつ)

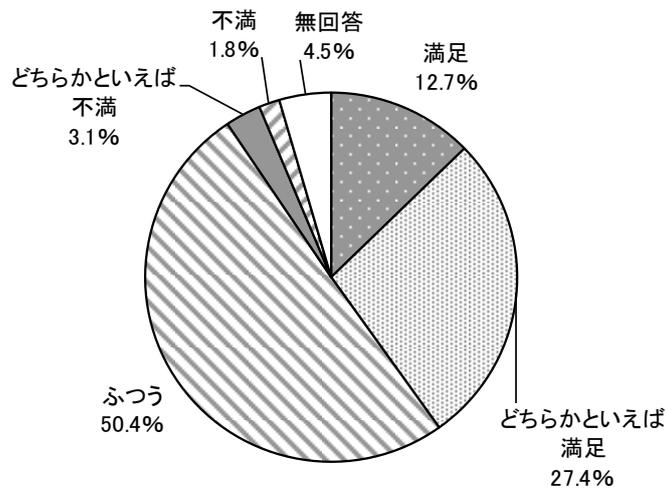
(ア)市の消防・救急体制について

全 体	満足	どちらかといえ ば満足	ふつう	どちらかといえ ば不満	不満	無回答
1,422	181	390	717	44	26	64
100.0%	12.7%	27.4%	<u>50.4%</u>	3.1%	1.8%	4.5%

◎市の消防・救急体制に満足している市民は 40.1%となっています。

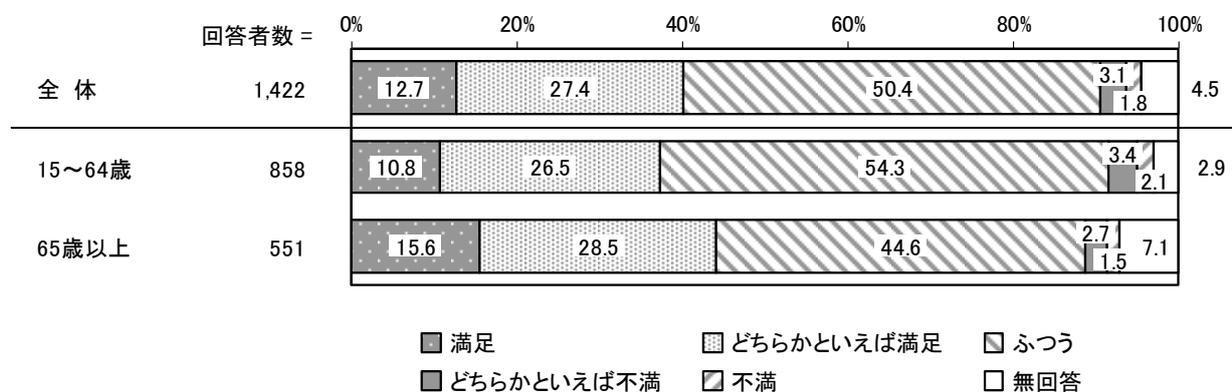
- ・市の消防・救急体制については、「満足」(12.7%)と「どちらかといえば満足」(27.4%)を合わせた『満足している』人は 40.1%となっています。

図表 42 市の消防・救急体制への満足度



回答者数 = 1,422

図表 43 市の消防・救急体制への満足度【年齢別】



【年齢別】

年齢別でみると、『満足している』は、65歳以上（44.1%）が15～64歳（37.3%）より6.8ポイント高くなっています。

<上下水道>

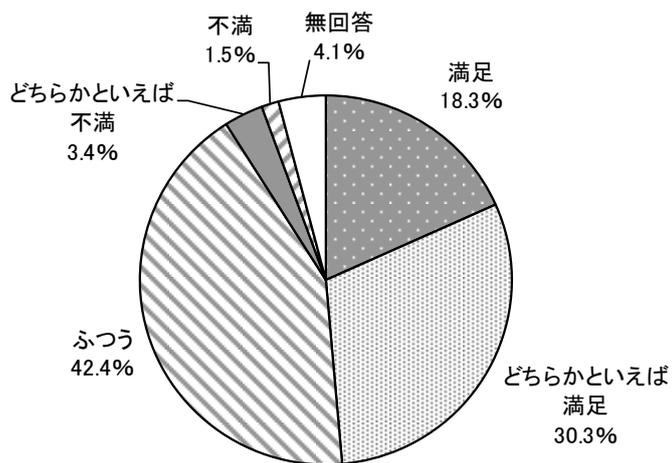
問 16 (イ)水道水の安全・安定供給について

全 体	満足	どちらかといえ ば満足	ふつう	どちらかといえ ば不満	不満	無回答
1,422	260	431	603	48	21	59
100.0%	18.3%	30.3%	<u>42.4%</u>	3.4%	1.5%	4.1%

◎水道水の安全・安定供給に満足している市民は48.6%となっています。

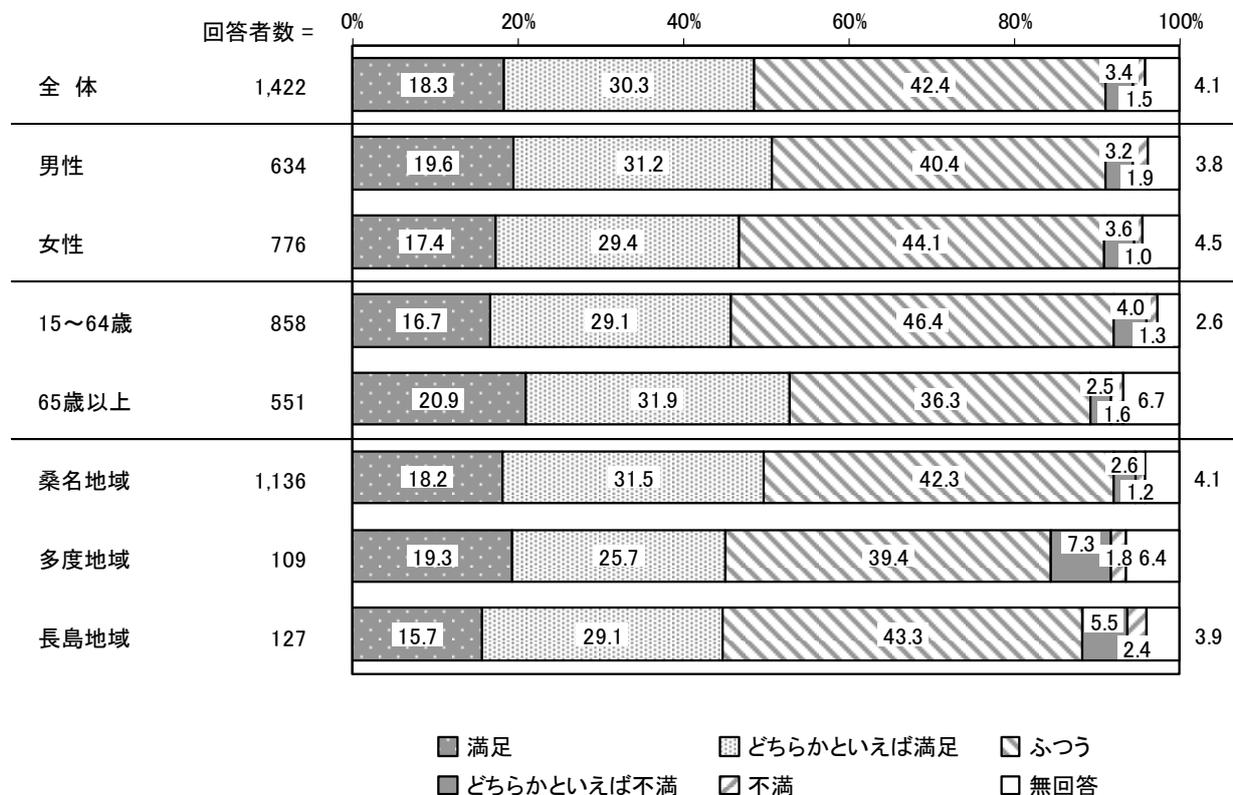
・水道水の安全・安定供給については、「満足」(18.3%)と「どちらかといえば満足」(30.3%)を合わせた『満足している』人は48.6%となっています。

図表 44 水道水の安全・安定供給の満足度



回答者数 = 1,422

図表 45 水道水の安全・安定供給の満足度【性別・年齢別・居住地域別】



【性別】

性別でみると、大きな差異はみられませんでした。

【年齢別】

年齢別でみると、『満足している』人は、65歳以上（52.8%）が15～64歳（45.8%）より7.0ポイント高くなっています。

【居住地域別】

居住地域別でみると、『満足していない』人は、多度地域で9.1%と、他の地域に比べて高くなっています。

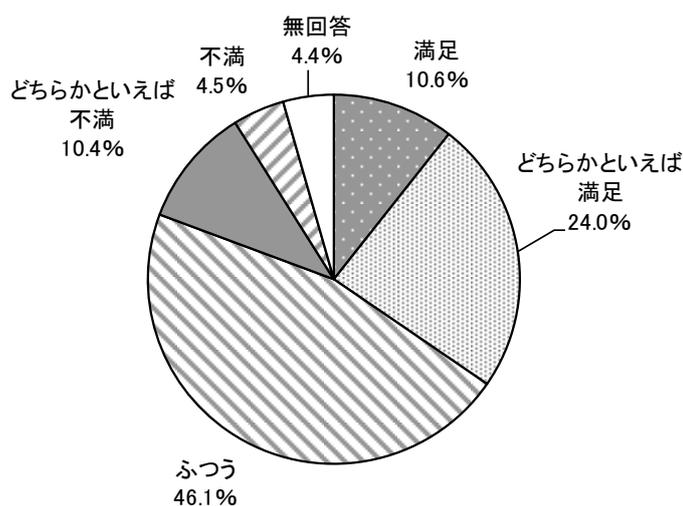
問 16 (ウ)医療機関などの救急医療体制について

全 体	満足	どちらかといえ ば満足	ふつう	どちらかといえ ば不満	不満	無回答
1,422	151	341	656	148	64	62
100.0%	10.6%	24.0%	<u>46.1%</u>	10.4%	4.5%	4.4%

◎医療機関などの救急医療体制に満足している市民は 34.6%となっています。

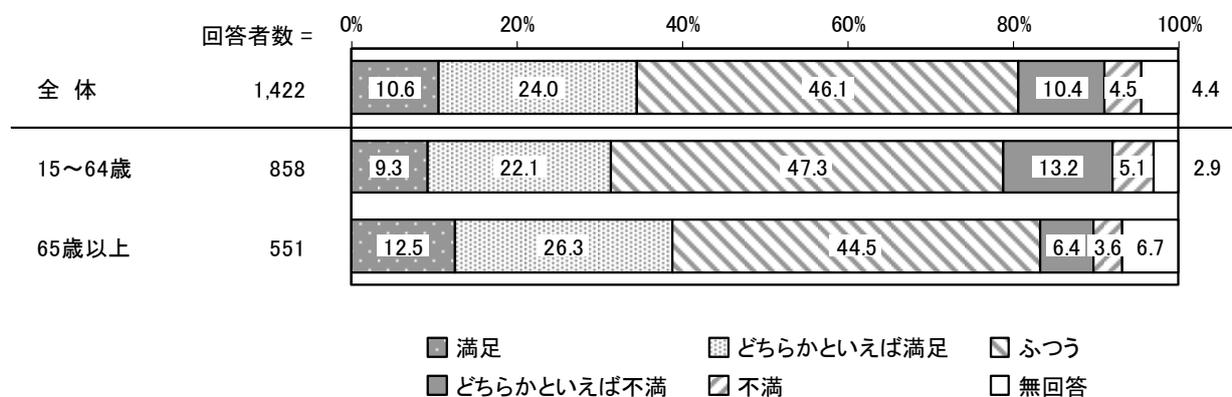
・医療機関などの救急医療体制については、「満足」(10.6%)と「どちらかといえ満足」(24.0%)を合わせた『満足している』人は 34.6%となっています。

図表 46 救急医療体制の満足度



回答者数 = 1,422

図表 47 救急医療体制の満足度【年齢別】



【年齢別】

年齢別でみると、『満足している』人は、65歳以上（38.8%）が15～64歳（31.4%）より7.4ポイント高くなっているのに対し、『満足していない』人は、15～64歳で約2割（18.3%）を占めています。

<環境・廃棄物対策>

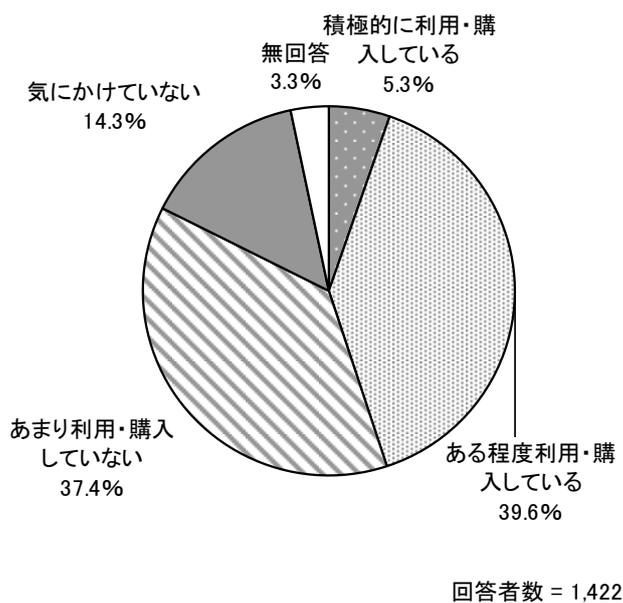
問 17 あなたは、中古品、リサイクル品、再生品等の環境にやさしい商品を利用・購入していますか。(〇はひとつ)

全 体	積極的に利用・ 購入している	ある程度利用・ 購入している	あまり利用・ 購入していない	気にかけていない	無回答
1,422	76	563	532	204	47
100.0%	5.3%	39.6%	<u>37.4%</u>	14.3%	3.3%

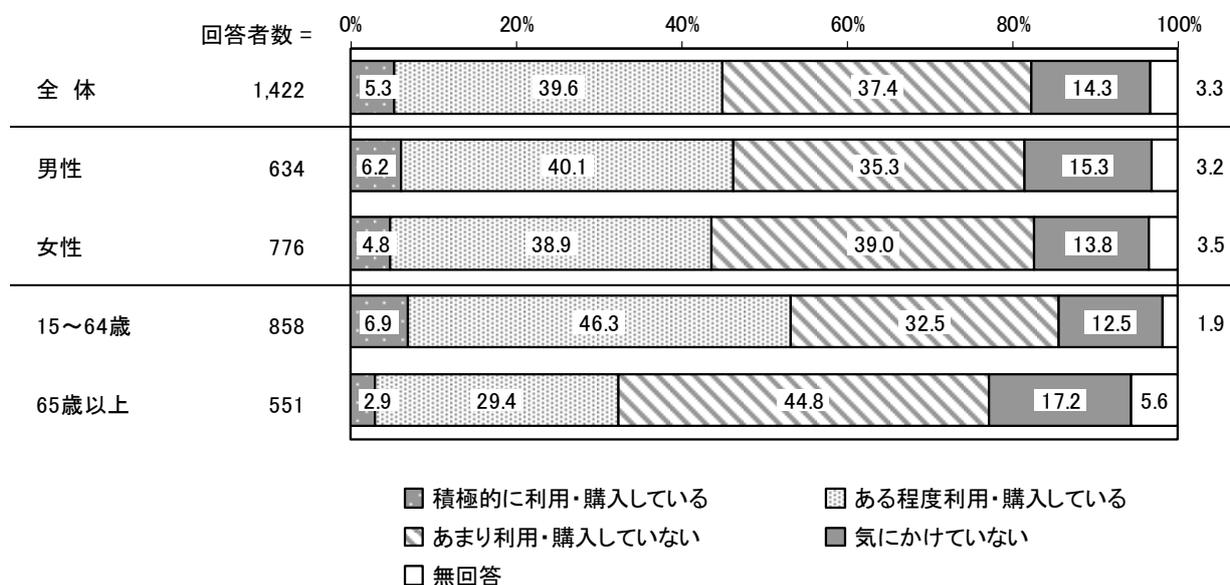
◎中古品や再生品等を利用している市民は 44.9%となっています。

・中古品や再生品等の環境にやさしい商品については、「積極的に利用・購入している」(5.3%)と「ある程度利用・購入している」(39.6%)を合わせた『利用・購入している』人は 44.9%となっています。

図表 48 環境にやさしい商品の利用・購入状況



図表 49 環境にやさしい商品の利用・購入状況【性別・年齢別】



【性別】

性別でみると、大きな差異はみられませんでした。

【年齢別】

年齢別でみると、『利用・購入している』人は、15～64歳（53.2%）が65歳以上（32.3%）より20.9ポイント高くなっています。

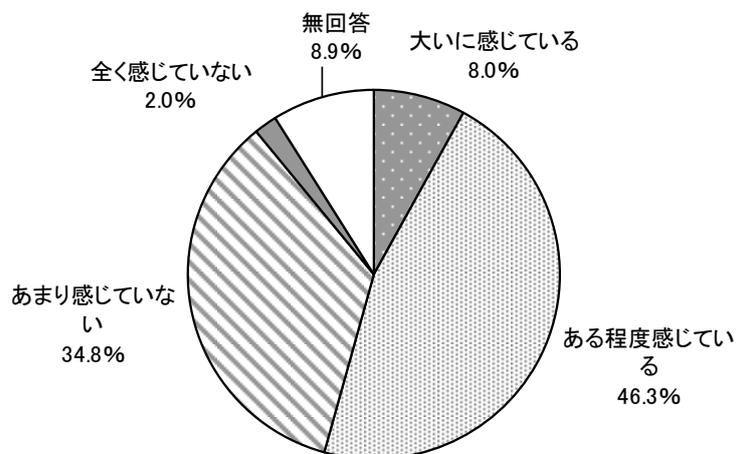
問 18 あなたは、日々の暮らしの中で、生きがいを感じるがありますか。  
(○はひとつ)

全 体	大いに感じている	ある程度 感じている	あまり 感じている	全く感じている	無回答
551	44	255	192	11	49
100.0%	8.0%	<u>46.3%</u>	34.8%	2.0%	8.9%

◎日々の生活に生きがいを感じている高齢者は 54.3%となっています。

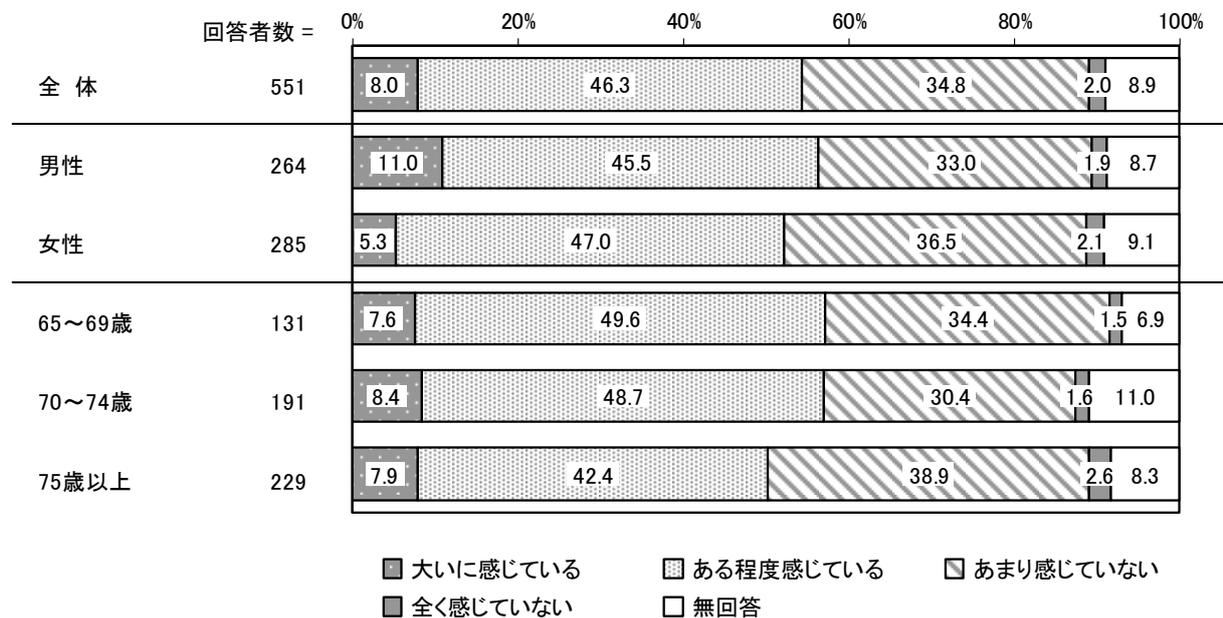
・高齢者（65 歳以上の方）の日々の暮らしにおける生きがいについては、「大いに感じている」（8.0%）と「ある程度感じている」（46.3%）を合わせた『感じている』人は 54.3%となっています。一方、「あまり感じている」（34.8%）と「全く感じている」（2.0%）を合わせた『感じている』人は 36.8%となっています。

図表 50 高齢者の日々の生きがいの実感度



回答者数 = 551

図表 51 高齢者の日々の生きがいの実感度【性別・年齢別】



【性別】

性別でみると、『感じている』人は、男性（56.5%）が、女性（52.3%）より、4.2ポイント高くなっています。

【年齢別】

年齢別でみると、『感じている』人は 65～69 歳、70～74 歳でそれぞれ 57.2%、57.1%とやや高くなっています。

問 18-1 「1. 大いに感じている」「2. ある程度感じている」とお答えの方にお聞きします。具体的にどのようなことで、生きがいを感じますか。

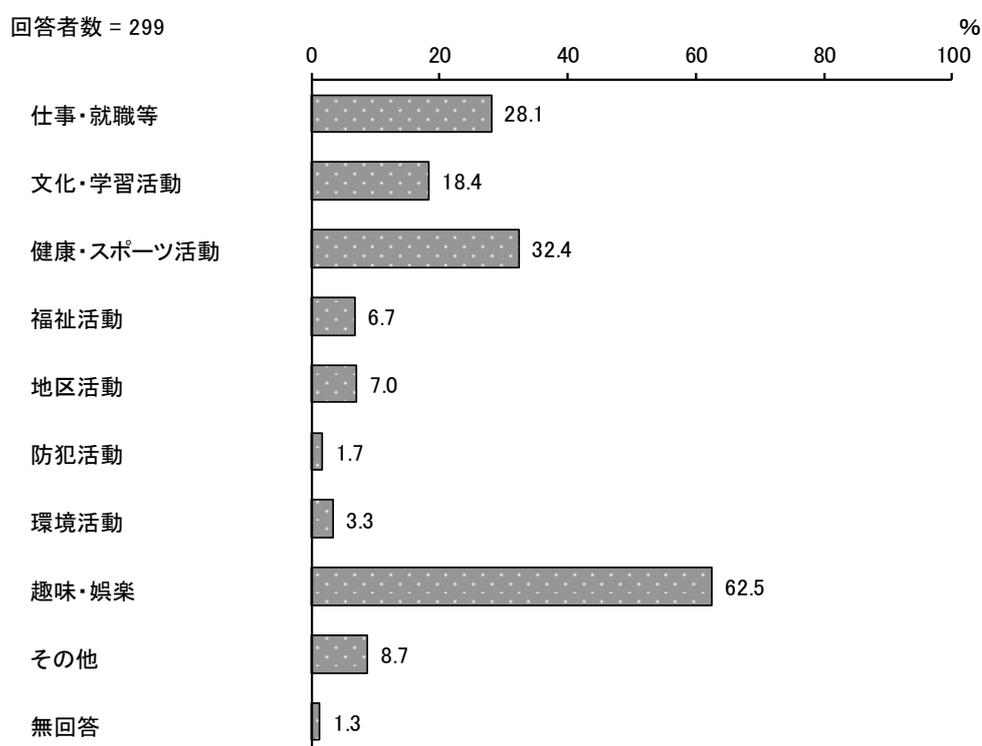
(○はいくつでも)

全 体	仕事・就職等	文化・学習活動	健康・スポーツ活動	福祉活動	地区活動	防犯活動	環境活動	趣味・娯楽	その他	無回答
299	84	55	97	20	21	5	10	187	26	4
100.0%	28.1%	18.4%	32.4%	6.7%	7.0%	1.7%	3.3%	<u>62.5%</u>	8.7%	1.3%

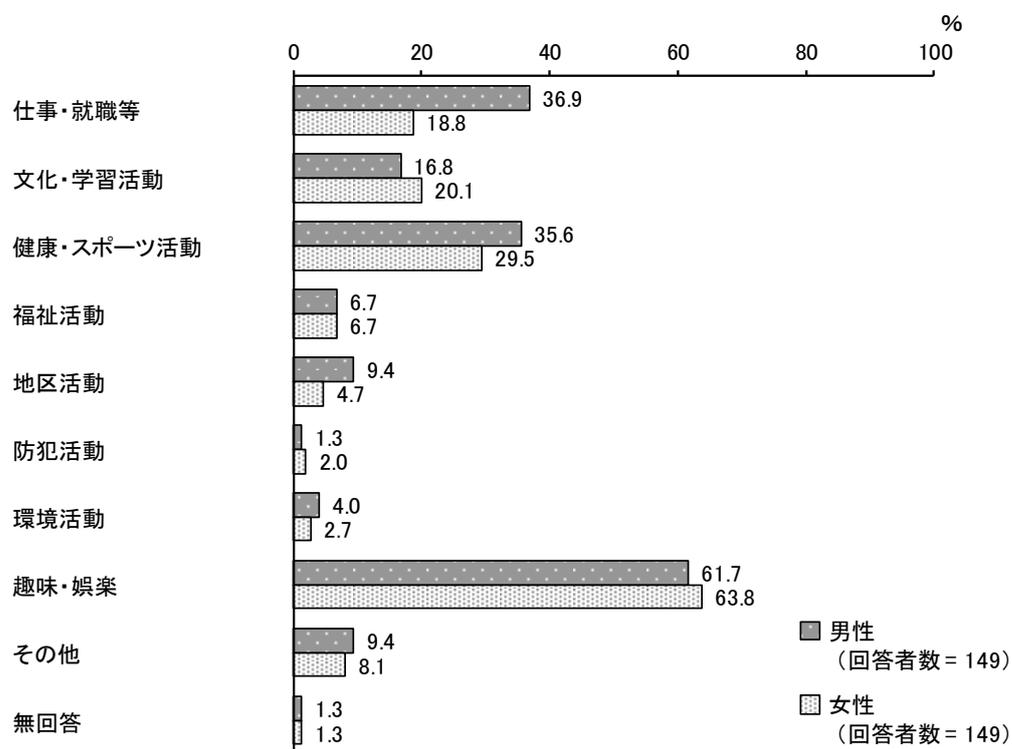
◎趣味や娯楽に生きがいを感じている高齢者が 62.5%となっています。

- ・どのようなことに生きがいを感じているかについては、「趣味・娯楽」が 62.5%と最も高く、次いで「健康・スポーツ活動」(32.4%)、「仕事・就職等」(28.1%)、「文化・学習活動」(18.4%)となっています。

図表 52 生きがいを感じること



図表 53 生きがいを感じる事【性別】



【性別】

性別でみると、「仕事・就職等」は男性（36.9%）が女性（18.8%）より18.1ポイント高くなっています。

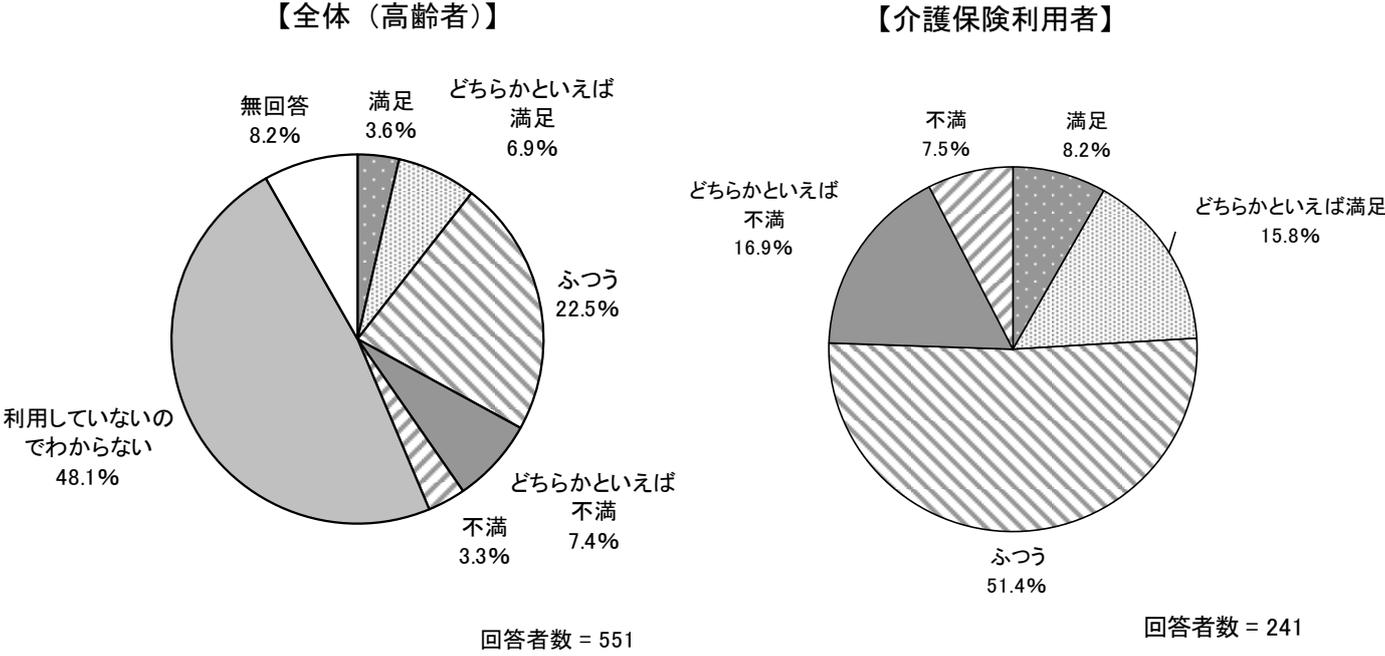
問 19 あなたは、介護保険サービスに満足していますか。(〇はひとつ)

全 体	満足	どちらかといえ ば満足	ふつう	どちらかといえ ば不満	不満	利用して いないので わからない	無回答
551	20	38	124	41	18	265	45
100.0%	3.6%	6.9%	22.5%	7.4%	3.3%	<u>48.1%</u>	8.2%

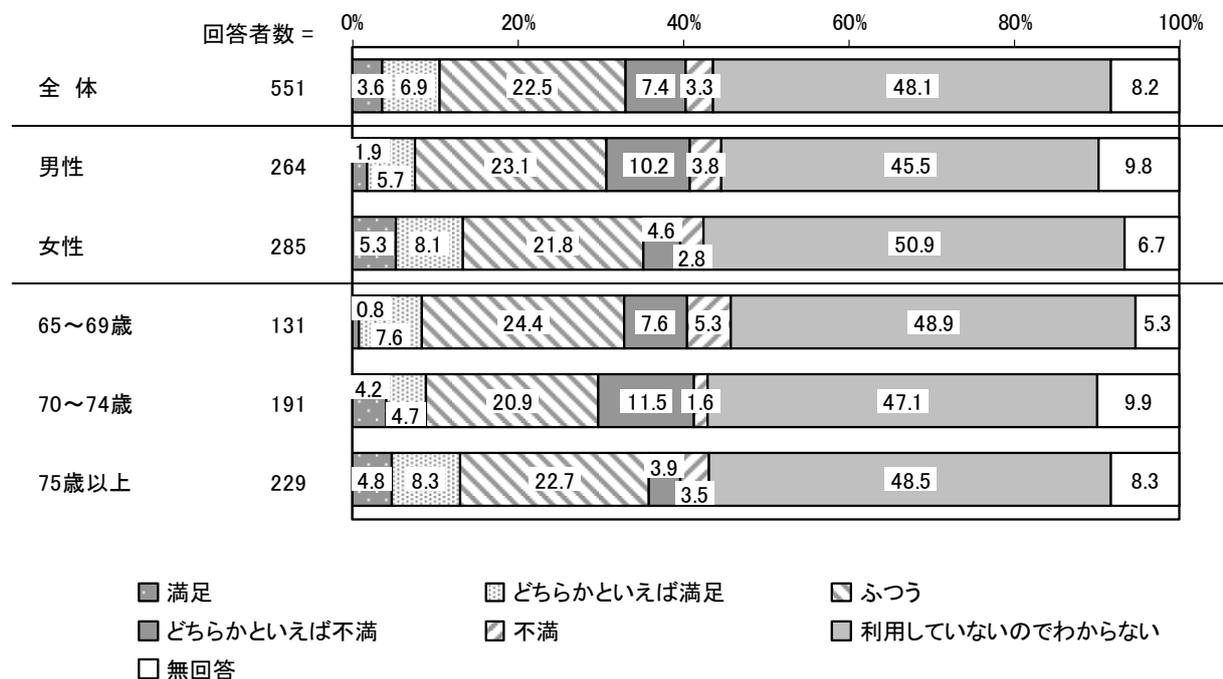
◎介護保険の利用者（65歳以上）のサービスに対する満足度は10.5%となっています。

・高齢者（65歳以上の方）の介護保険サービスへの満足度については、「満足」（3.6%）と「どちらかといえば満足」（6.9%）を合わせた『満足している』人は10.5%となっています。介護保険の利用者（全体から「利用していないのでわからない」「無回答」を除いた値）における『満足している』人は24.0%となっています。

図表 54 高齢者の介護保険サービスへの満足度



図表 55 高齢者の介護保険利用者のサービスへの満足度【性別・年齢別】



【性別】

性別でみると、『満足している』人は、女性（13.4%）が男性（7.6%）より5.8ポイント高くなっています。

【年齢別】

年齢別でみると、『満足している』人は75歳以上で13.1%とやや高くなっているのに対し、『不満に感じている』（「不満」＋「どちらかといえば不満」）人は70～74歳で13.1%とやや高くなっています。

<地域医療・健康づくり>

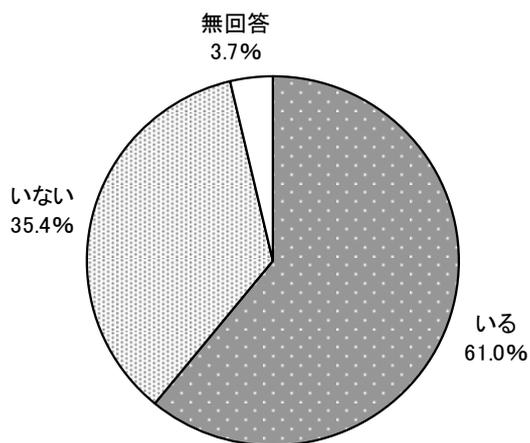
問 20 あなたには、お住まいの地域にかかりつけ医がいますか。(○はひとつ)

全 体	いる	いない	無回答
1,422 100.0%	867 <u>61.0%</u>	503 35.4%	52 3.7%

◎かかりつけ医をもっている市民は61.0%となっています。

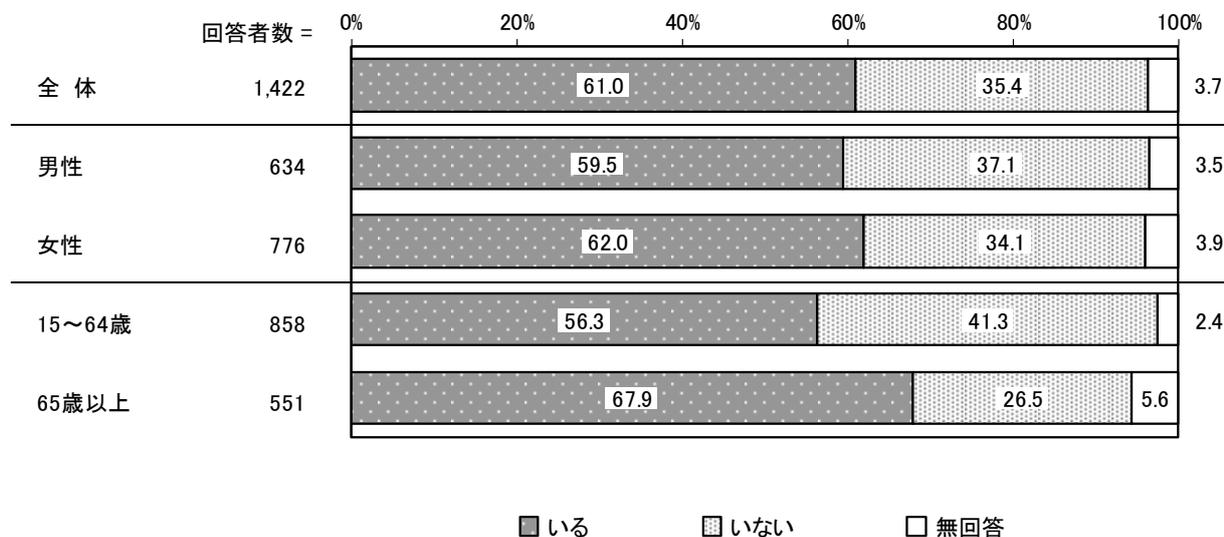
・地域におけるかかりつけ医については、「いる」人は61.0%、「いない」人は35.4%となっています。

図表 56 かかりつけ医の有無



回答者数 = 1,422

図表 57 かかりつけ医の有無【性別・年齢別】



【性別】

性別でみると、大きな差異はみられませんでした。

【年齢別】

年齢別でみると、かかりつけ医の「いる」人は65歳以上で67.9%と高く、15～64歳（56.3%）より11.6ポイント高くなっています。

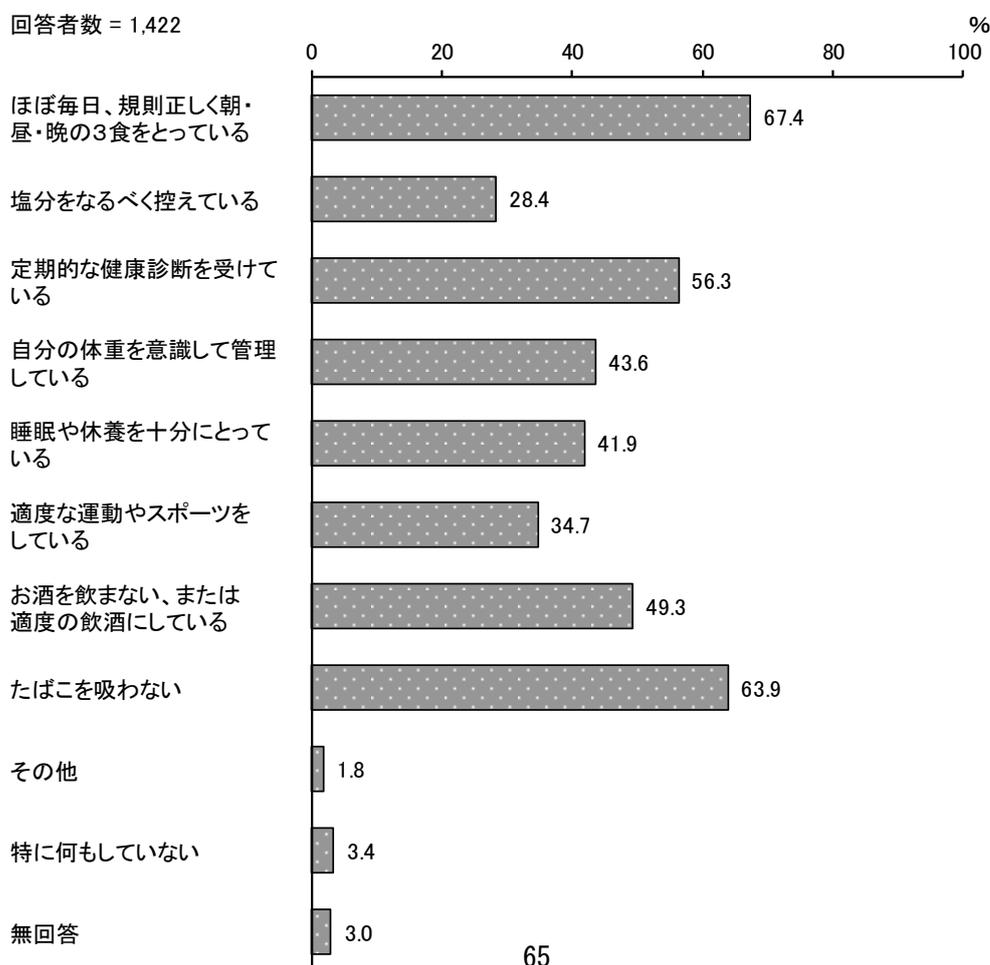
問 21 あなたは、日ごろ健康づくりでどんなことをしていますか。(〇はいくつでも)

全 体	ほぼ毎日、規則正しく朝・昼・晩の3食をとっている	塩分をなるべく控えている	定期的な健康診断を受けている	自分の体重を意識して管理している	睡眠や休養を十分にとっている	適度な運動やスポーツをしている	お酒を飲まない、または適度の飲酒にしている	たばこを吸わない	その他	特に何もしていない	無回答
1,422	958	404	801	620	596	493	701	908	25	48	43
100.0%	67.4%	28.4%	56.3%	43.6%	41.9%	34.7%	49.3%	63.9%	1.8%	3.4%	3.0%

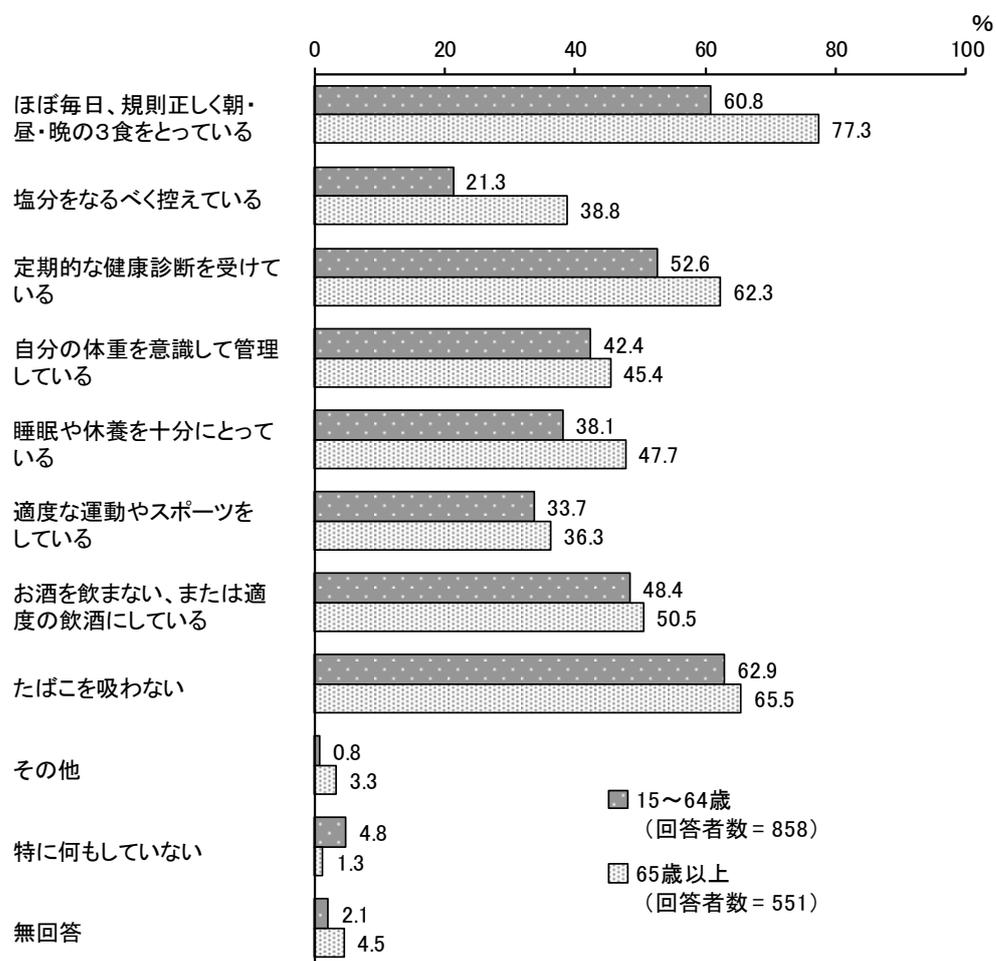
◎健康によい生活習慣を実践している市民は93.6%です。

- ・日ごろ健康づくりを実践している人（全体から「特に何もしていない」と「無回答」を除いた割合）は全体の約9割を占めています。実践している健康づくりについては、「ほぼ毎日、朝食をとっている」が67.4%と最も高く、次いで「たばこを吸わない」（63.9%）、「定期的な健康診断を受けている」（56.3%）、「お酒を飲まない、または、適度の飲酒にしている」（49.3%）となっています。

図表 58 日ごろ実践している健康づくり



図表 59 日ごろ実践している健康づくり【年齢別】



【年齢別】

年齢別でみると、総体的に 65 歳以上の高齢者の方が日頃から健康づくりに取り組んでいることがうかがえます。中でも「ほぼ毎日、規則正しく朝・昼・晩の3食をとっている」「塩分をなるべく控えている」は10ポイント以上高くなっています。

<防犯・交通安全>

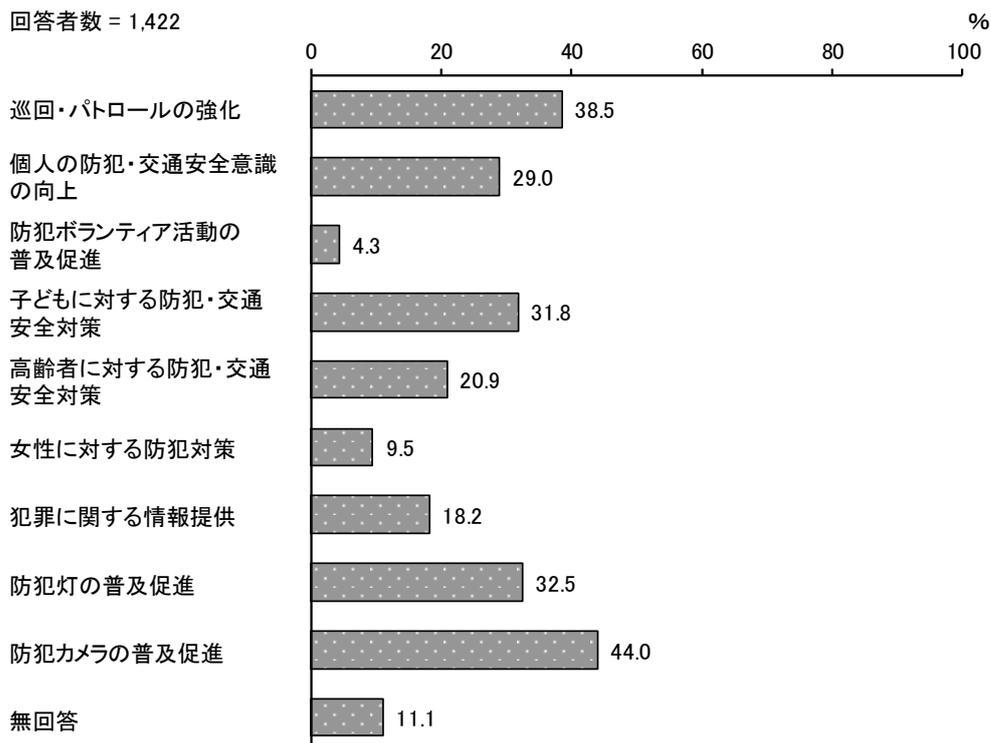
問 22 あなたは、日々の生活を安心して暮らすためには、どの取り組みが重要だと思いますか。(〇は3つまで)

全体	巡回・パトロールの強化	個人の防犯・交通安全意識の向上	防犯ボランティア活動の普及促進	子どもに対する防犯・交通安全対策	高齢者に対する防犯・交通安全対策	女性に対する防犯対策	犯罪に関する情報提供	防犯灯の普及促進	防犯カメラの普及促進	無回答
1,422	548	412	61	452	297	135	259	462	625	158
100.0%	38.5%	29.0%	4.3%	31.8%	20.9%	9.5%	18.2%	32.5%	<u>44.0%</u>	11.1%

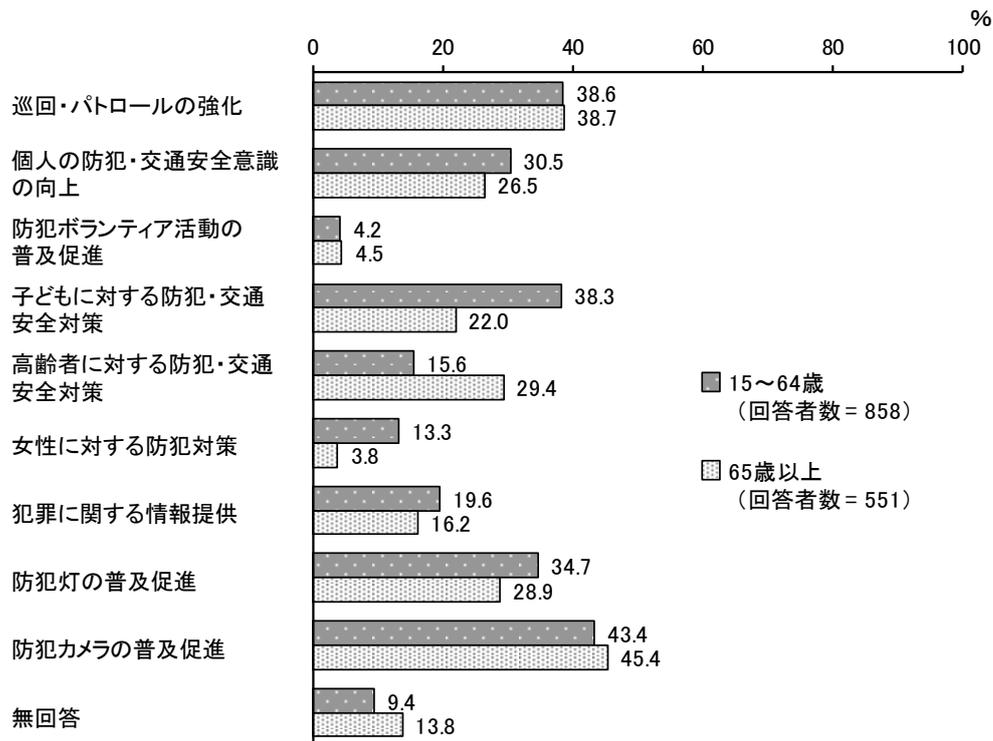
◎安心して生活するために重要な取組みは「防犯カメラの普及促進」が44.0%となっています。

- ・日々の生活を安心して暮らすために重要な取組みについては、「防犯カメラの普及促進」が44.0%と最も高く、次いで「巡回・パトロールの強化」38.5%、「防犯灯の普及促進」(32.5%)、「子どもに対する防犯・交通安全対策」(31.8%)、「個人の防犯・交通安全意識の向上」(29.0%)となっています。

図表 60 日常の安全な暮らし



図表 61 日常の安全な暮らし【年齢別】



【年齢別】

年齢別でみると、「子どもに対する防犯・交通安全対策」は、15～64歳が65歳以上より10ポイント以上高くなっているのに対し、「高齢者に対する防犯・交通安全対策」は65歳以上が10ポイント以上高くなっています。

### 3 子どもを3人育てられるまちについて

#### <子ども・子育て支援>

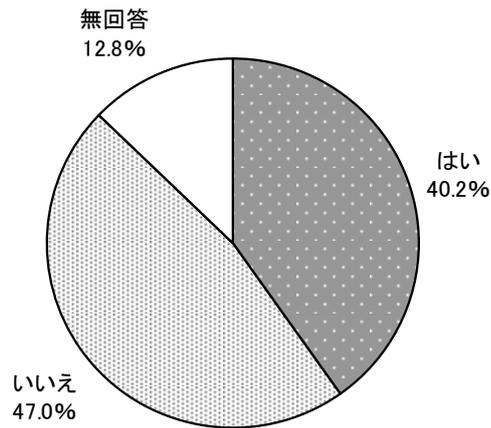
問 23 あなたは、桑名市が子育てしやすいまちだと思いますか。(〇はひとつ)

全 体	はい	いいえ	無回答
328	132	154	42
100.0%	40.2%	<u>47.0%</u>	12.8%

◎桑名市が子育てしやすいまちだと感じている人は40.2%となっています。

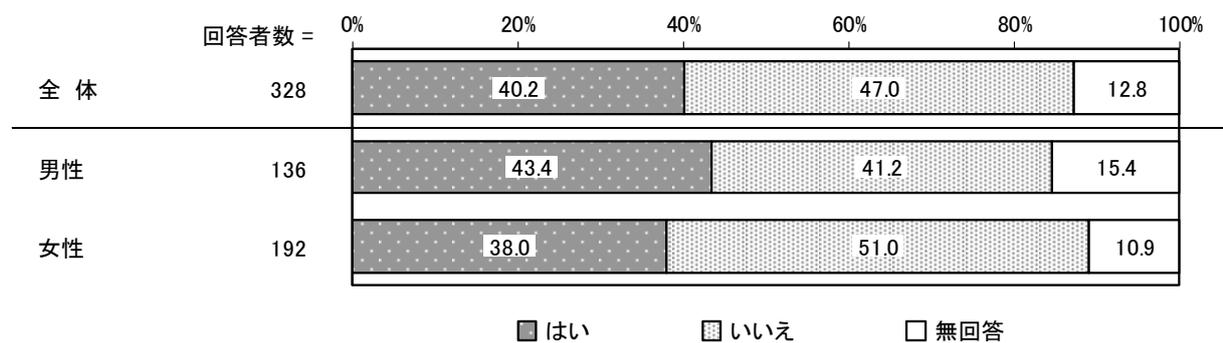
・桑名市が子育てしやすいまちだと思いますかについては、「はい」が40.2%、「いいえ」が47.0%となっています。

図表 62 市の子育てのしやすさへの評価



回答者数 = 328

図表 63 市の子育てのしやすさへの評価【性別】



【性別】

性別でみると、「はい」は男性（43.4%）が女性（38.0%）より 5.4 ポイント高くなっています。

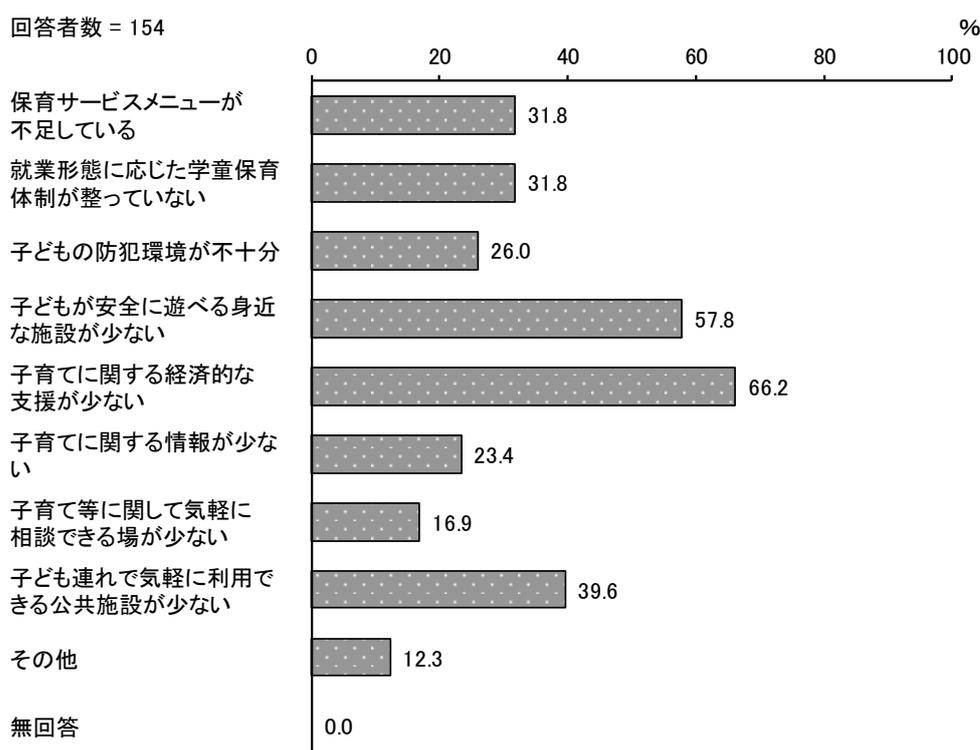
問 23-1 「2. いいえ」とお答えの方にお聞きします。その理由はなんですか。  
(〇はいくつでも)

全体	保育サービスメニューが不足している	就業形態に応じた学童保育体制が整っていない	子どもの防犯環境が不十分	子どもが安全に遊べる身近な施設が少ない	子育てに関する経済的な支援が少ない	子育てに関する情報が少ない	子育て等に関して気軽に相談できる場が少ない	子ども連れで気軽に利用できる公共施設が少ない	その他	無回答
154	49	49	40	89	102	36	26	61	19	-
100.0%	31.8%	31.8%	26.0%	57.8%	<b>66.2%</b>	23.4%	16.9%	39.6%	12.3%	-

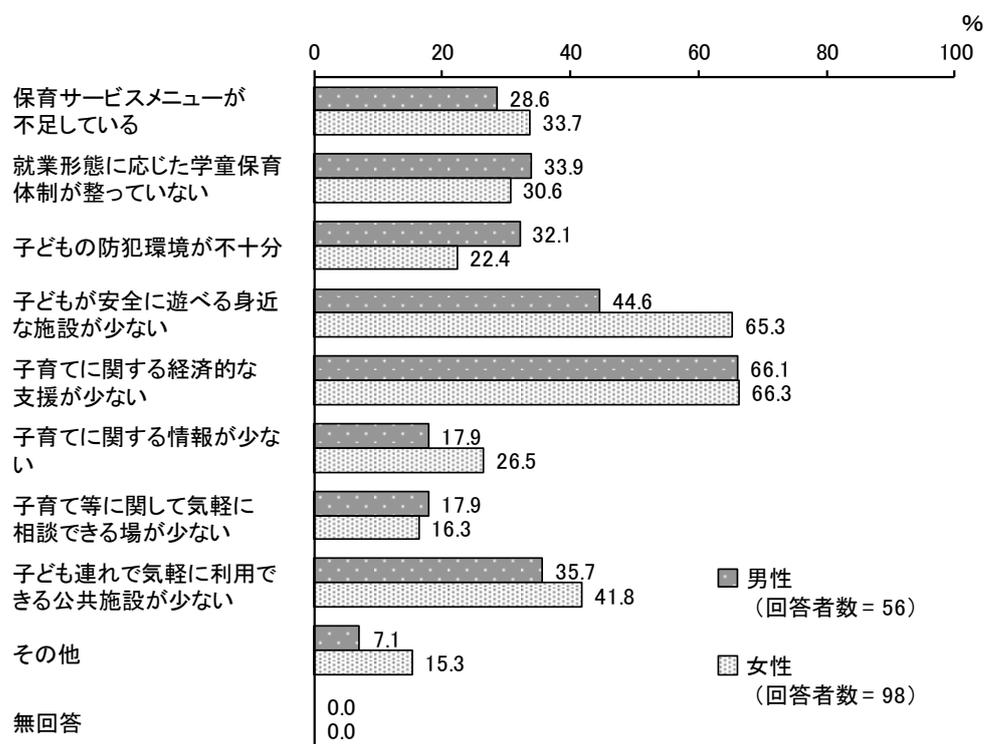
◎子育てがしやすいと思わない理由は、「子育てに関する経済的援助が少ない」が66.2%となっています。

- ・子育てしやすいまちだと思わない理由としては、「子育てに関する経済的な支援が少ない」が66.2%と最も高く、次いで「子どもが安全に遊べる身近な施設が少ない」(57.8%)、「子ども連れで気軽に利用できる公共施設が少ない」(39.6%)となっています。

図表 64 子育てしやすいと思わない理由



図表 65 子育てしやすいと思わない理由【性別】



【性別】

性別で見ると、「子どもの防犯環境が不十分」は男性（32.1%）が女性（22.4%）より9.7ポイント高くなっているのに対し、「子どもが安全に遊べる身近な施設が少ない」では女性（65.3%）が男性（44.6%）より20ポイント以上高くなっています。

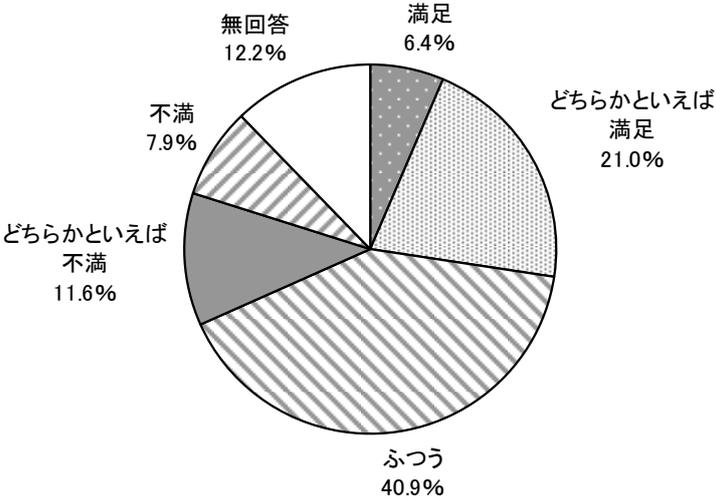
問 24 あなたは、桑名市の子育て支援サービスについて満足していますか。  
(○はひとつ)

全 体	満足	どちらかとい えば満足	ふつう	どちらかとい えば不満	不満	無回答
328	21	69	134	38	26	40
100.0%	6.4%	21.0%	40.9%	11.6%	7.9%	12.2%

◎子育て支援サービスに関する保護者の満足度は27.4%となっています。

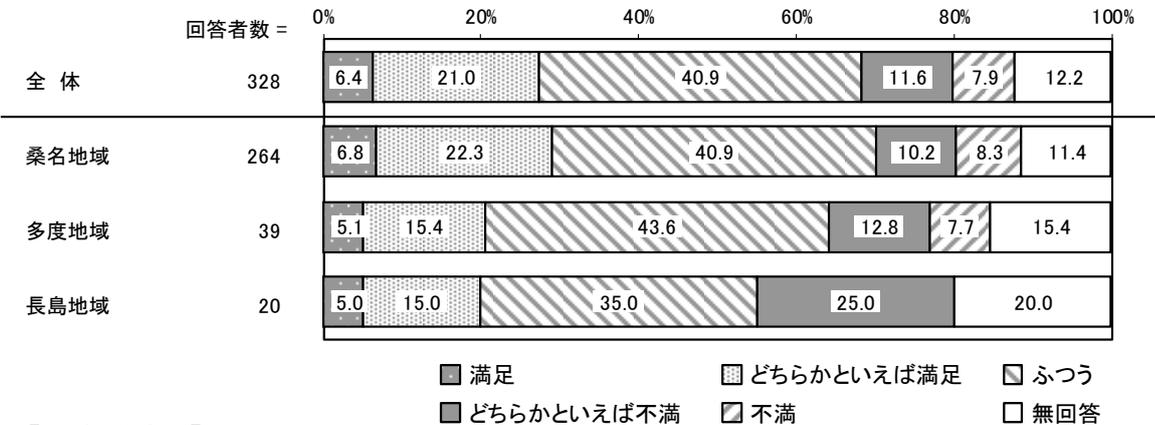
・桑名市の子育て支援サービスについては、「満足」(6.4%)と「どちらかといえば満足」(21.0%)を合わせた『満足している』人は27.4%となっています。

図表 66 子育て支援サービスへの満足度



回答者数 = 328

図表 67 子育て支援サービスへの満足度【居住地域別】



【居住地域別】

居住地域別でみると、『満足している』人は、桑名地域で(29.1%)で高くなっています。

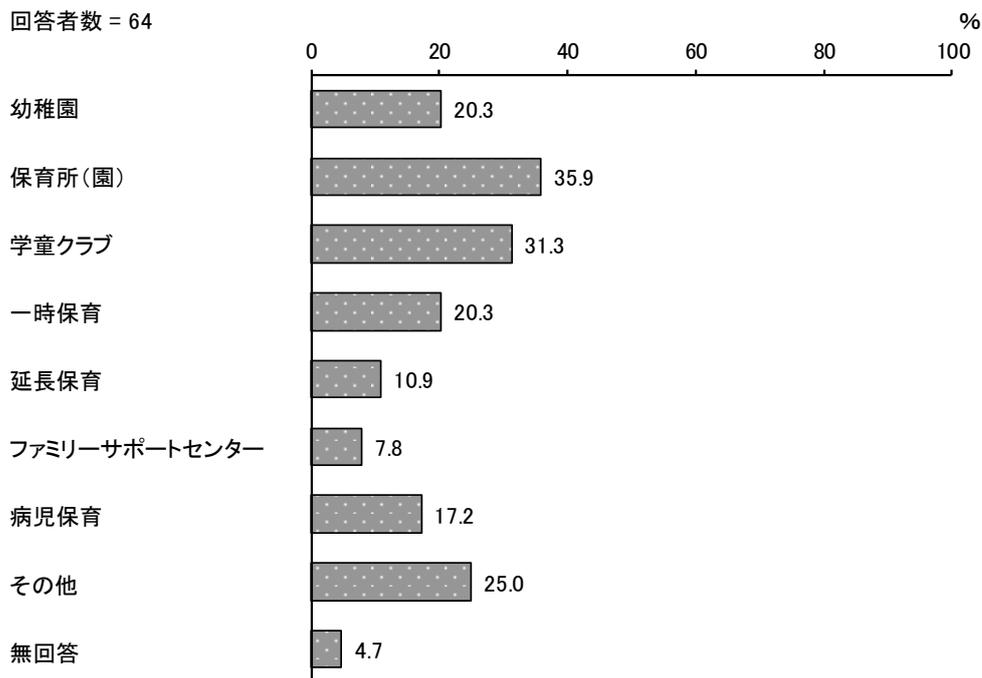
問 24-1 「4. どちらかといえば不満」「5. 不満」とお答えの方にお聞きします。その理由はなんですか。(〇はいくつでも)

全 体	幼稚園	保育所 (園)	学童 クラブ	一時保育	延長保育	ファミリー サポート センター	病児保育	その他	無回答
64	13	23	20	13	7	5	11	16	3
100.0%	20.3%	<b>35.9%</b>	31.3%	20.3%	10.9%	7.8%	17.2%	25.0%	4.7%

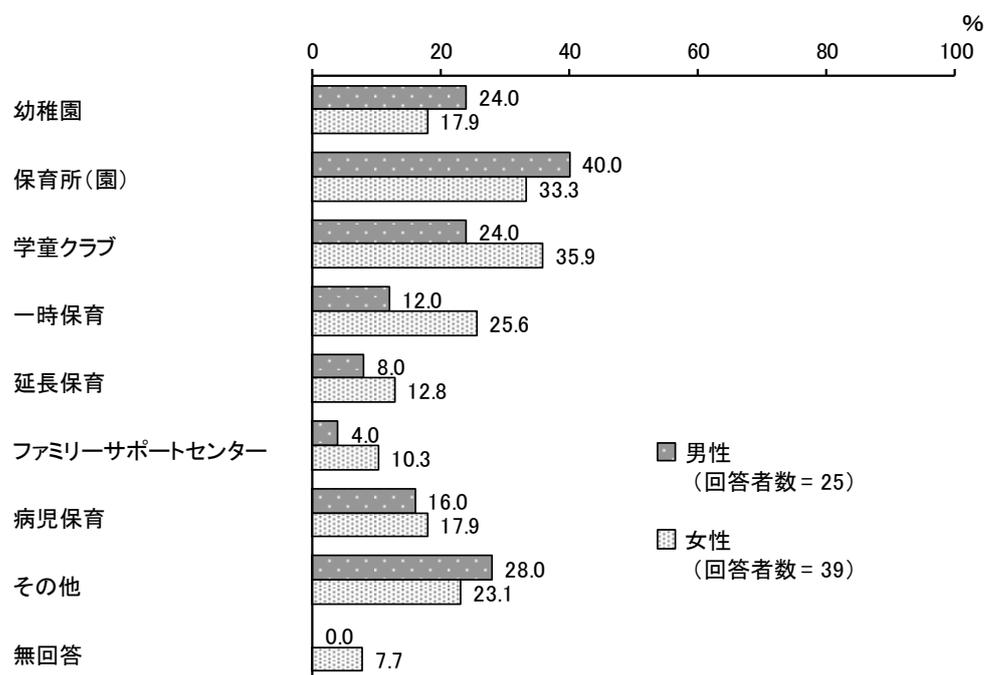
◎不満のある子育てサービスは「保育所（園）」が35.9%となっています。

- ・不満のある子育てサービスについては、「保育所（園）」が35.9%と最も高く、次いで「学童クラブ」（31.3%）、「幼稚園」が20.3%となっています。

図表 68 不満のある子育て支援サービス



図表 69 不満のある子育て支援サービス【性別】



【性別】

性別で見ると、総体的に男性に比べ女性の方が不満の高い割合を示す項目が多くなっています。特に「一時保育」では女性（25.6%）が男性（12.0%）より13.6ポイント高くなっています。

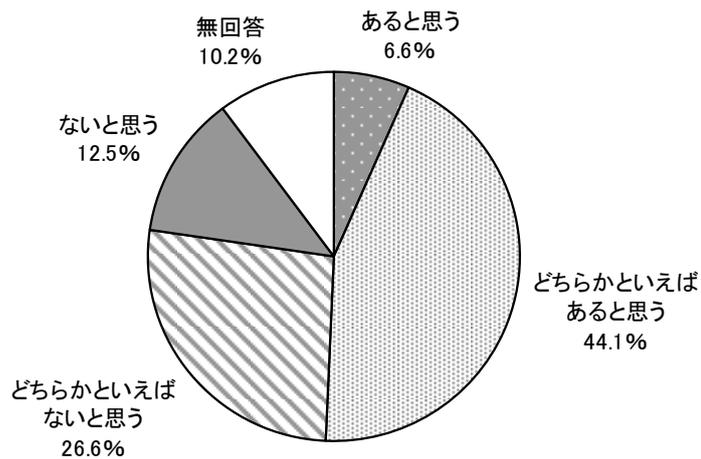
問 25 あなたは、桑名市には、子どもたちが放課後に安心して遊べる場所があると思いますか。(〇はひとつ)

全 体	あると思う	どちらかといえば あると思う	どちらかといえば ないと思う	ないと思う	無回答
256	17	113	68	32	26
100.0%	6.6%	<u>44.1%</u>	26.6%	12.5%	10.2%

◎子どもが放課後に安心して遊べる場所があると思う保護者は 50.7% となっています。

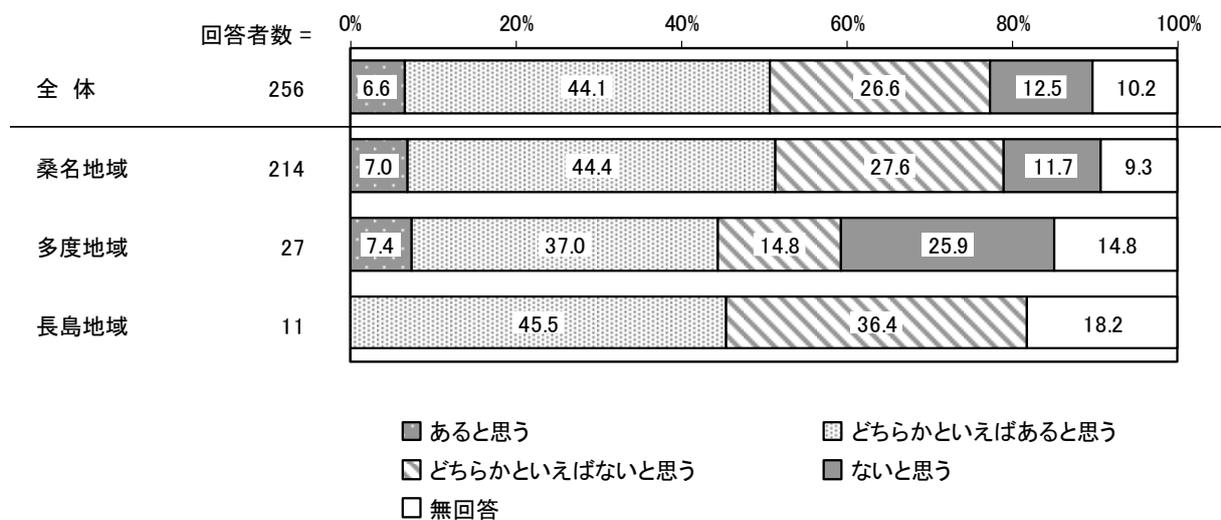
・小学生までの子どもをもつ保護者が、桑名市に子どもが放課後に安心して遊べる場所があると思うかどうかについては、「あると思う」(6.6%)と「どちらかといえばあると思う」(44.1%)を合わせた『あると思う』人は 50.7% となっています。

図表 70 子どもが放課後に安心して遊べる場所への評価



回答者数 = 256

図表 71 子どもが放課後に安心して遊べる場所への評価【居住地域別】



【居住地域別】

居住地域別でみると、『ないと思う』人は、多度地域（40.7%）で高くなっています。

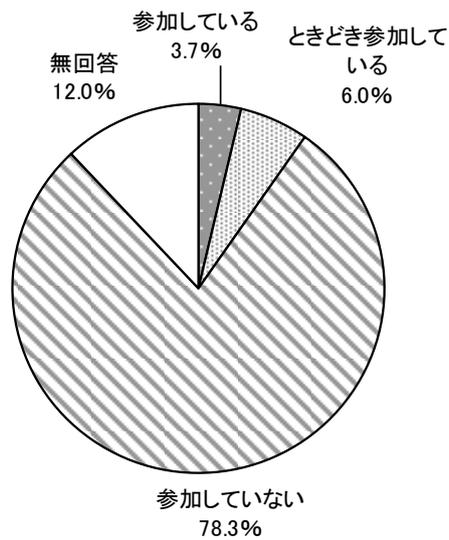
問 26 あなたは、地域で子育てに関わる活動に参加していますか。(〇はひとつ)

全 体	参加している	ときどき参加している	参加していない	無回答
1,422	53	86	1113	170
100.0%	3.7%	6.0%	<u>78.3%</u>	12.0%

◎地域で子育てに関わる活動に参加している市民は9.7%となっています。

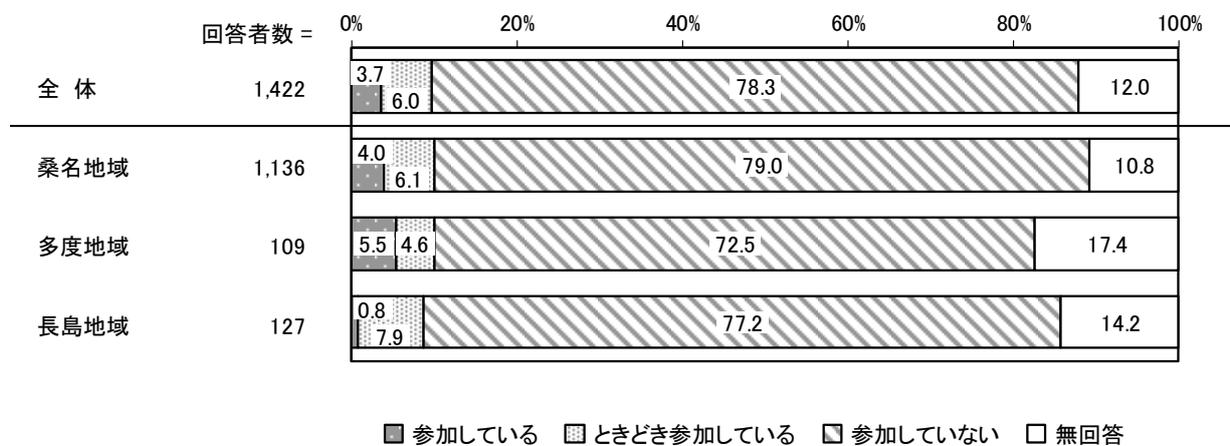
- ・地域での子育てに関わる活動については、「参加している」(3.7%)と「ときどき参加している」(6.0%)を合わせた『参加している』人は9.7%となっています。

図表 72 子育て関連活動への参加状況



回答者数 = 1,422

図表 73 子育て関連活動への参加状況【居住地域別】



【居住地域別】

居住地域別で見ると、「参加していない」人は、桑名地域（79.0%）で高くなっています。

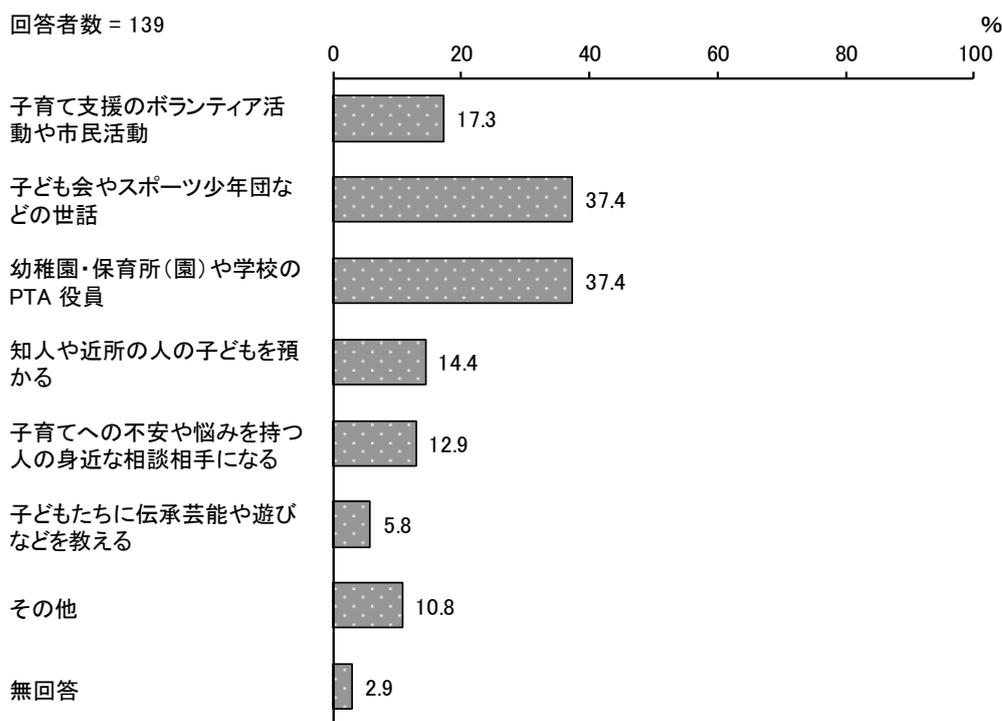
問 26-1 「1. 参加している」「2. ときどき参加している」とお答えの方にお聞きします。具体的にどのような活動をしていますか。（〇はいくつでも）

全体	子育て支援のボランティア活動や市民活動	子ども会やスポーツ少年団などの世話	PTA 役員 幼稚園・保育所（園）や学校の	預かる 知人や近所の人の子どもを	子育てへの不安や悩みを持つ人の身近な相談相手になる	子どもたちに伝承芸能や遊びなどを教える	その他	無回答
139	24	52	52	20	18	8	15	4
100.0%	17.3%	<u>37.4%</u>	<u>37.4%</u>	14.4%	12.9%	5.8%	10.8%	2.9%

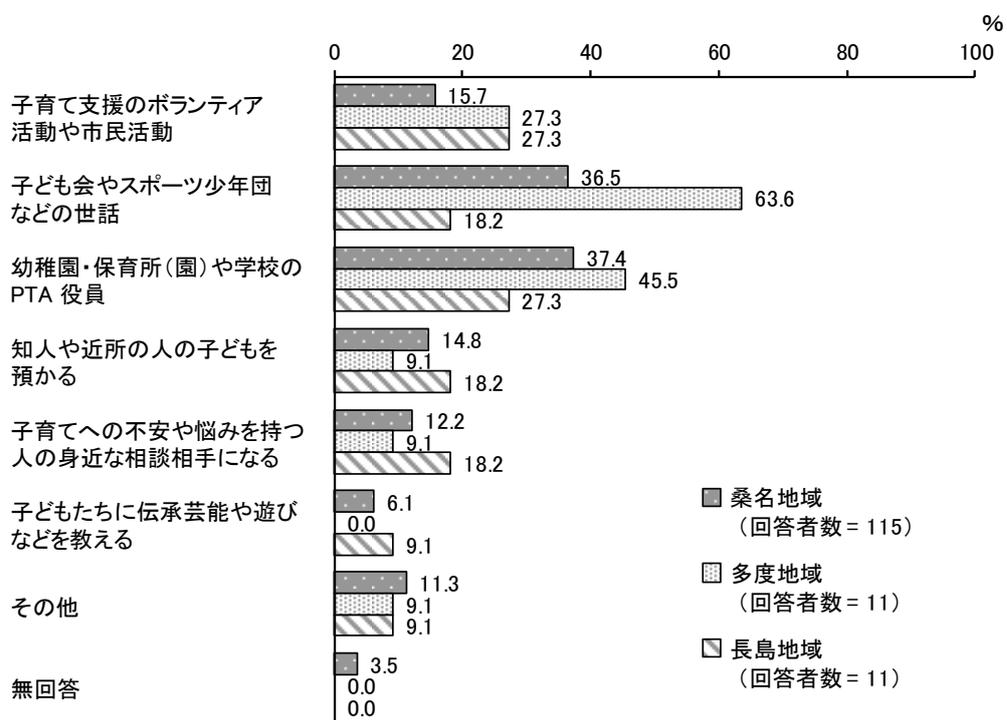
◎参加している活動は「子ども会やスポーツ少年団などの世話」・「幼稚園・保育所（園）や学校のPTA 役員」が37.4%となっています。

・『参加している』具体的な活動としては、「子ども会やスポーツ少年団などの世話」・「幼稚園・保育所（園）や学校のPTA 役員」が37.4%で最も高く、次いで「子育て支援のボランティア活動や市民活動」（17.3%）、「知人や近所の人の子どもを預かる」（14.4%）となっています。

図表 74 参加している子育て関連活動



図表 75 参加している子育て関連活動【居住地域別】



【居住地域別】

居住地域別で見ると、「子ども会やスポーツ少年団などの世話」「幼稚園・保育所(園)や学校のPTA 役員」は多度地域で高くなっています。

<学校教育>

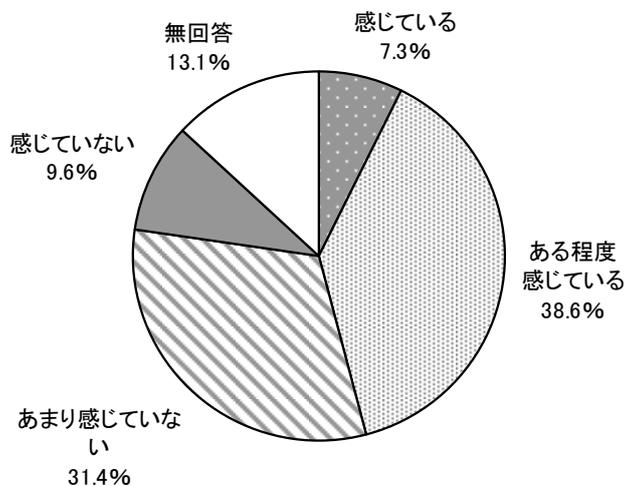
問 27 あなたがお住まいになっている地域（学区）では、学校・家庭・地域が連携協力することによって、子どもたちが育まれていると感じていますか。（○はひとつ）

全 体	感じている	ある程度 感じている	あまり 感じている	感じていない	無回答
1,422	104	549	447	136	186
100.0%	7.3%	<b>38.6%</b>	31.4%	9.6%	13.1%

◎学校・家庭・地域が連携して子どもが育まれていると感じている市民は 45.9%となっています。

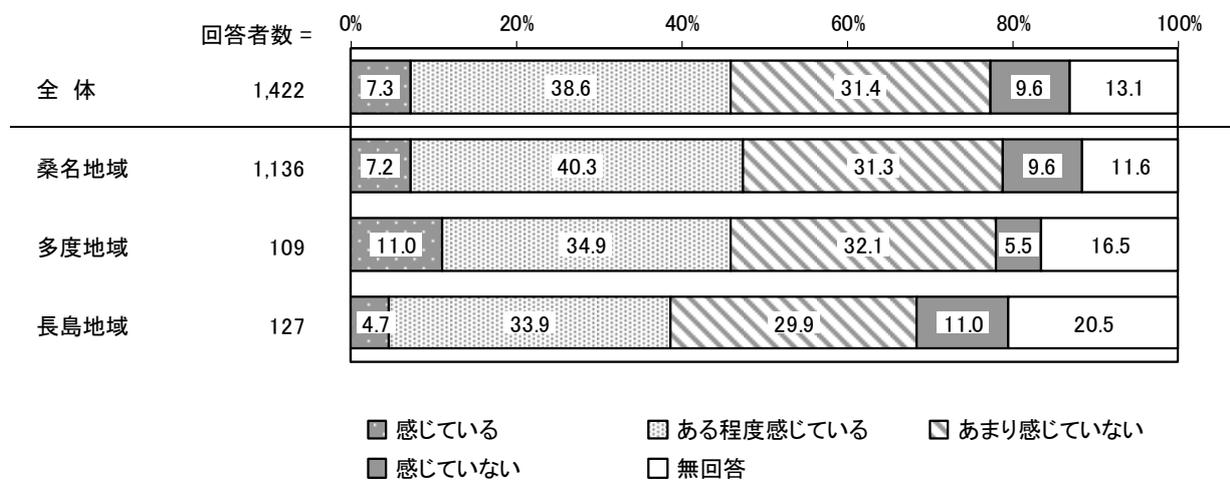
・地域において、学校・家庭・地域が連携協力して子どもたちが育まれているかどうかについては、「感じている」（7.3%）と「ある程度感じている」（38.6%）を合わせた『感じている』人は 45.9%となっています。

図表 76 参学校・家庭・地域の連携協力による子育てへの評価



回答者数 = 1,422

図表 77 学校・家庭・地域の連携協力による子育てへの評価【居住地域別】



【居住地域別】

居住地域別で見ると、『感じている』人は、桑名地域で 47.5% と最も高く、長島地域（38.6%）より 8.9 ポイント高くなっています。

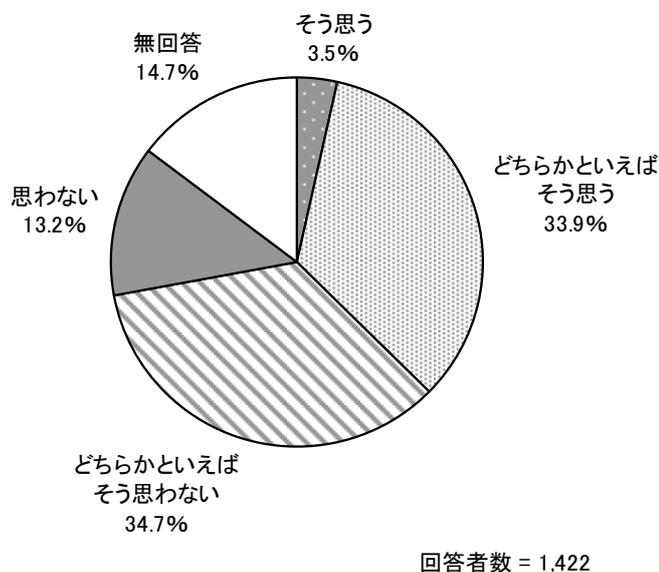
問 28 あなたは、桑名市で、子どもたちの学力・学習意欲や社会性が向上していると思いますか。(〇はひとつ)

全 体	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	思わない	無回答
1,422	50	482	494	187	209
100.0%	3.5%	33.9%	<u>34.7%</u>	13.2%	14.7%

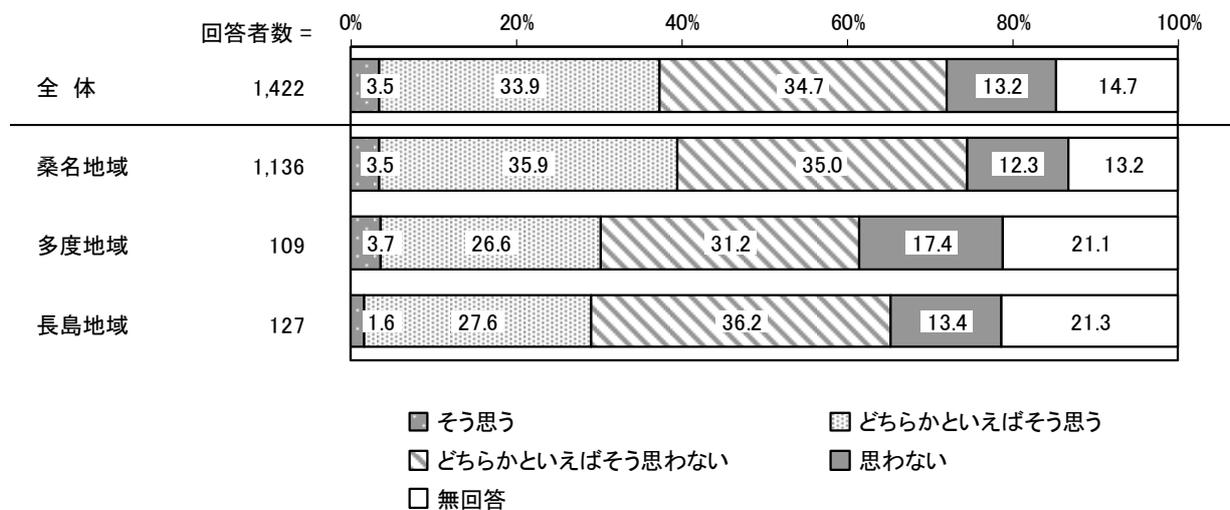
◎桑名市で子どもの学力・学習意欲などが向上していると感じている市民は 37.4%となっています。

・桑名市で、子どもたちの学力・学習意欲や社会性が向上しているかどうかについては、「そう思う」(3.5%)と「どちらかといえばそう思う」(33.9%)を合わせた『そう思う』人は 37.4%となっています。

図表 78 子どもたちの学力・学習意欲や社会性の向上



図表 79 子どもの学力・学習意欲や社会性の向上【居住地域別】



【居住地域別】

居住地域別で見ると、『そう思う』人は、桑名地域で 39.4%と高くなっています。

## 4 世界に向けて開かれたまちについて

### <国内・国際交流>

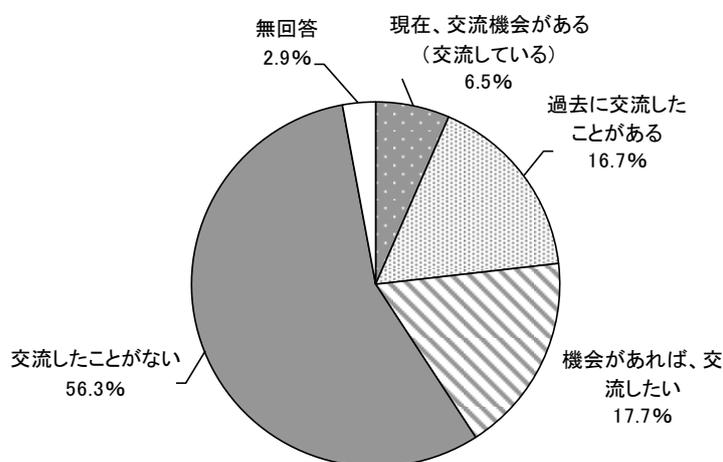
問 29 あなたの外国人・外国文化との交流について、もっともあてはまるものに○をつけてください。(○はひとつ)

全 体	現在、 交流機会がある (交流している)	過去に交流した ことがある	機会があれば、 交流したい	交流したことが ない	無回答
1,422	92	237	251	801	41
100.0%	6.5%	16.7%	17.7%	<b>56.3%</b>	2.9%

◎外国人と交流したことがある市民は23.2%となっています。

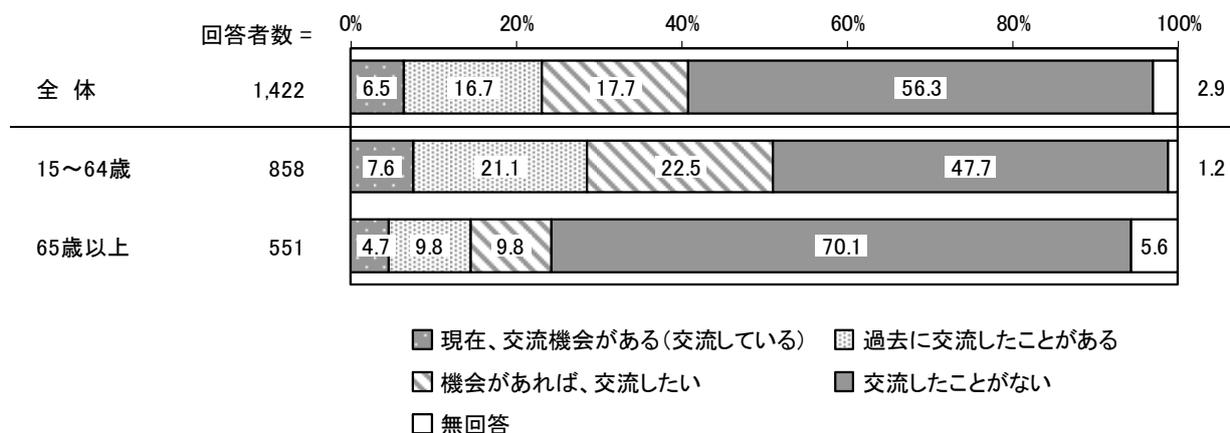
- ・外国人・外国文化との交流については、「現在、交流機会がある（交流している）」（6.5%）と「過去に交流したことがある」（16.7%）を合わせた『交流したことがある』人は23.2%となっています。また、「機会があれば交流したい」人は17.7%となっています。

図表 80 外国人・外国文化との交流状況



回答者数 = 1,422

図表 81 外国人・外国文化との交流状況【年齢別】



【年齢別】

年齢別でみると、『交流したことがある』人は15~64歳(28.7%)が65歳以上(14.5%)より高くなっています。また、「機会があれば、交流したい」と回答した人も15~64歳で22.5%と65歳以上(9.8%)より12.7ポイント高くなっています。

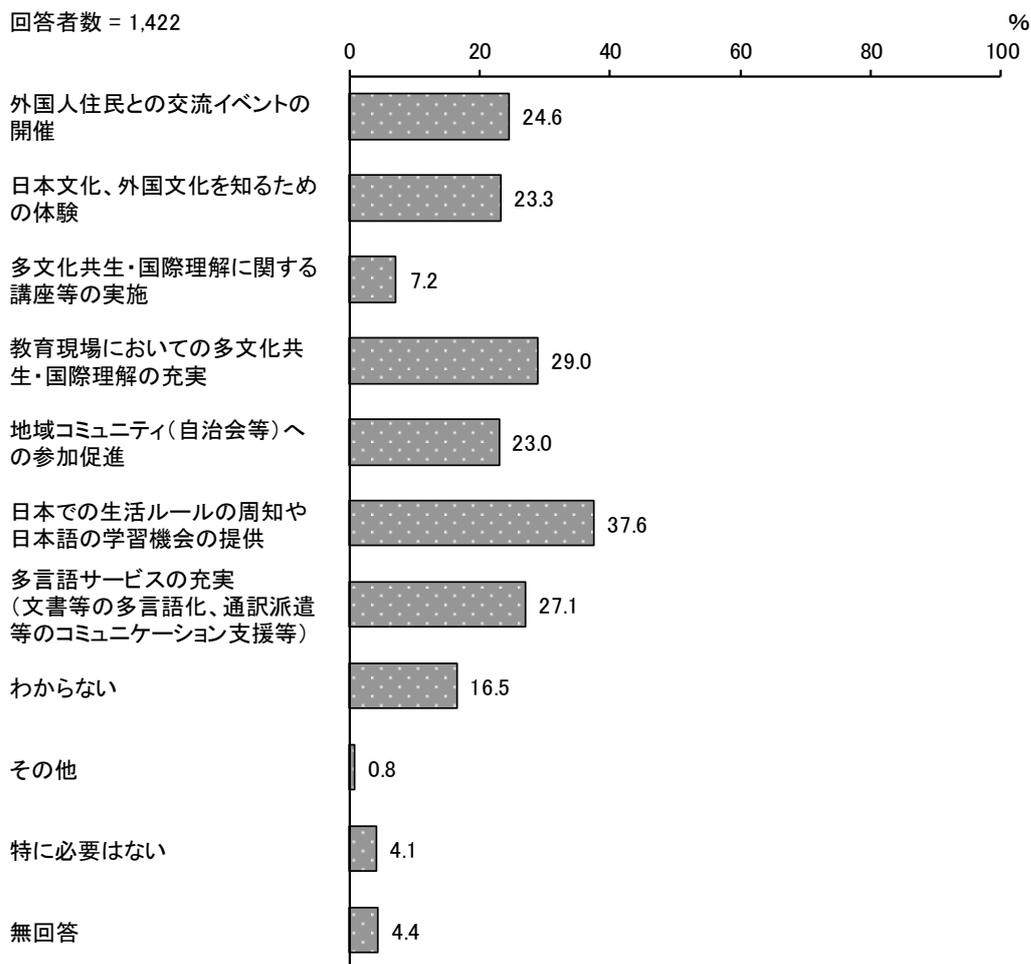
問 30 日本人と外国人が互いに認め合い、ともに暮らしやすい社会（多文化共生社会）を実現するために、どのような取り組みが必要だと思えますか。（○は3つまで）

全体	外国人住民との交流イベントの開催	日本文化、外国文化を知るための体験	多文化共生・国際理解に関する講座等の実施	充実 教育現場においての多文化共生・国際理解の	地域コミュニティ（自治会等）への参加促進	機会 日本での生活ルールの周知や日本語の学習 の提供	多言語サービスの充実（文書等の多言語化、 通訳派遣等のコミュニケーション支援等）	わからない	その他	特に必要はない	無回答
1,422 100.0%	350 24.6%	332 23.3%	103 7.2%	413 29.0%	327 23.0%	535 <u>37.6%</u>	385 27.1%	235 16.5%	12 0.8%	59 4.1%	62 4.4%

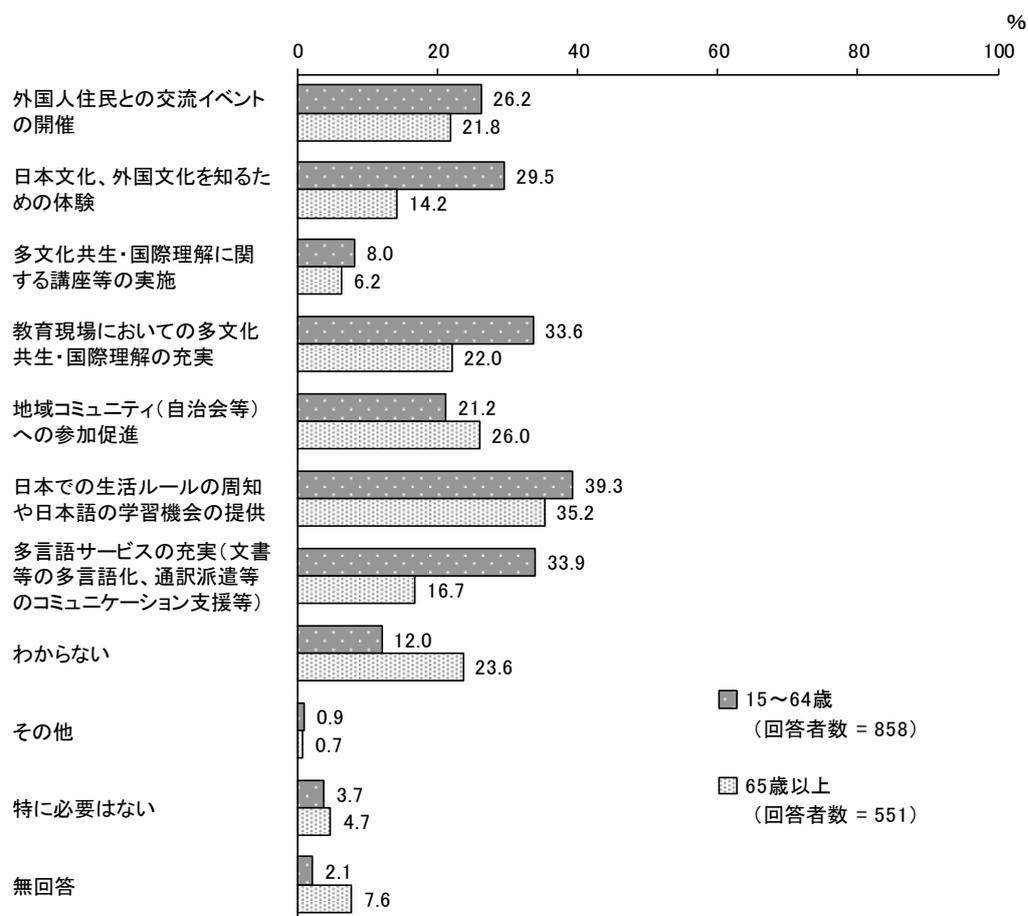
◎多文化共生社会を実現するために必要な取り組みは「日本での生活ルールの周知や日本語の学習機会の提供」が37.6%となっています。

- ・多文化共生社会を実現するために必要な取り組みは、「日本での生活ルールの周知や日本語の学習機会の提供」が37.6%で最も高く、次いで「教育現場においての多文化共生・国際理解の充実」（29.0%）、「多言語サービスの充実（文書等の多言語化、通訳派遣等のコミュニケーション支援等）」（27.1%）、「外国人住民との交流イベントの開催」（24.6%）となっています。

図表 82 多文化共生社会実現のための取り組み



図表 83 多文化共生社会実現のための取り組み【年齢別】



【年齢別】

年齢別でみると、「多言語サービスの充実（文書等の多言語化、通訳派遣等のコミュニケーション支援等）」は15～64歳（33.9%）が65歳以上（16.7%）より17.2ポイント高く、「日本文化、海外文化を知るための体験」についても15～64歳（29.5%）が65歳以上（14.2%）より15.3ポイント高くなっています。

## 5 地理的優位性を活かした元気なまちについて

### <中心市街地>

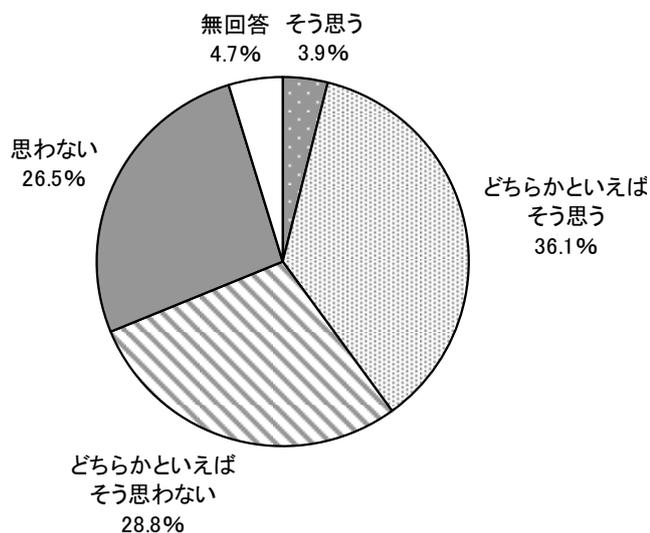
問 31 あなたは、中心市街地（桑名駅周辺）が、にぎわい等があり活性化していると思いますか。（○はひとつ）

全 体	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	思わない	無回答
1,422	55	514	409	377	67
100.0%	3.9%	<b>36.1%</b>	28.8%	26.5%	4.7%

◎中心市街地（桑名駅周辺）が活性化していると思う市民は40.0%となっています。

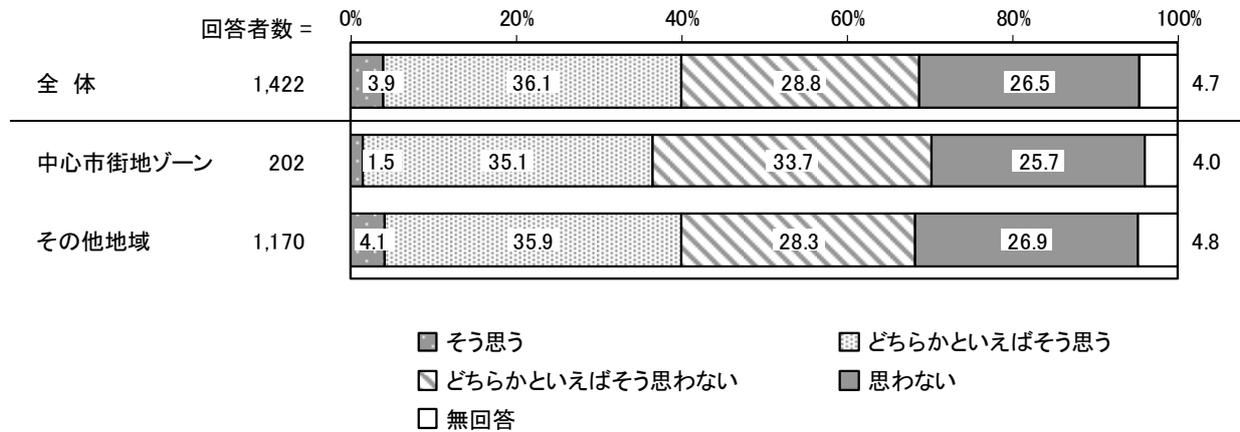
- ・中心市街地（桑名駅周辺）が活性化しているかどうかについては、「そう思う」（3.9%）と「どちらかといえばそう思う」（36.1%）を合わせた『そう思う』人は40.0%となっています。一方、「どちらかといえばそう思わない」（28.8%）と「思わない」（26.5%）を合わせた『そう思わない』人は55.3%となっています。

図表 84 中心市街地の活性化への評価



回答者数 = 1,422

図表 85 中心市街地の活性化への評価【市街地地域別】



※中心市街地ゾーン：「精義小学校区」「修徳小学校区」「大成小学校区」

【市街地地域別】

市街地地域別でみると、『そう思う』人は、その他地域（40.0%）が中心市街地ゾーン（36.6%）より3.4ポイント高くなっています。

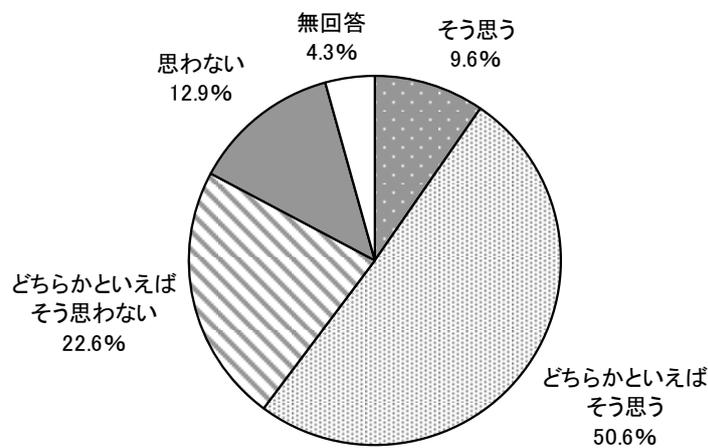
問 32 あなたは、桑名駅とその周辺が市の玄関口としてふさわしく整備されていると思いますか。(〇はひとつ)

全 体	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	思わない	無回答
1,422	137	720	321	183	61
100.0%	9.6%	<b>50.6%</b>	22.6%	12.9%	4.3%

◎桑名駅が市の玄関口としてふさわしく整備されていると思う市民は 60.2%となっています。

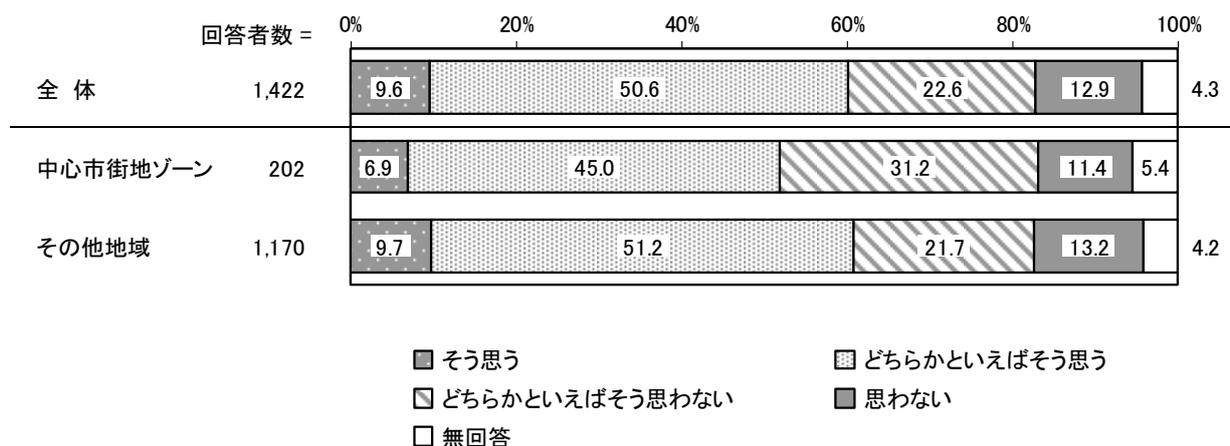
・桑名駅が市の玄関口としてふさわしく整備されているかどうかについては、「そう思う」(9.6%)と「どちらかといえばそう思う」(50.6%)を合わせた『そう思う』人は 60.2%となっています。一方、「どちらかといえばそう思わない」(22.6%)と「思わない」(12.9%)を合わせた『そう思わない』人は 35.5%となっています。

図表 86 桑名駅の整備状況への評価



回答者数 = 1,422

図表 87 桑名駅の整備状況への評価【市街地地域別】



【市街地地域別】

市街地地域別で見ると、『そう思う』人がその他地域で60.9%と高くなっています。

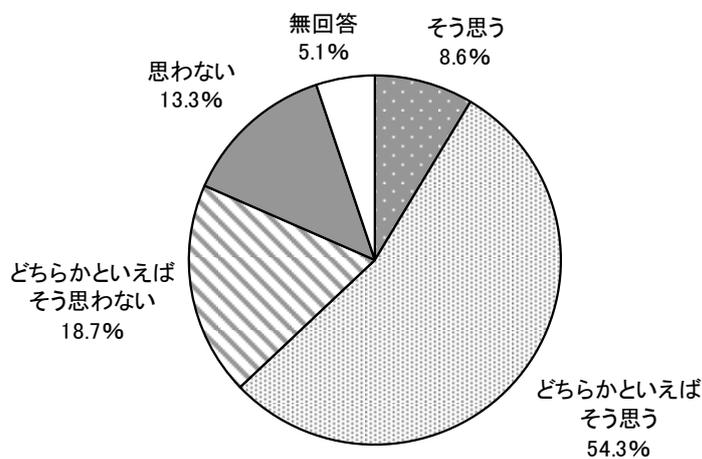
問 33 あなたは、中心市街地（桑名駅周辺）が、徒歩や公共交通機関（バス・電車）の利用により、買い物・通学・通院等ができ生活に困らないまちになっていると思いますか。（○はひとつ）

全 体	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	思わない	無回答
1,422	123	772	266	189	72
100.0%	8.6%	54.3%	18.7%	13.3%	5.1%

◎中心市街地が買い物・通院等の生活に困らないコンパクトシティになっていると思う市民は62.9%です。

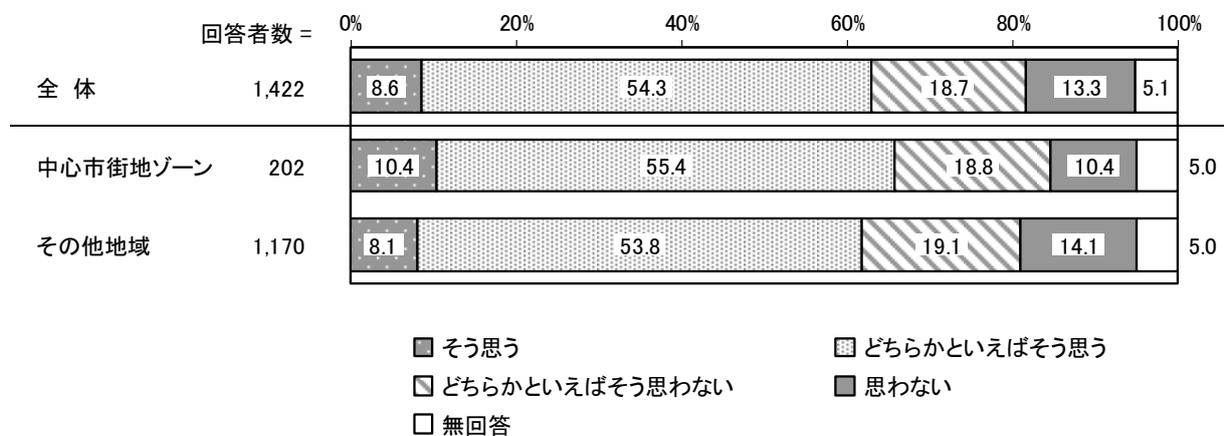
- ・中心市街地（桑名駅周辺）が買い物・通院等の生活に困らないまちになっているかどうかについては、「そう思う」（8.6%）と「どちらかといえばそう思う」（54.3%）を合わせた『そう思う』人は62.9%となっています。一方、「どちらかといえばそう思わない」（18.7%）と「思わない」（13.3%）を合わせた『そう思わない』人は32.0%となっています。

図表 88 中心市街地での買い物等の利便性への評価



回答者数 = 1,422

図表 89 中心市街地での買い物等の利便性への評価【市街地地域別】



【市街地地域別】

市街地地域別で見ると、『そう思う』人は、中心市街地ゾーン (65.8%) がその他地域 (61.9%) より 3.9 ポイント高くなっています。



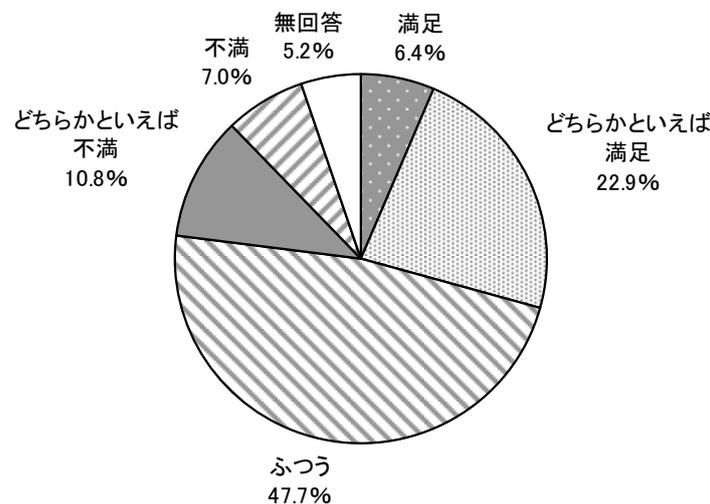
(イ)主に市外へ移動する道路（幹線道路）の整備状況

全体	満足	どちらかといえ ば満足	ふつう	どちらかといえ ば不満	不満	無回答
1,422	91	325	679	153	100	74
100.0%	6.4%	22.9%	47.7%	10.8%	7.0%	5.2%

◎市外へ移動する道路の満足度は29.3%となっています。

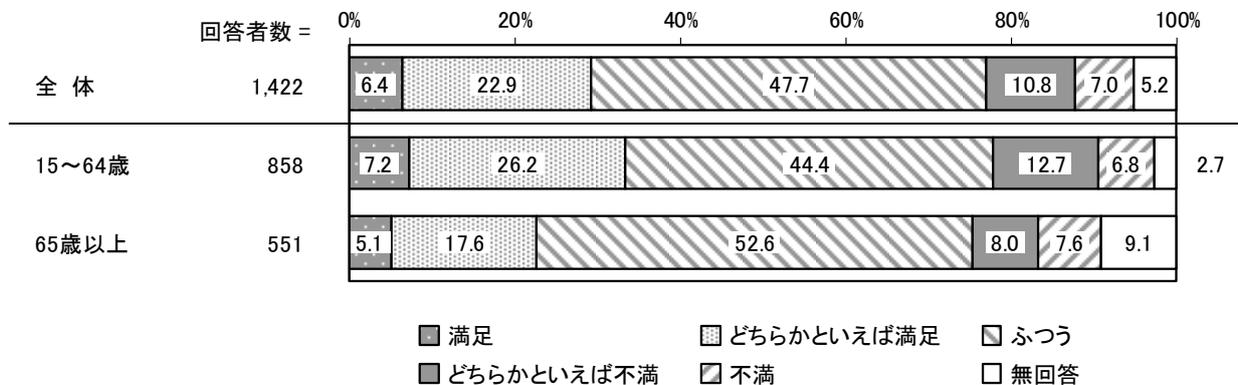
・主に市外へ移動する道路（幹線道路）の整備状況については、「満足」（6.4%）と「どちらかといえ  
ば満足」（22.9%）を合わせた『満足している』人は29.3%となっています。

図表 92 幹線道路の整備状況への満足度



回答者数 = 1,422

図表 93 幹線道路の整備状況への満足度【年齢別】



【年齢別】

年齢別でみると、『満足している』人は15~64歳で33.4%と高くなっています。

<公共交通>

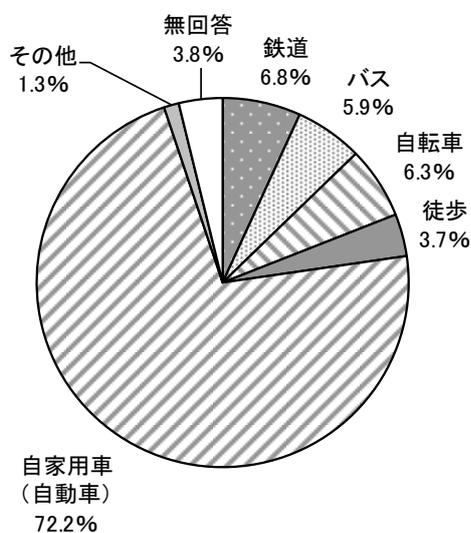
問 35 あなたが日常生活（通勤、通学、買い物、通院等）で主に利用する交通手段について教えてください。（○はひとつ）

全 体	鉄道	バス	自転車	徒歩	自家用車 (自動車)	その他	無回答
1,422	96	84	90	53	1026	19	54
100.0%	6.8%	5.9%	6.3%	3.7%	<u>72.2%</u>	1.3%	3.8%

◎日常生活で公共交通機関を利用している市民は 12.7%、「自家用車」が 72.2%となっています。

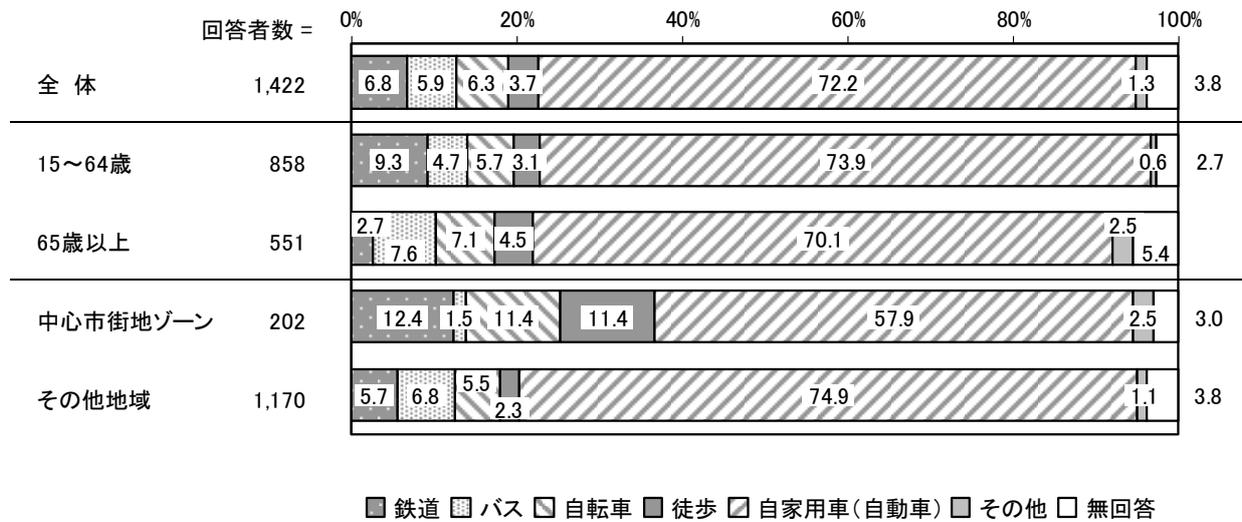
- ・日常生活で主に利用する交通手段は、「鉄道」が 6.8%、「バス」が 5.9%で、公共交通機関を利用している人は 12.7%となっています。公共交通機関以外では、「自家用車(自動車)」(72.2%)が 7割以上を占めています。

図表 94 日常生活で主に利用する交通手段



回答者数 = 1,422

図表 95 日常生活で主に利用する交通手段【年齢別・市街地地域別】



【年齢別】

年齢別で見ると、「鉄道」は15~64歳(9.3%)が65歳以上(2.7%)より6.6ポイント高く、「自家用車(自動車)」についても15~64歳(73.9%)が65歳以上(70.1%)より3.8ポイント高くなっています。

【市街地地域別】

市街地地域別で見ると、「自家用車(自動車)」は、その他地域(74.9%)が、中心市街地ゾーン(57.9%)より17.0ポイント高くなっています。

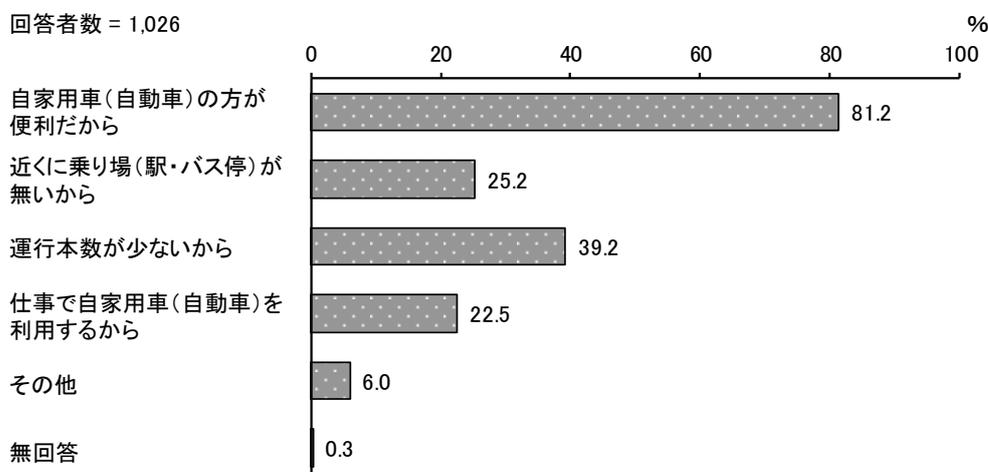
問 35-1 「5. 自家用車（自動車）」とお答えの方にお聞きします。公共交通機関を利用されない理由はなんですか。（〇はいくつでも）

全 体	自家用車(自動車)の方が便利だから	近くに乗り場(駅・バス停)が無いから	運行本数が少ないから	仕事で自家用車(自動車)を利用するから	その他	無回答
1,026	833	259	402	231	62	3
100.0%	<u>81.2%</u>	25.2%	39.2%	22.5%	6.0%	0.3%

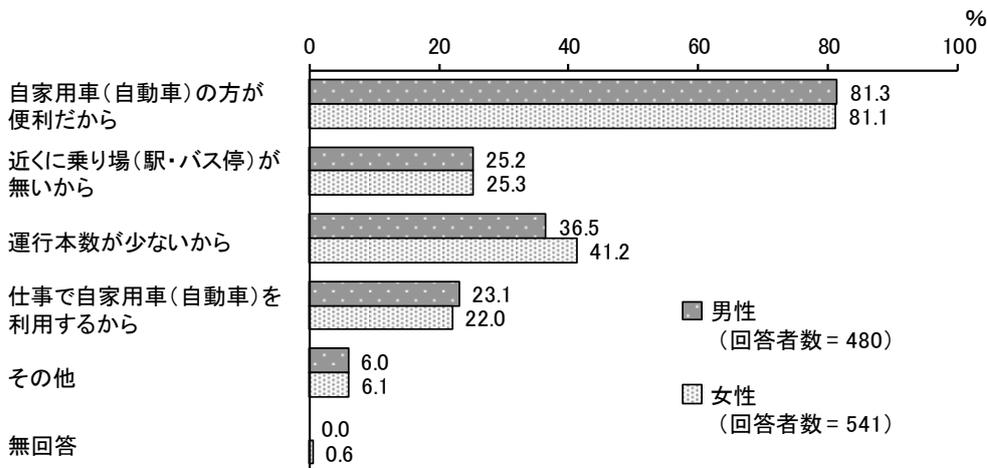
◎公共交通機関を利用しない理由は「自家用車（自動車）の方が便利だから」が81.2%となっています。

- ・自家用車を利用し公共交通機関を利用しない理由としては、「自家用車（自動車）の方が便利だから」が81.2%と最も高く、次いで「運行本数が少ないから」（39.2%）、「近くに乗り場（駅・バス停）が無いから」（25.2%）、「仕事で自家用車（自動車）を利用するから」（22.5%）となっています。

図表 96 自家用車を利用し公共交通機関を利用しない理由



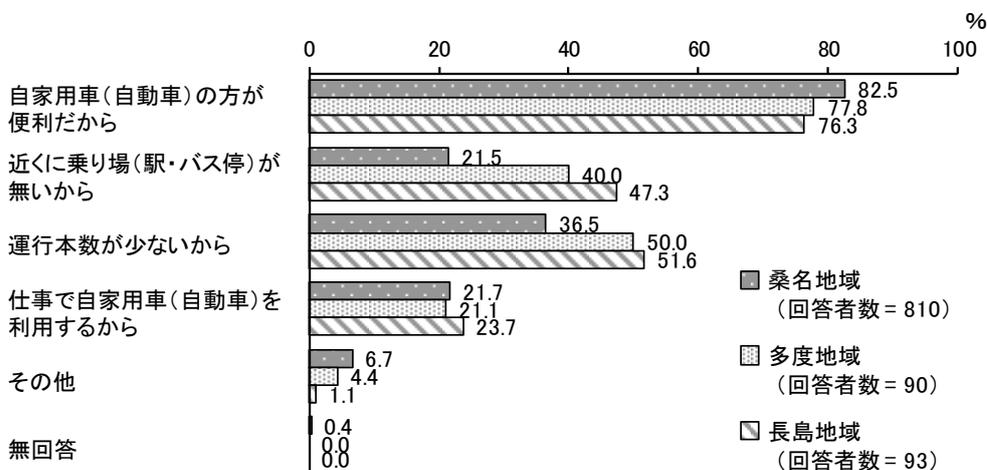
図表 97 自家用車を利用し公共交通機関を利用しない理由【性別】



【性別】

性別でみると、「運行本数が少ないから」は、女性（41.2%）が男性（36.5%）より 5.7 ポイント高くなっています。

図表 98 自家用車を利用し公共交通機関を利用しない理由【居住地域別】



【居住地域別】

自家用車を利用し公共交通機関を利用しない理由について居住地域別でみると、「近くに乗り場(駅・バス停)が無いから」、「運行本数が少ないから」は桑名地域に比べて、多度地域、長島地域で高くなっています。

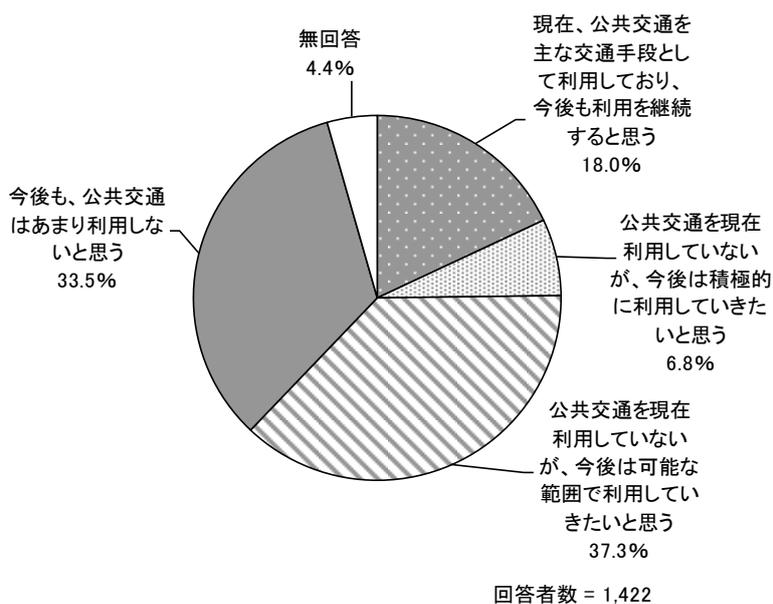
問 36 あなたの公共交通の利用に関する考え方について、教えてください。  
(○はひとつ)

全体	今後も公共交通を継続すると思う	現在、公共交通を主な交通手段として利用しており、今後も利用を継続すると思う	公共交通を現在利用していないが、今後は積極的に利用していきたいと思う	公共交通を現在利用していないが、今後は可能な範囲で利用していきたいと思う	今後も、公共交通はあまり利用しないと思う	無回答
1,422 100.0%	256 18.0%	97 6.8%	530 <b>37.3%</b>	476 33.5%	63 4.4%	

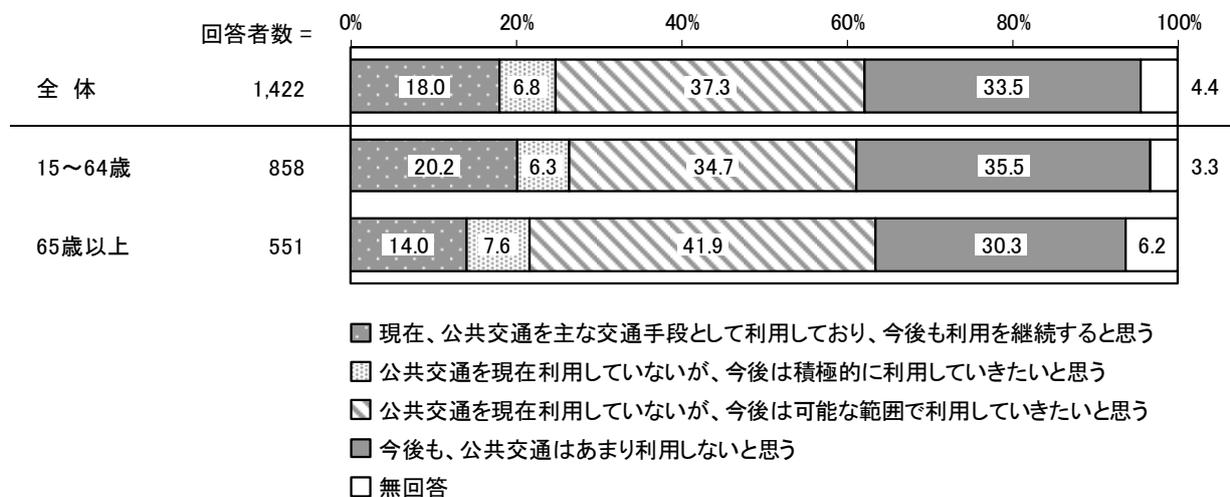
◎公共交通を今後利用したいと思う市民は62.1%となっています。

・公共交通の利用意向については、「公共交通を現在利用していないが、今後は可能な範囲で利用していきたいと思う」が37.3と最も高く、これに「現在、公共交通を主な交通手段として利用しており、今後も利用を継続すると思う」(18.0%)と「公共交通を現在利用していないが、今後は積極的に利用していきたいと思う」(6.8%)を合わせた『利用意向がある』人は62.1%となっています。

図表 99 公共交通の利用意向



図表 100 公共交通の利用意向【年齢別】



【年齢別】

年齢別でみると、「現在、公共交通を主な交通手段として利用しており、今後も利用を継続すると思う」人は15~64歳（20.2%）が65歳以上（14.0%）より6.2ポイント高くなっています。

## 6 桑名をまちごと「ブランド」について

### <文化・スポーツ>

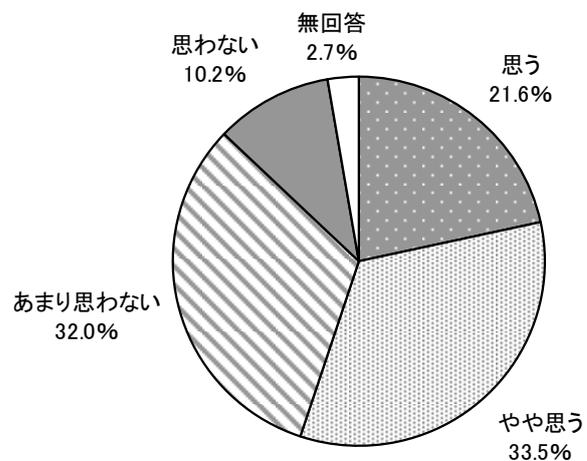
問 37 あなたは、桑名市の歴史や文化を市外の人に紹介したいと思いますか。  
(〇はひとつ)

全 体	思う	やや思う	あまり思わない	思わない	無回答
1,422	307	477	455	145	38
100.0%	21.6%	<u>33.5%</u>	32.0%	10.2%	2.7%

◎桑名市の歴史や文化を市外の人に紹介したい市民は 55.1%となっています。

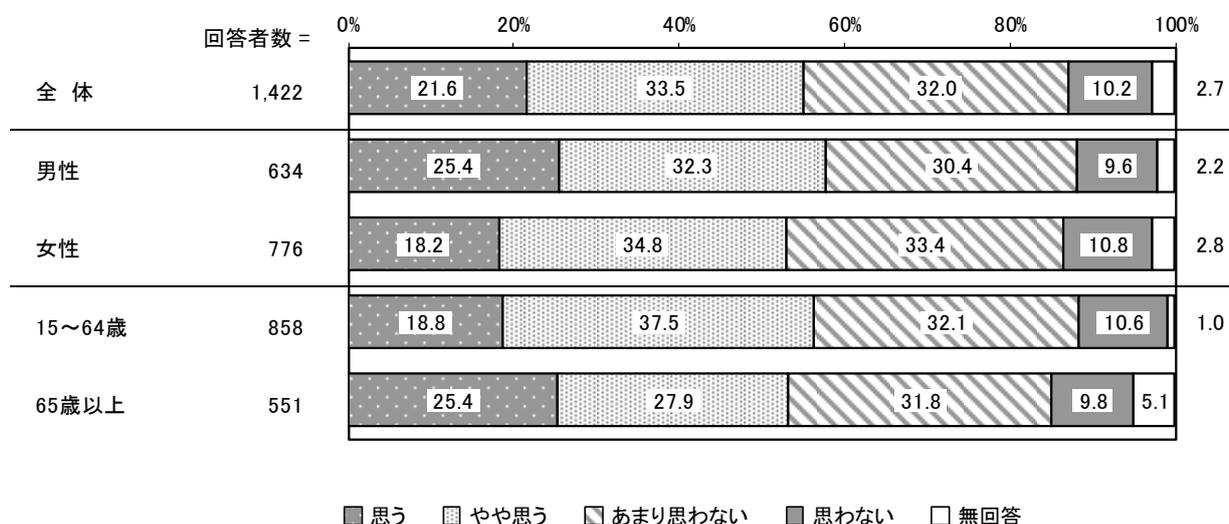
- ・桑名市の歴史や文化を市外の人に紹介したいかについては、「思う」(21.6%)と「やや思う」(33.5%)を合わせた『思う』人は 55.1%となっています。

図表 101 桑名市の歴史や文化を市外の人への紹介



回答者数 = 1,422

図表 102 桑名市の歴史や文化を市外の人への紹介【性別・年齢別】



【性別】

性別でみると、『思う』人の割合は、男性（57.7%）が女性（53%）より 4.7 ポイント高くなっています。

【年齢別】

年齢別でみると、大きな差異はみられませんでした。

問 38 あなたはこの1年間、芸術・文化・歴史に親しむ機会がありましたか。あればその場所に○をつけてください。(項目ごとに○はいくつでも)

(ア) 芸術・文化イベントに来場者として参加した

全 体	市内で	市外で	ない	無回答
1,422	91	154	1073	132
100.0%	6.4%	10.8%	<u>75.5%</u>	9.3%

(イ) 演劇や音楽、美術などの芸術文化活動を行っている

全 体	市内で	市外で	ない	無回答
1,422	45	68	1166	148
100.0%	3.2%	4.8%	<u>82.0%</u>	10.4%

(ウ) 歴史や文化財に親しむことがあった

全 体	市内で	市外で	ない	無回答
1,422	145	186	987	140
100.0%	10.2%	13.1%	<u>69.4%</u>	9.8%

(エ) 博物館や歴史資料館に行ったことがある

全 体	市内で	市外で	ない	無回答
1,422	197	222	929	113
100.0%	13.9%	15.6%	<u>65.3%</u>	7.9%

(オ) 歴史や文化を楽しむ教室や講座に参加した

全 体	市内で	市外で	ない	無回答
1,422	57	48	1166	156
100.0%	4.0%	3.4%	<u>82.0%</u>	11.0%

(カ) 芸術・文化イベントに出展、出演、スタッフとして参加した

全 体	市内で	市外で	ない	無回答
1,422	26	21	1216	161
100.0%	1.8%	1.5%	<u>85.5%</u>	11.3%

(キ) 地域の伝統行事、祭りに参加した

全 体	市内で	市外で	ない	無回答
1,422	111	38	1135	149
100.0%	7.8%	2.7%	<u>79.8%</u>	10.5%

機会があった人の割合＝全体－（「ない」＋「無回答」の割合）

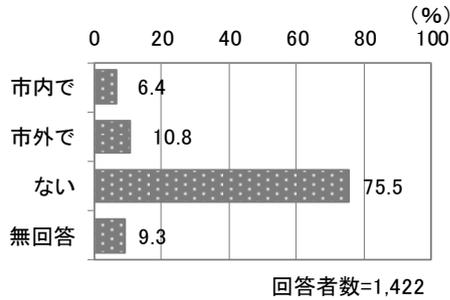
いずれかの機会があった人の割合＝全体－（(ア)～(キ)すべてにおいて「ない」もしくは「無回答」の割合）

◎ この1年間にいずれかの機会があった人は40.0%となっています。

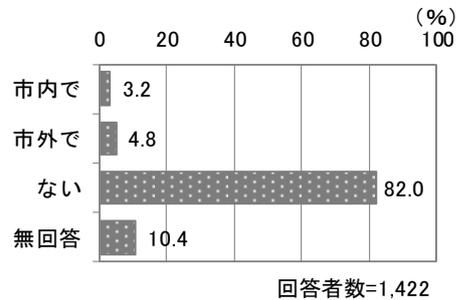
- ☆ この1年間における芸術・文化・歴史に親しむ機会については、(ア)“芸術鑑賞”で15.3%、(イ)“芸術活動”で7.6%、(ウ)“歴史や文化財に親しむ”で20.7%、(エ)“歴史資料館等の鑑賞”で26.7%、(オ)“文化講座等への参加”で7.0%の人が、(カ)“文化・芸術に関する活動”で3.2%の人が、(キ)“地域の伝統行事への参加”で9.7%の人が、それぞれあったと答えています。また、いずれかの機会があった人は40.0%となっています。

図表 103 芸術・文化・歴史に親しむ機会の有無

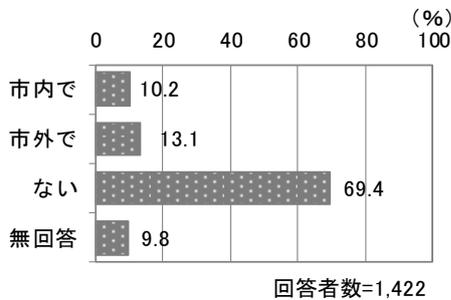
【(ア) 芸術・文化イベントに来場者として参加した】



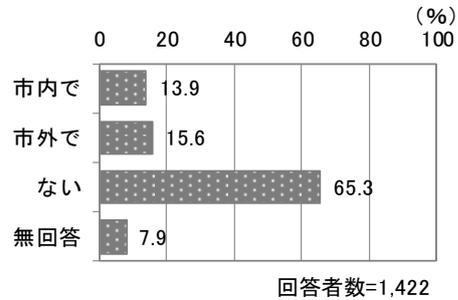
【(イ) 演劇や音楽、美術などの芸術文化活動を行っている】



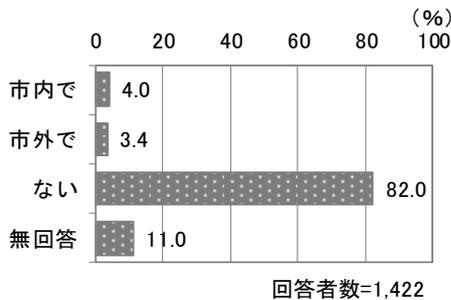
【(ウ) 歴史や文化財に親しむことがあった】



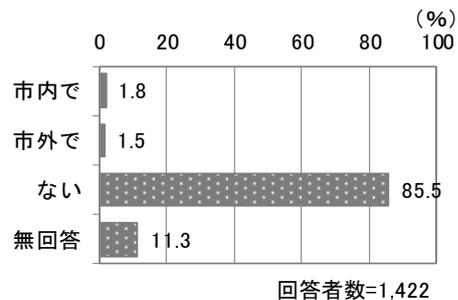
【(エ) 博物館や歴史資料館に行ったことがある】



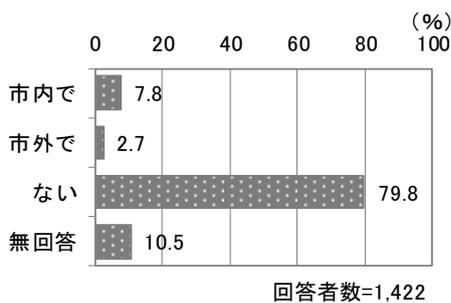
【(オ) 歴史や文化を楽しむ教室や講座に参加した】



【(カ) 芸術・文化イベントに出展、出演、スタッフとして参加した】

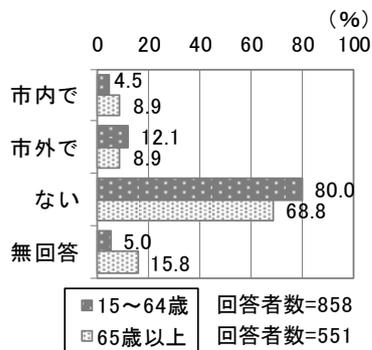


【(キ) 地域の伝統行事、祭りに参加した】

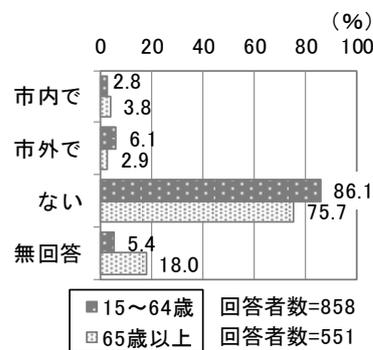


図表 104 芸術・文化・歴史に親しむ機会の有無【年齢別】

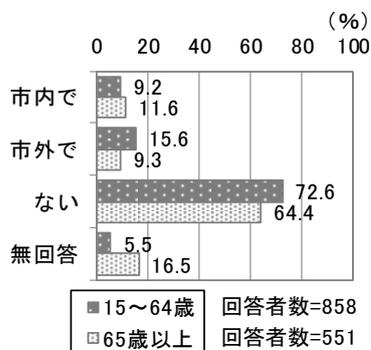
【(ア) 芸術・文化イベントに来場者として参加した】



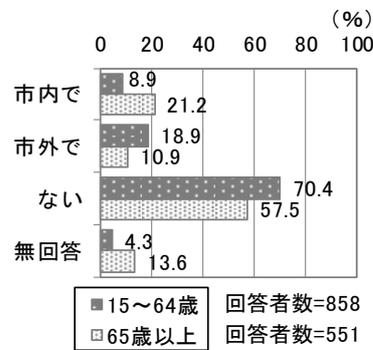
【(イ) 演劇や音楽、美術などの芸術文化活動を行っている】



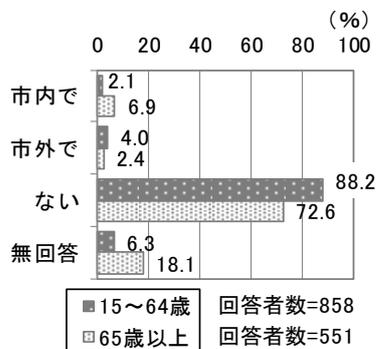
【(ウ) 歴史や文化財に親しむことがあった】



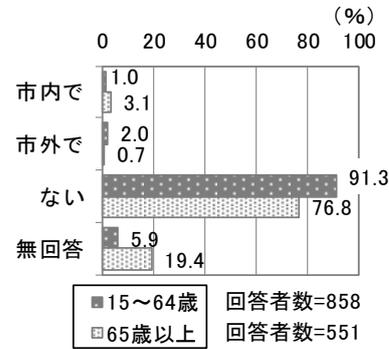
【(エ) 博物館や歴史資料館に行ったことがある】



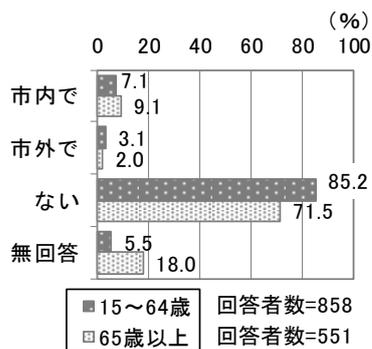
【(オ) 歴史や文化を楽しむ教室や講座に参加した】



【(カ) 芸術・文化イベントに出展、出演、スタッフとして参加した】



【(キ) 地域の伝統行事、祭りに参加した】



【年齢別】

年齢別でみると、「(エ) 博物館や歴史資料館に行ったことがある」人では、市内だが、65歳以上 (21.2%) が15～64歳 (8.9%) より12.3ポイント高くなっています。

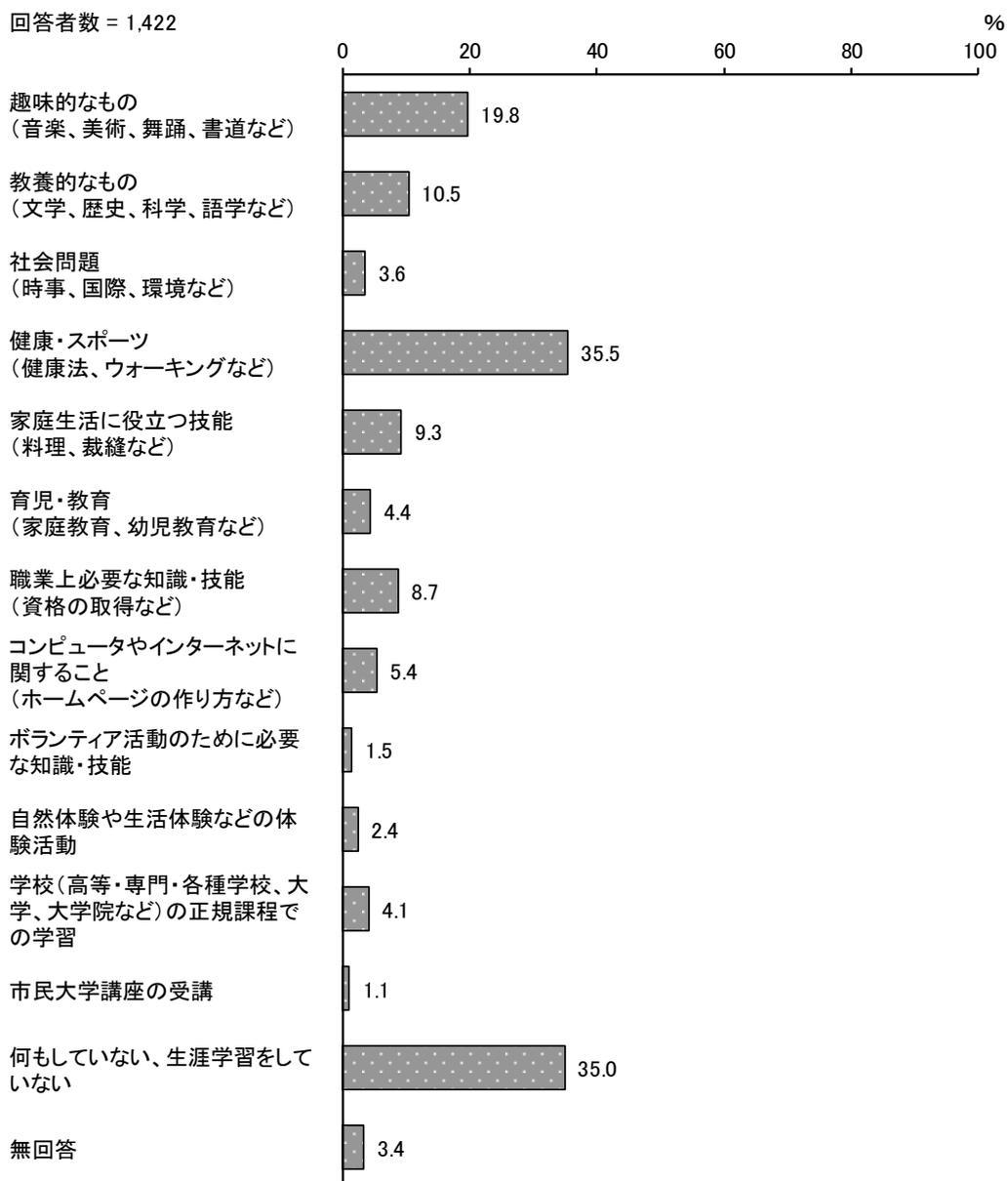
問 39 あなたは、この1年の間に、どのような趣味の活動、習い事、学び等の活動を行っていますか。(〇はいくつでも)

全 体	趣味的なもの(音楽、美術、舞踊、書道など)	教養的なもの(文学、歴史、科学、語学など)	社会問題(時事、国際、環境など)	健康・スポーツ(健康法、ウォーキングなど)	家庭生活に役立つ技能(料理、裁縫など)	育児・教育(家庭教育、幼児教育など)	職業上必要な知識・技能(資格の取得など)
1,422 100.0%	281 19.8%	149 10.5%	51 3.6%	505 <u>35.5%</u>	132 9.3%	62 4.4%	124 8.7%
	コンピュータやインターネットに関すること(ホームページの作り方など)	ボランティア活動のために必要な知識・技能	自然体験や生活体験などの体験活動	学校(高等・専門・各種学校、大学、大学院など)の正規課程での学習	市民大学講座の受講	何もしていない、生涯学習をしていない	無回答
	77 5.4%	22 1.5%	34 2.4%	59 4.1%	15 1.1%	498 35.0%	49 3.4%

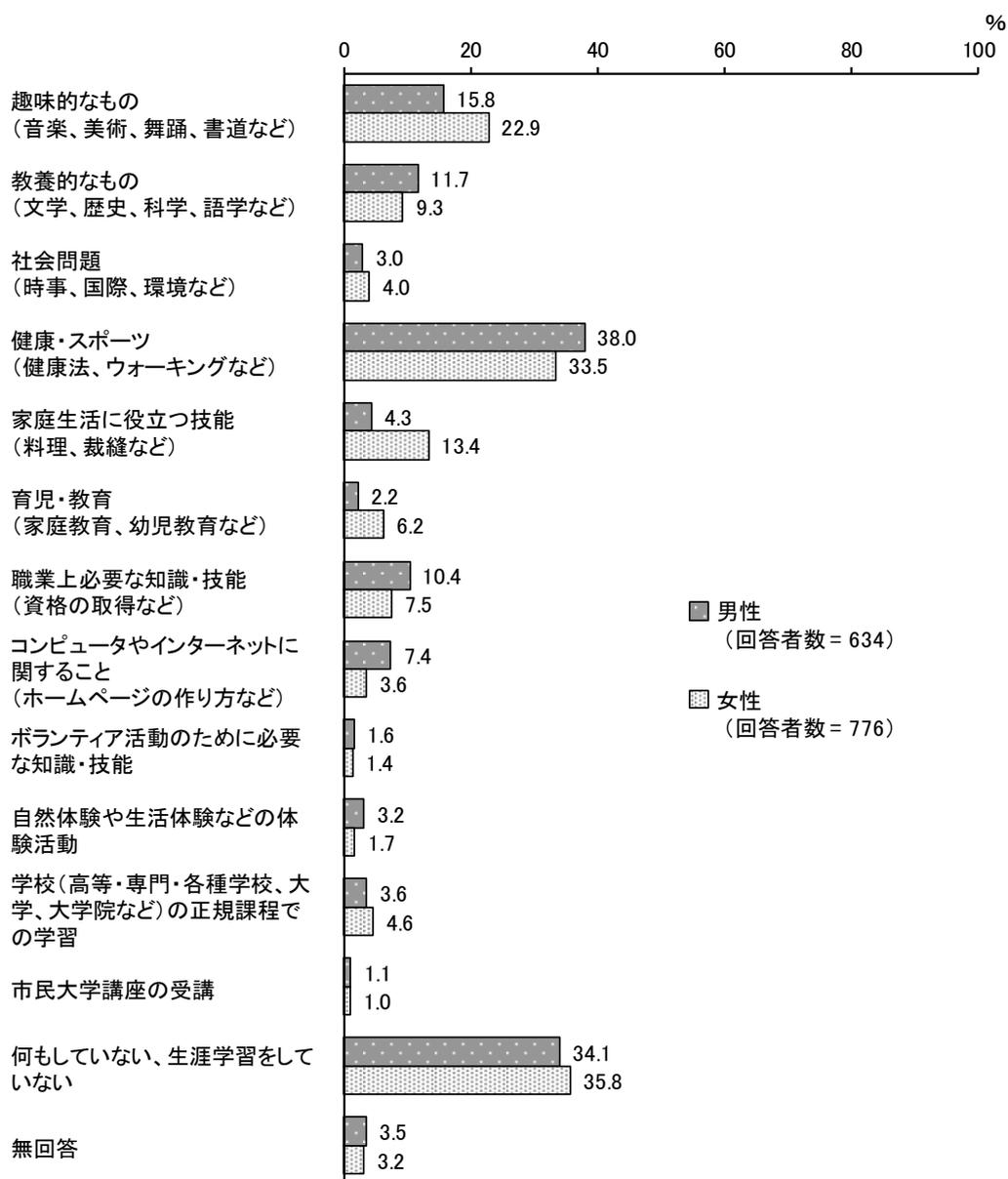
◎生涯学習をしている市民は 61.6%となっています。

・何らかの生涯学習を実施している人(全体から「何もしていない、生涯学習をしていない」と「無回答」を除いた割合)は 61.6%となっています。この1年間で行った生涯学習については、「健康・スポーツ(健康法、ウォーキングなど)」が 35.5%と最も高く、次いで「趣味的なもの(音楽、美術、舞踊、書道など)」(19.8%)、「教養的なもの(文学、歴史、科学、語学など)」(10.5%)、「家庭生活に役立つ技能(料理、裁縫など)」(9.3%)、「職業上必要な知識・技能(資格の取得など)」(8.7%)となっています。

図表 105 この1年間で行った生涯学習



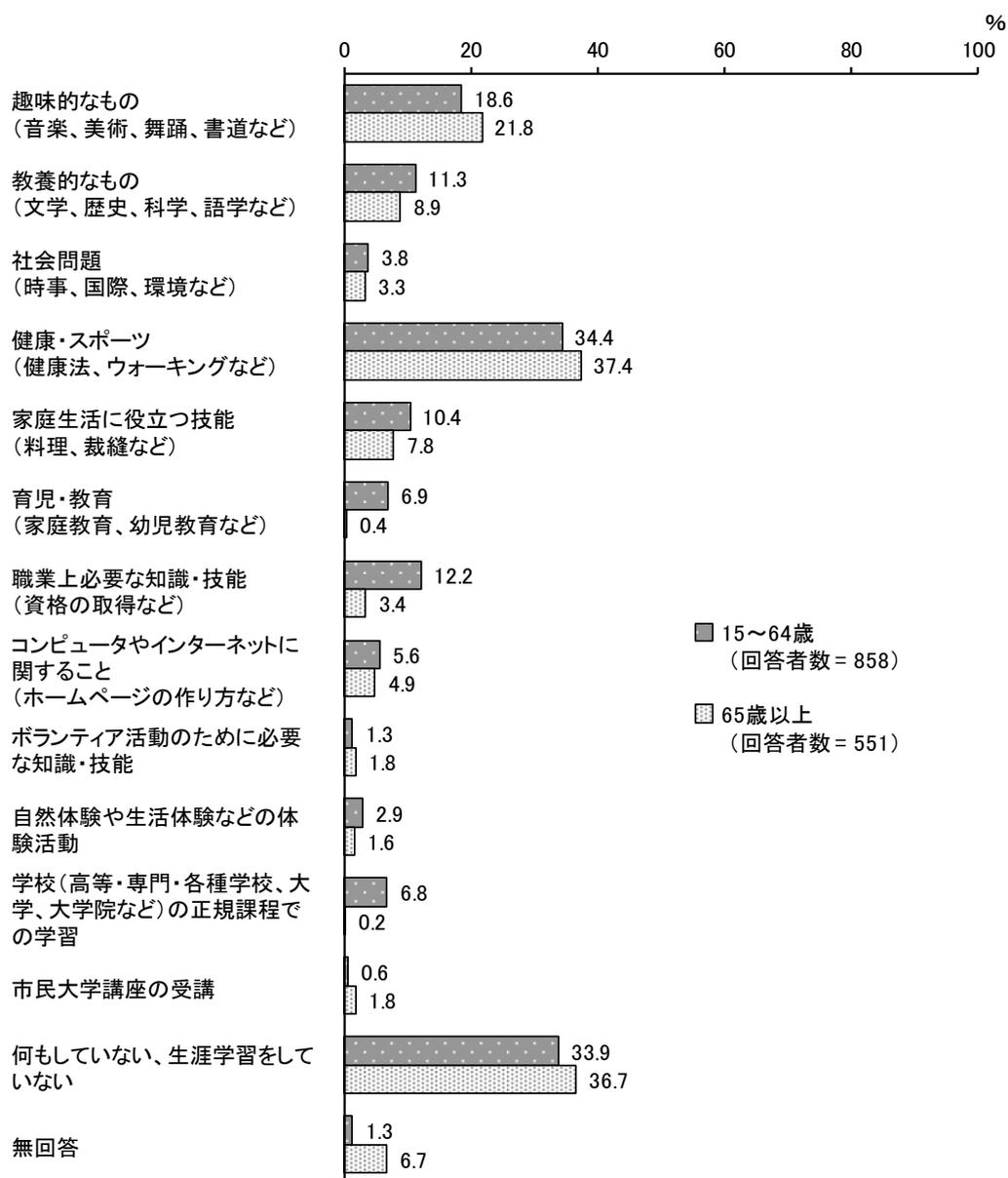
図表 106 この1年間で行った生涯学習【性別】



【性別】

性別で見ると、「趣味的なもの(音楽、美術、舞踊、書道など)」「家庭生活に役立つ技能(料理、裁縫など)」は女性が高くなっています。

図表 107 この1年間で行った生涯学習【年齢別】



【年齢別】

年齢別でみると、「育児・教育（家庭教育、幼児教育など）」「職業上必要な知識・技能（資格の取得など）」「学校（高等・専門・各種学校、大学、大学院など）の正規課程での学習」は15～64歳が高くなっています。

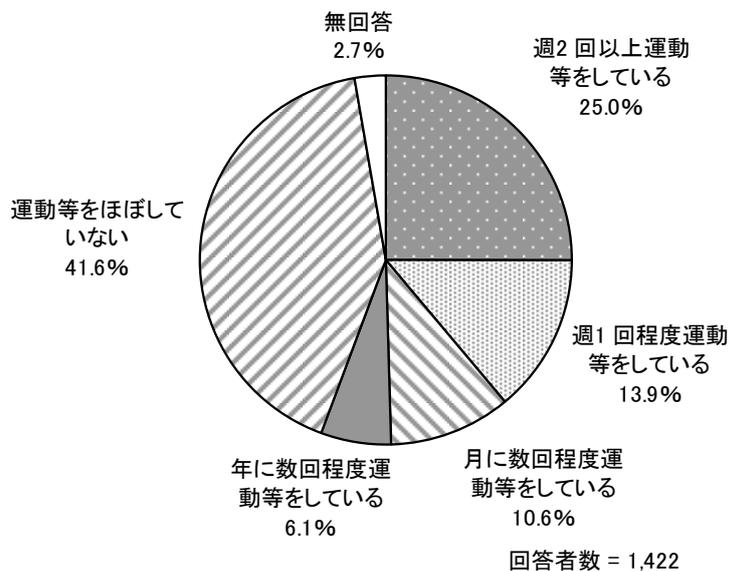
問 40 あなたは、この1年の間にスポーツ・軽スポーツ・レクリエーション等の運動でからだを動かしていますか。(○はひとつ)

全 体	週2回以上運動等をしている	週1回程度運動等をしている	月に数回程度運動等をしている	年に数回程度運動等をしている	運動等をほぼしていない	無回答
1,422	355	198	151	87	592	39
100.0%	25.0%	13.9%	10.6%	6.1%	<u>41.6%</u>	2.7%

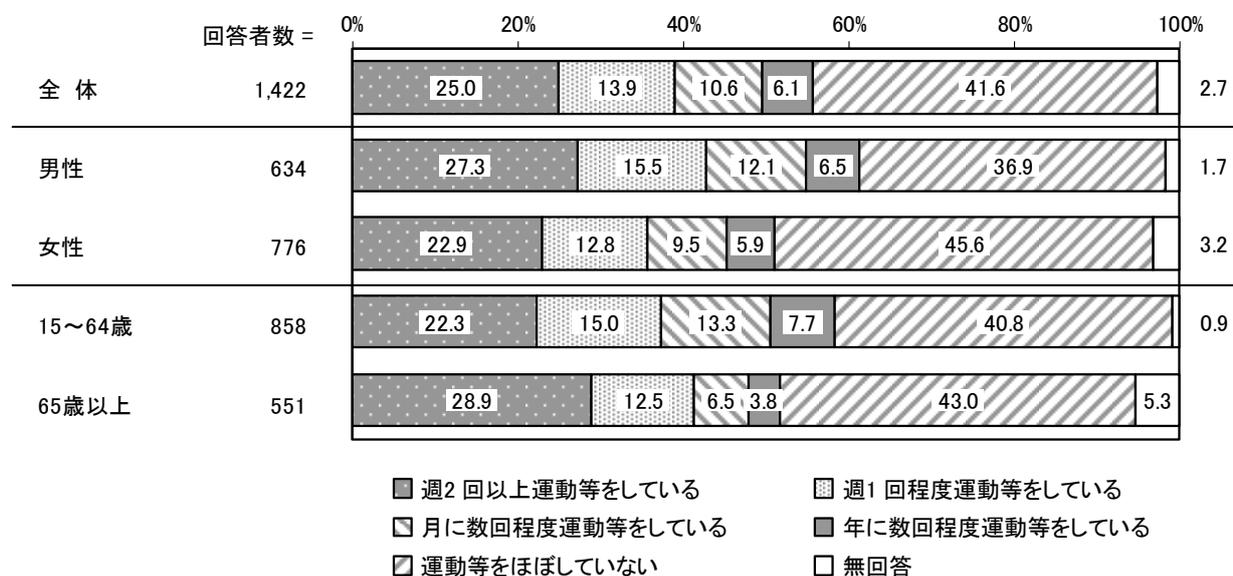
◎週1回以上スポーツ・運動をしている市民は38.9%となっています。

・スポーツ・軽スポーツ・レクリエーション等の運動をしている頻度については、「週2回以上運動等をしている」(25.0%)と「週1回程度運動等をしている」(13.9%)を合わせた『週1回以上』行っている人は38.9%となっています。一方、「運動等をほぼしていない」人は41.6%となっています。

図表 108 スポーツ・運動をする頻度



図表 109 スポーツ・運動をする頻度【性別・年齢別】



【性別】

性別でみると、『週1回以上』は、男性（42.8%）が女性（35.7%）より7.1ポイント高くなっています。また、「運動等をほぼしていない」は女性（45.6%）が男性（36.9%）より8.7ポイント高くなっています。

【年齢別】

年齢別でみると、「週1回以上」は、65歳以上で41.4%と高く、15～64歳（37.3%）より4.1ポイント高くなっています。

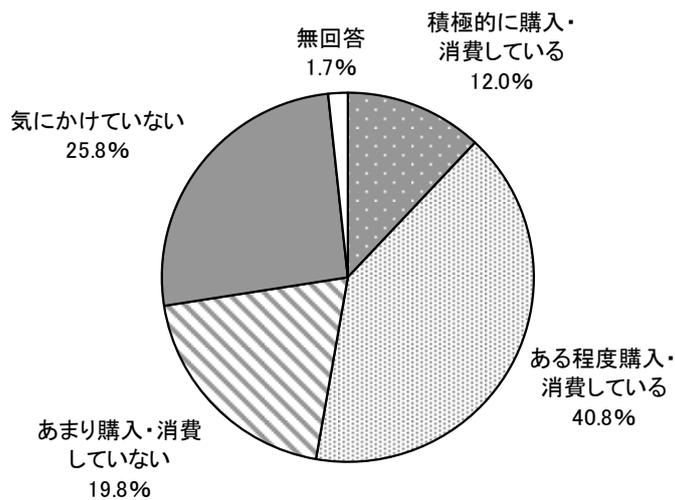
問 41 あなたは、桑名産の農水産物を購入・消費していますか。(○はひとつ)

全 体	積極的に購入・消費している	ある程度購入・消費している	あまり購入・消費していない	気にかけていない	無回答
1,422	170	580	281	367	24
100.0%	12.0%	<u>40.8%</u>	19.8%	25.8%	1.7%

◎桑名産の農水産物を購入・消費している市民は 52.8%となっています。

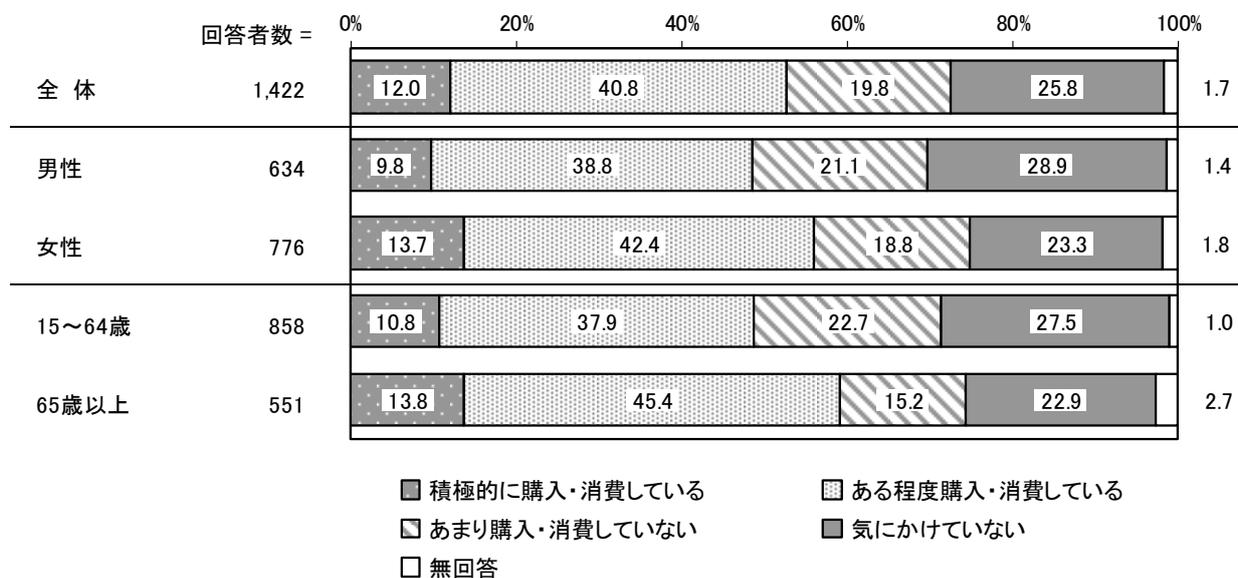
・桑名産の農水産物を購入・消費については、「積極的に購入・消費している」(12.0%)と「ある程度購入・消費している」(40.8%)を合わせた『購入・消費している』人は 52.8%となっています。

図表 110 桑名産の農水産物を購入・消費



回答者数 = 1,422

図表 111 桑名産の農水産物を購入・消費【性別・年齢別】



【性別】

性別で見ると、『購入・消費している』人は、女性（56.1%）が男性（48.6%）より7.5ポイント高くなっています。

【年齢別】

年齢別で見ると、『購入・消費している』人は、65歳以上で59.2%と高く、15～64歳（48.7%）より10.5ポイント高くなっています。

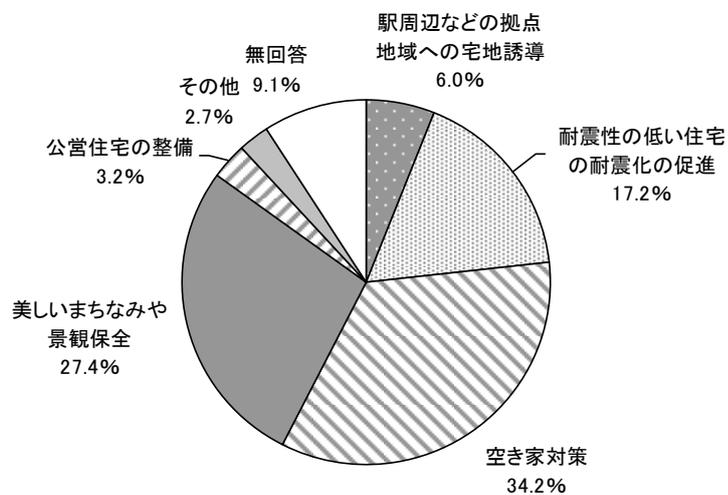
問 42 住宅対策として特に力を入れて欲しいことは何ですか。(〇はひとつ)

全 体	駅周辺などの拠点地域への宅地誘導	耐震性の低い住宅の耐震化の促進	空き家対策	美しいまちなみや景観保全	公営住宅の整備	その他	無回答
1,422	86	244	487	390	46	39	130
100.0%	6.0%	17.2%	<u>34.2%</u>	27.4%	3.2%	2.7%	9.1%

◎住宅対策として力を入れてほしいことは「空き家対策」が34.2%となっています。

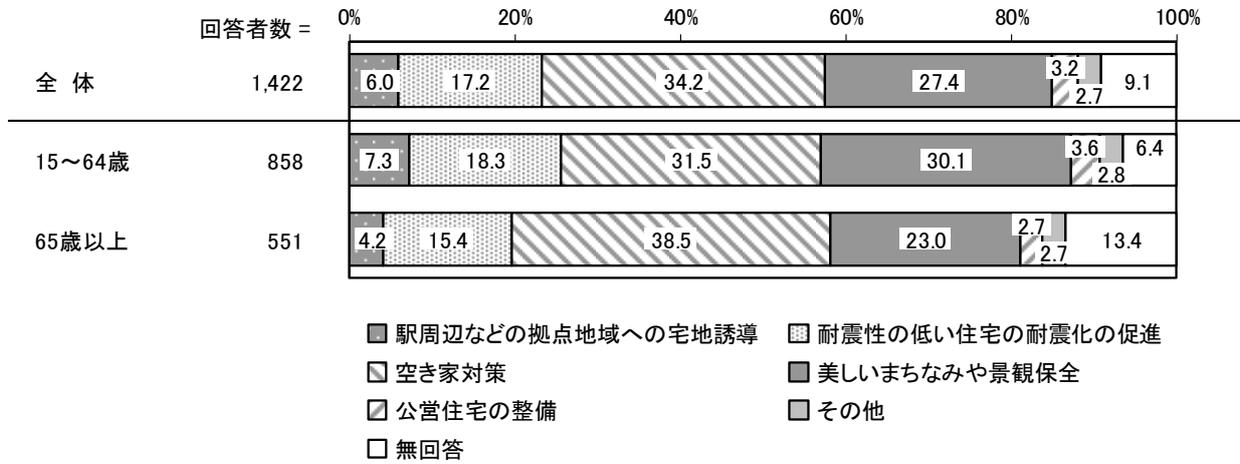
- ・住宅対策として特に力を入れて欲しいことについては、「空き家対策」が34.2%と最も高く、次いで「美しいまちなみや景観保全」(27.4%)、「耐震性の低い住宅の耐震化の促進」が17.2%となっています。

図表 112 住宅対策で特に力を入れて欲しいこと



回答者数 = 1,422

図表 113 住宅対策で特に力を入れて欲しいこと【年齢別】



【年齢別】

年齢別で見ると、「美しいまちなみや景観保全」は15~64歳が、「空き家対策」は65歳以上が高くなっています。

問 43 景観・公園等に関して、あなたの満足の度合いをお聞かせください。  
(項目ごとに○はひとつ)

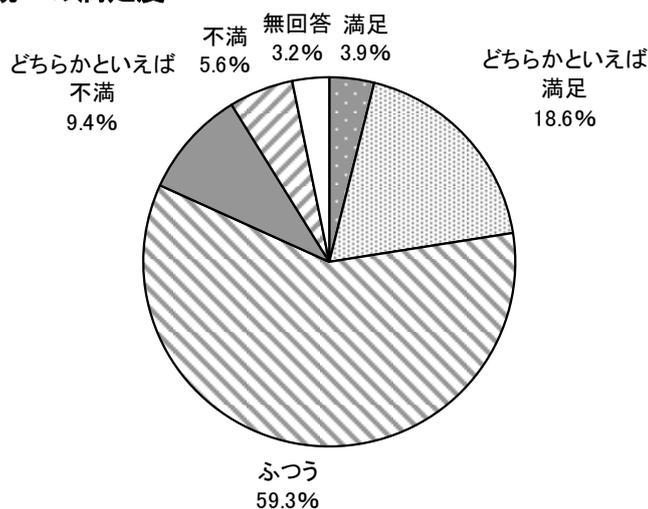
(ア) まちなみの景観

全 体	満足	どちらかといえ ば満足	ふつう	どちらかといえ ば不満	不満	無回答
1,422	56	264	843	134	79	46
100.0%	3.9%	18.6%	<u>59.3%</u>	9.4%	5.6%	3.2%

◎まちなみの景観がよいと思う市民は 22.5% となっています。

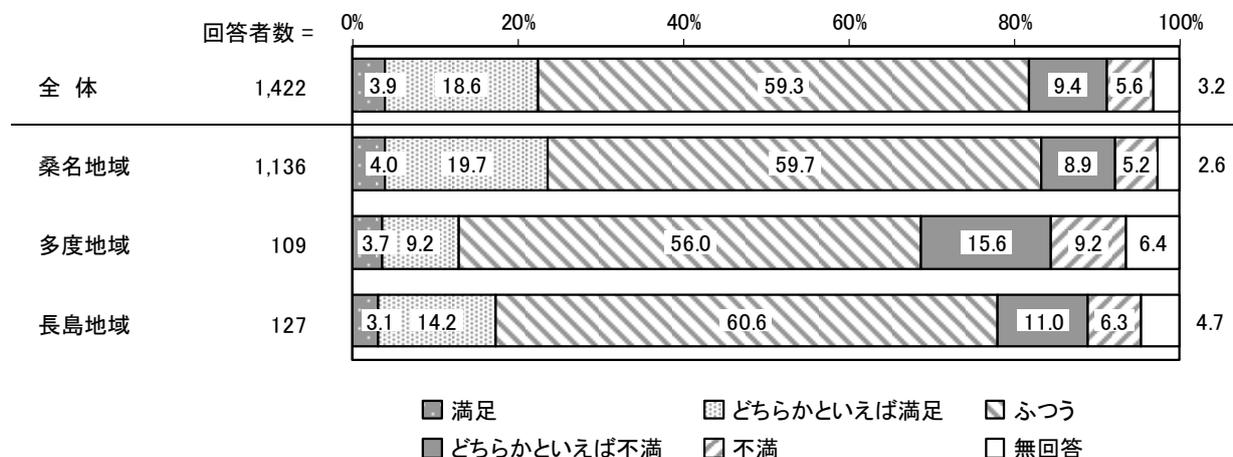
・桑名市のまちなみの景観については、「満足」(3.9%) と「どちらかといえば満足」(18.6%) を合わせた『満足している』人は 22.5% となっています。

図表 114 まちなみの景観への満足度



図表 115 まちなみの景観への満足度【居住地域別】

回答者数 = 1,422



【居住地域別】

居住地域別で見ると、『満足している』人は、桑名地域で 23.7% と高くなっています。

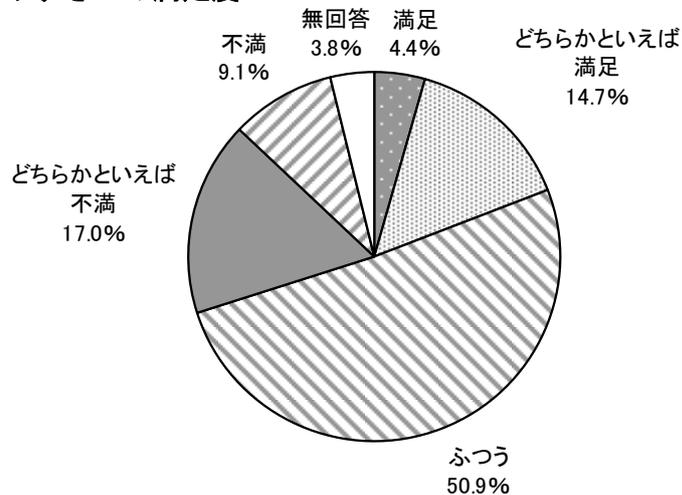
(イ)公園の使いやすさ

全 体	満足	どちらかといえ ば満足	ふつう	どちらかといえ ば不満	不満	無回答
1,422	63	209	724	242	130	54
100.0%	4.4%	14.7%	50.9%	17.0%	9.1%	3.8%

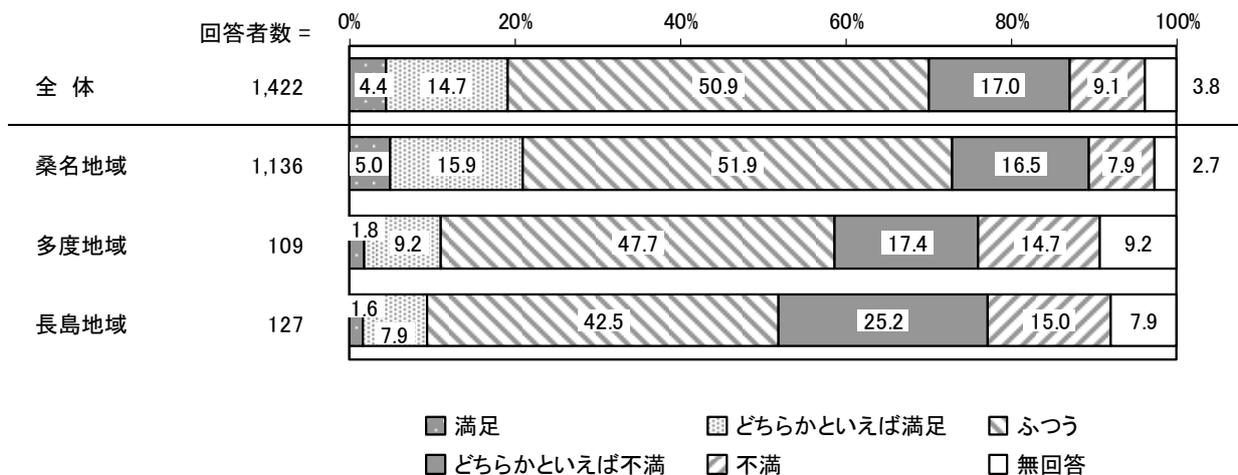
◎公園が使いやすいと思う市民は19.1%となっています。

・公園の使いやすさについては、「満足」(4.4%)と「どちらかといえば満足」(14.7%)を合わせた『満足している』人は19.1%となっています。

図表 116 公園の使いやすさへの満足度



図表 117 公園の使いやすさへの満足度【居住地域別】 回答者数 = 1,422



【居住地域別】

居住地域別で見ると、『満足している』人は、桑名地域で20.9%と高くなっています。一方『不満と感じている』人は、長島地域で40.2%と4割となっています。

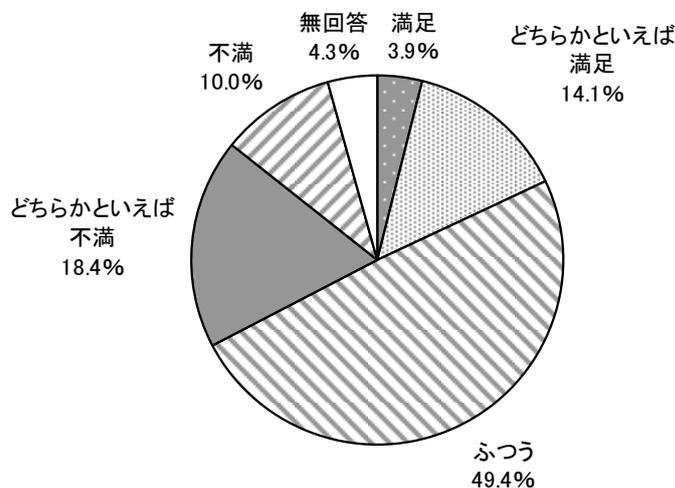
(ウ)公園の遊び場としての利用しやすさ

全体	満足	どちらかといえ ば満足	ふつう	どちらかといえ ば不満	不満	無回答
1,422	56	200	702	261	142	61
100.0%	3.9%	14.1%	49.4%	18.4%	10.0%	4.3%

◎公園が遊び場として利用しやすいと思う市民は18.0%となっています。

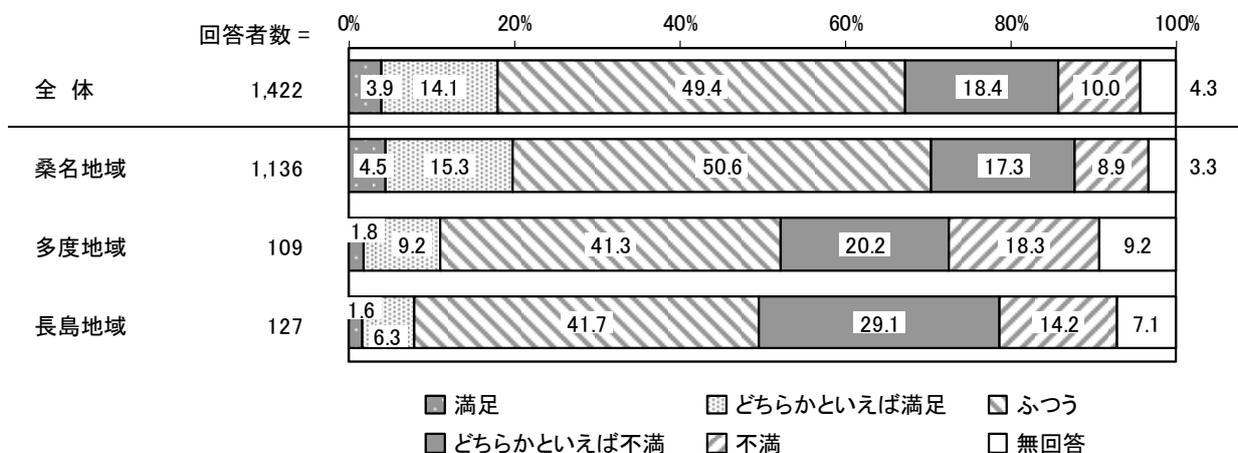
・公園の遊び場としての利用しやすさについては、「満足」(3.9%)と「どちらかといえ満足」(14.1%)を合わせた『満足している』人は18.0%となっています。

図表 118 公園の遊び場としての利用しやすさへの満足度



回答者数 = 1,422

図表 119 公園の遊び場としての利用しやすさへの満足度【居住地域別】



【居住地域別】

居住地域別でみると、『満足している』人は、桑名地域で19.8%と高くなっています。一方『不満と感じている』人は、多度地域(38.5%)長島地域(43.3%)で4割程となっています。

<プロモーション活動>

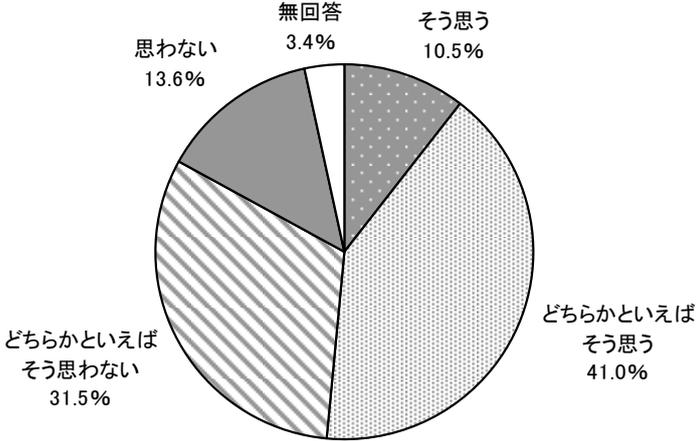
問 44 あなたは、桑名市を観光地として市外にお住まいの方にすすめたいと思いますか。(〇はひとつ)

全 体	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	思わない	無回答
1,422	150	583	448	193	48
100.0%	10.5%	41.0%	31.5%	13.6%	3.4%

◎桑名市を観光地として市外にお住まいの方にすすめたい市民は51.5%となっています。

・桑名市の歴史や文化を市外の人に紹介したいかについては、「そう思う」(10.5%)と「どちらかといえばそう思う」(41.0%)を合わせた『そう思う』人は51.5%となっています。

図表 120 桑名市を観光地としてすすめたいか



回答者数 = 1,422

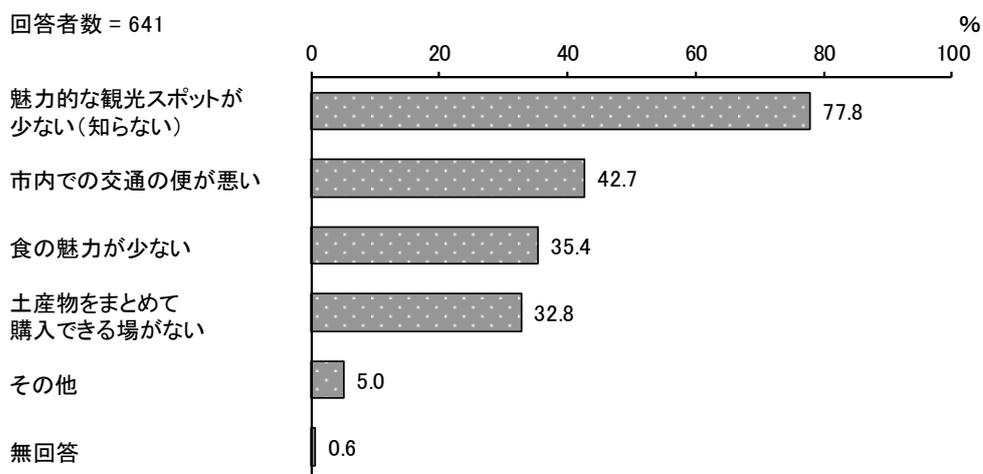
問 44-1 「3. どちらかといえばそう思わない」「4. 思わない」とお答えの方にお聞きします。その理由はなんですか。  
(〇はいくつでも)

全 体	魅力的な観光 スポットが少な い(知らない)	市内での交通 の便が悪い	食の魅力が少 ない	土産物をまとめ て購入できる場 がない	その他	無回答
641	499	274	227	210	32	4
100.0%	<u>77.8%</u>	42.7%	35.4%	32.8%	5.0%	0.6%

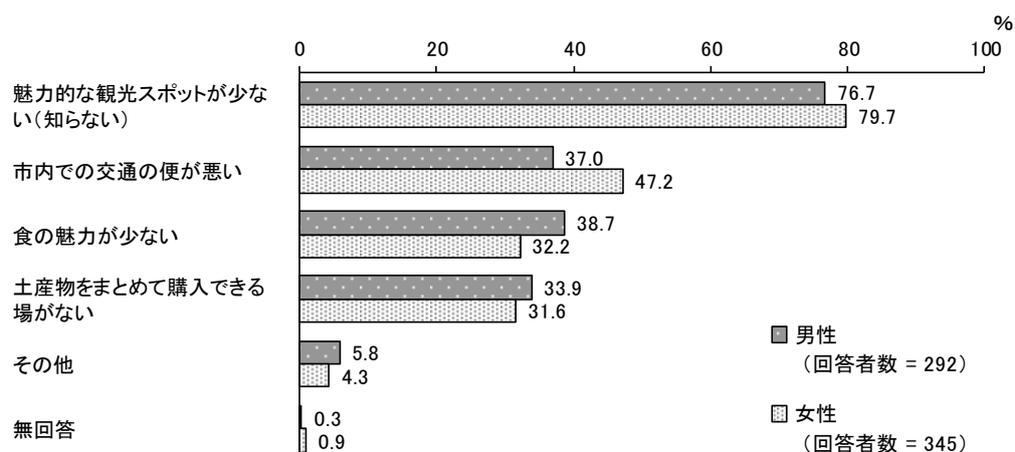
◎すすめたいと思わない理由は「魅力的な観光スポットが少ない(知らない)」が77.8%となっ  
ています。

- ・桑名市を観光地として市外にお住まいの方にすすめたいと思わない理由としては、「魅力的な観光スポットが少ない(知らない)」が77.8%と最も高く、次いで「市内での交通の便が悪い」(42.7%)、「食の魅力が少ない」(35.4%)、「土産物をまとめて購入できる場がない」(32.8%)となっています。

図表 121 桑名市を観光地としてすすめたくない理由



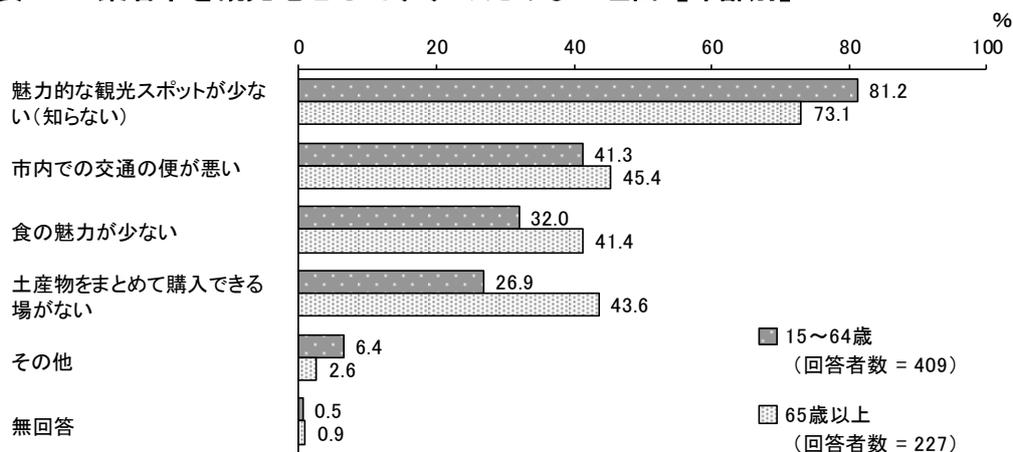
図表 122 桑名市を観光地としてすすめたくない理由【性別】



【性別】

性別でみると、「市内での交通の便が悪い」は女性（47.2%）が男性（37.0%）より10.2ポイント高くなっています。

図表 123 桑名市を観光地としてすすめたくない理由【年齢別】



【年齢別】

年齢別でみると、「土産物をまとめて購入できる場所がない」は65歳以上（43.6%）が15～64歳（26.9%）より16.7ポイント高くなっています。

## 7 納税者の視点で次の世代に責任ある財政について

### <行財政改革>

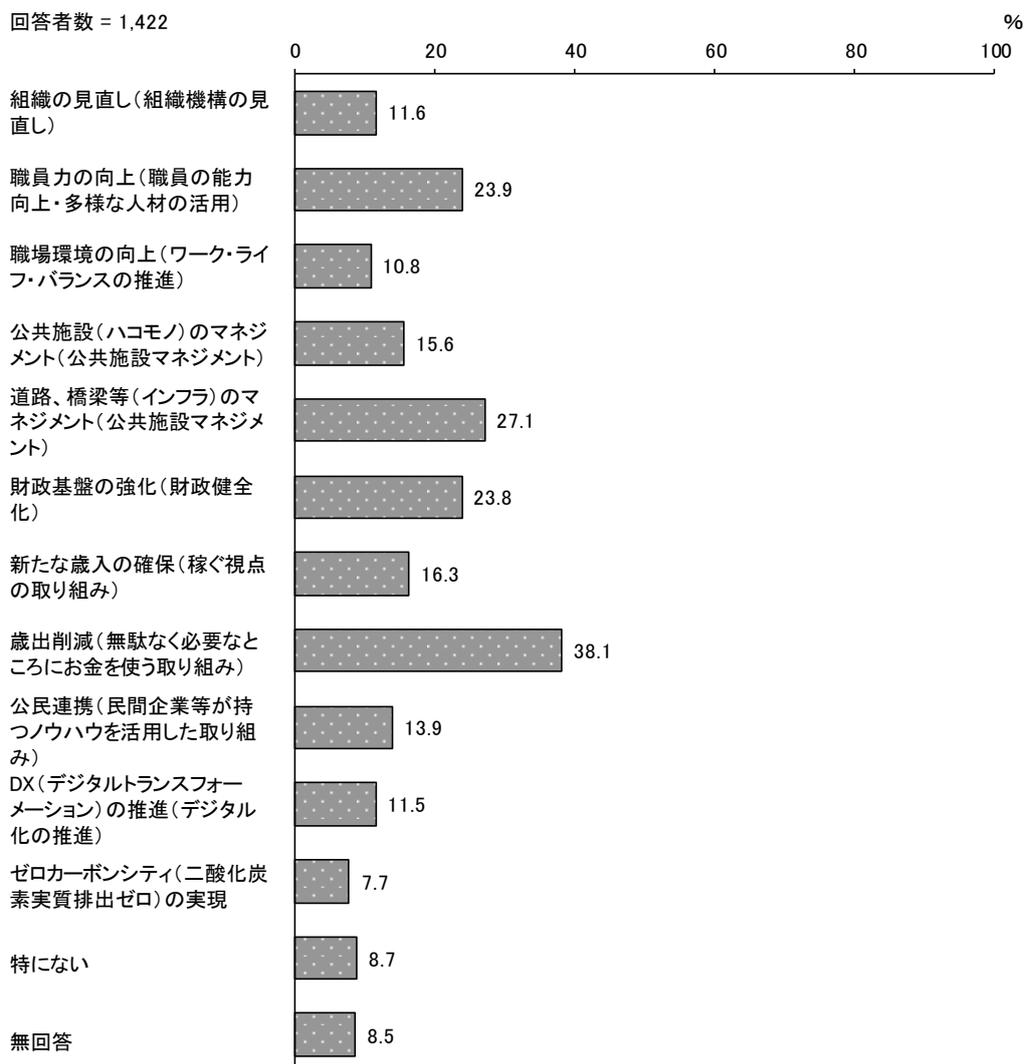
問 45 桑名市が、今後さらに行財政改革を進めていくうえで、あなたは、どのような取り組みに重点を置く必要があると思いますか。(〇は3つまで)

全 体	組織の見直し (組織機構の見直し)	職員力の向上(職員の能力向上・多様な人材の活用)	職場環境の向上(ワーク・ライフ・バランスの推進)	公共施設(ハコモノ)のマネジメント(公共施設マネジメント)	道路、橋梁等(インフラ)のマネジメント(公共施設マネジメント)	財政基盤の強化(財政健全化)	新たな歳入の確保 (稼ぐ視点の取り組み)
1,422 100.0%	165 11.6%	340 23.9%	153 10.8%	222 15.6%	386 27.1%	338 23.8%	232 16.3%
	歳出削減 (無駄なく必要なお金を使う取り組み)	公民連携 (民間企業等が持つノウハウを活用した取り組み)	DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進 (デジタル化の推進)	ゼロカーボンシティ(二酸化炭素実質排出ゼロ)の実現	特になし	無回答	
	542 <b>38.1%</b>	198 13.9%	163 11.5%	109 7.7%	124 8.7%	121 8.5%	

◎行財政改革で市民が最も重要と思う取り組みは「歳出削減」が38.1%となっています。

- ・行財政改革のために重点を置く必要がある取り組みについては、「歳出削減(無駄なく必要なお金を使う取り組み)」が38.1%と最も高く、次いで「道路、橋梁等(インフラ)のマネジメント(公共施設マネジメント)」(27.1%)、「職員力の向上(職員の能力向上・多様な人材の活用)」(23.9%)、「財政基盤の強化(財政健全化)」(23.8%)、「新たな歳入の確保(稼ぐ視点の取り組み)」(16.3%)となっています。

図表 124 重点を置く必要のある取組



図表 125 行財政改革を進めていく上での取り組み

単位：％

区分	回答者数(件)	組織の見直し(組織機構の見直し)	職員の能力向上(職員の能力向上・多様な人材の活用)	職場環境の向上(ワーク・ライフ・バランスの推進)	公共施設(ハコモノ)のマネジメント(公共施設マネジメント)	道路、橋梁等(インフラ)のマネジメント(公共施設マネジメント)	財政基盤の強化(財政健全化)	新たな歳入の確保(稼ぐ視点の取り組み)	歳出削減(無駄なく必要なお金を使う取り組み)	公民連携(民間企業等が持つノウハウを活用した取り組み)	Dx(デジタルトランスフォーメーション)の推進(デジタル化の推進)	ゼロカーボンシティ(二酸化炭素実質排出ゼロ)の実現	特になし	無回答
全体	1,422	11.6	23.9	10.8	15.6	27.1	23.8	16.3	<u>38.1</u>	13.9	11.5	7.7	8.7	8.5

【性別】

男性	634	11.8	26.7	9.3	17.4	31.1	28.2	17.5	<u>34.5</u>	13.7	15.1	7.6	6.8	8.5
女性	776	11.1	21.6	12.0	14.2	24.2	20.4	15.5	<u>41.2</u>	14.2	8.2	7.5	10.4	8.2

【年齢別】

15～64歳	858	13.1	21.2	15.0	18.5	29.1	24.0	18.3	<u>38.7</u>	14.9	14.1	7.0	7.8	4.3
65歳以上	551	9.1	28.1	4.2	11.1	24.1	23.6	13.6	<u>37.6</u>	12.2	7.1	8.3	10.3	15.1

【居住地域別】

桑名地域	1,136	11.4	23.8	11.7	15.8	27.6	24.4	16.6	<u>38.8</u>	14.9	12.0	7.9	8.1	7.7
多度地域	109	11.9	24.8	4.6	11.9	17.4	21.1	17.4	<u>41.3</u>	10.1	10.1	4.6	11.9	12.8
長島地域	127	11.8	22.8	6.3	18.1	<u>33.9</u>	21.3	15.0	33.1	10.2	5.5	8.7	11.8	10.2

【性別】

性別でみると、「財政基盤の強化(財政健全化)」は男性(28.2%)が女性(20.4%)より7.8ポイント高くなっています。

【年齢別】

年齢別でみると、「職場環境の向上(ワーク・ライフ・バランスの推進)」は15～64歳(15.0%)が65歳以上(4.2%)より10.8ポイント高くなっています。

【居住地域別】

居住地域別でみると、「道路、橋梁等(インフラ)のマネジメント(公共施設マネジメント)」は長島地域(33.9%)で高くなっています。

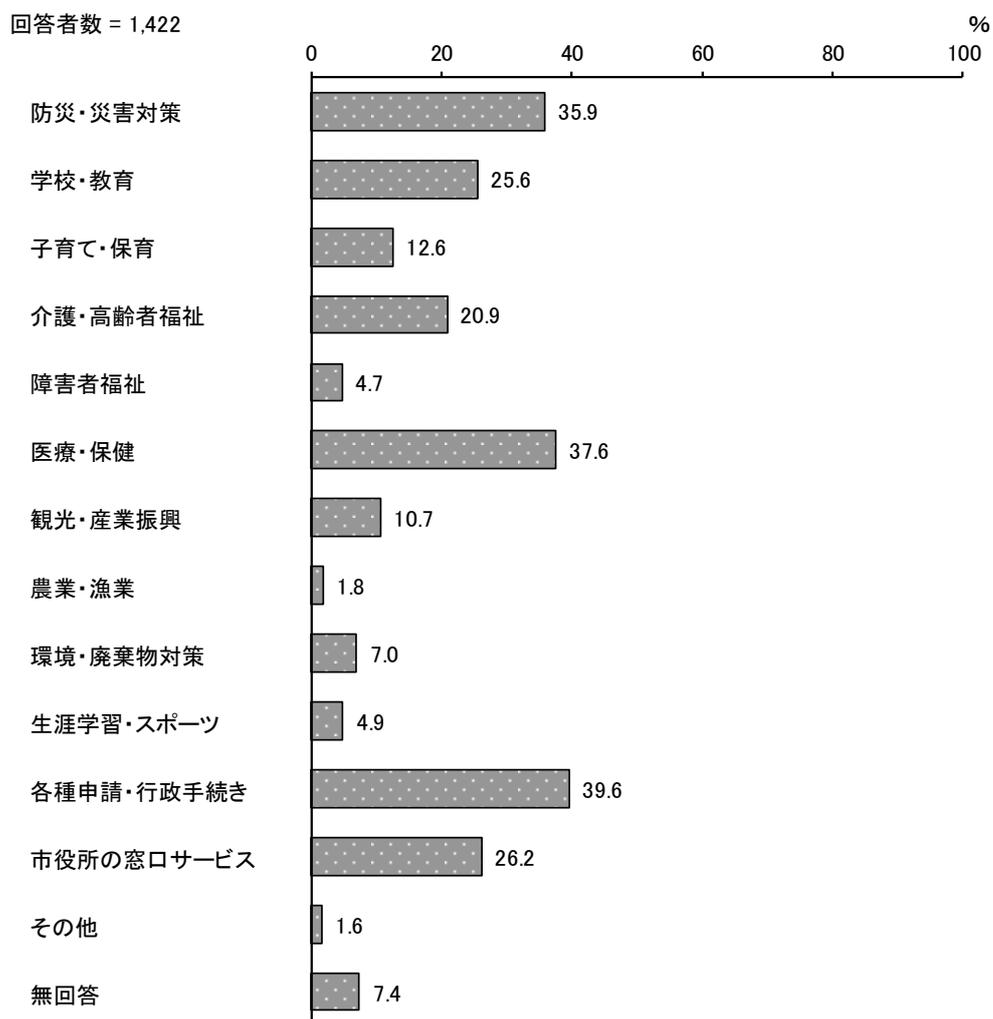
問 46 あなたは、桑名市の行政サービスにおいて、どのような分野でデジタル化の取組を推進するべきだと思いますか。(〇は3つまで)

全 体	防災・災害 対策	学校・教育	子育て・保育	介護・高齢者 福祉	障害者福祉	医療・保健	観光・産業 振興
1,422 100.0%	511 35.9%	364 25.6%	179 12.6%	297 20.9%	67 4.7%	535 37.6%	152 10.7%
	農業・漁業	環境・廃棄物 対策	生涯学習・ス ポーツ	各種申請・行 政手続き	市役所の窓 口サービス	その他	無回答
	26 1.8%	100 7.0%	69 4.9%	563 <b>39.6%</b>	372 26.2%	23 1.6%	105 7.4%

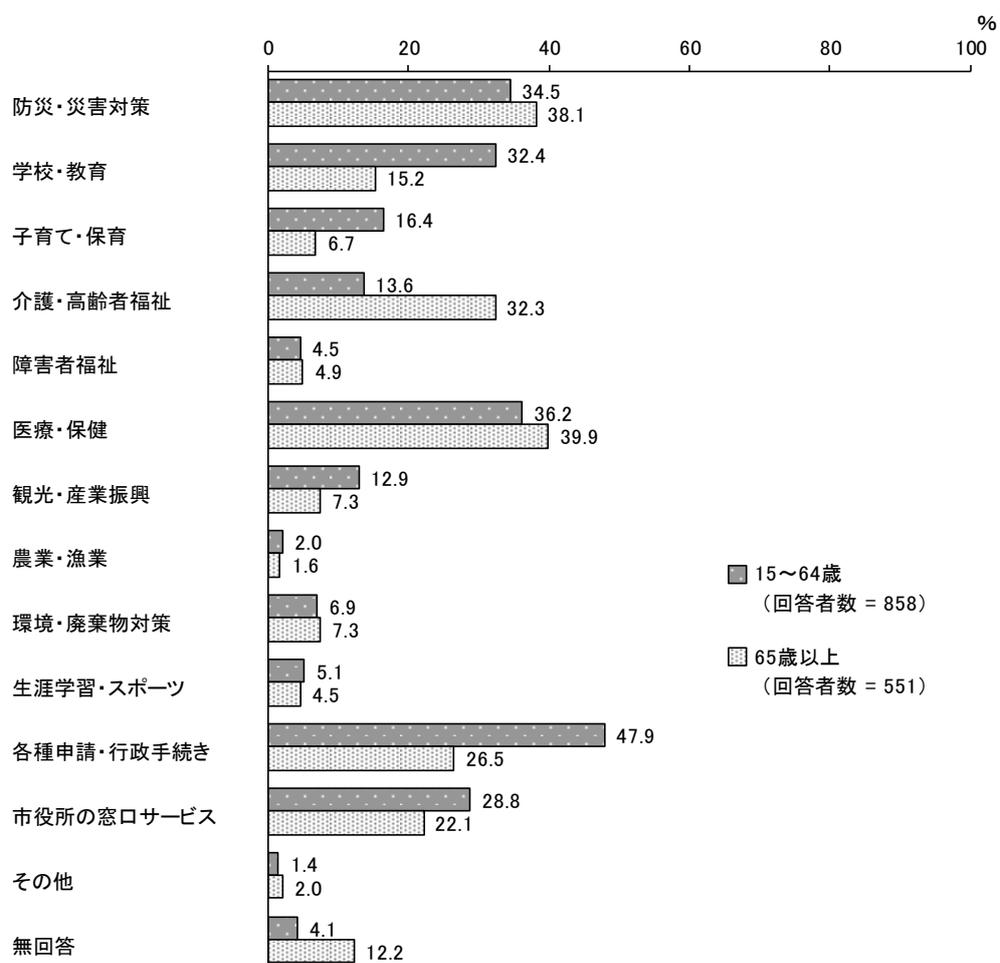
◎どの分野でデジタル化の取組を推進するべきかについては「各種申請・行政手続き」が39.6%となっています。

- ・行政サービスにおいて、どのような分野でデジタル化の取組を推進するべきだと思うかについては、「各種申請・行政手続き」が39.6%と最も高く、次いで「医療・保健」(37.6%)、「防災・災害対策」(35.9%)、「市役所の窓口サービス」(26.2%)、「学校・教育」(25.6%)となっています。

図表 126 デジタル化の取り組み推進



図表 127 デジタル化の取り組み推進【年齢別】



【年齢別】

年齢別でみると、「各種申請・行政手続き」は、15～64歳（47.9%）が65歳以上（26.5%）より21.4ポイント高くなっています。また、「介護・高齢者福祉」は、65歳以上（32.3%）が15～64歳（13.6%）より18.7ポイント高くなっています。

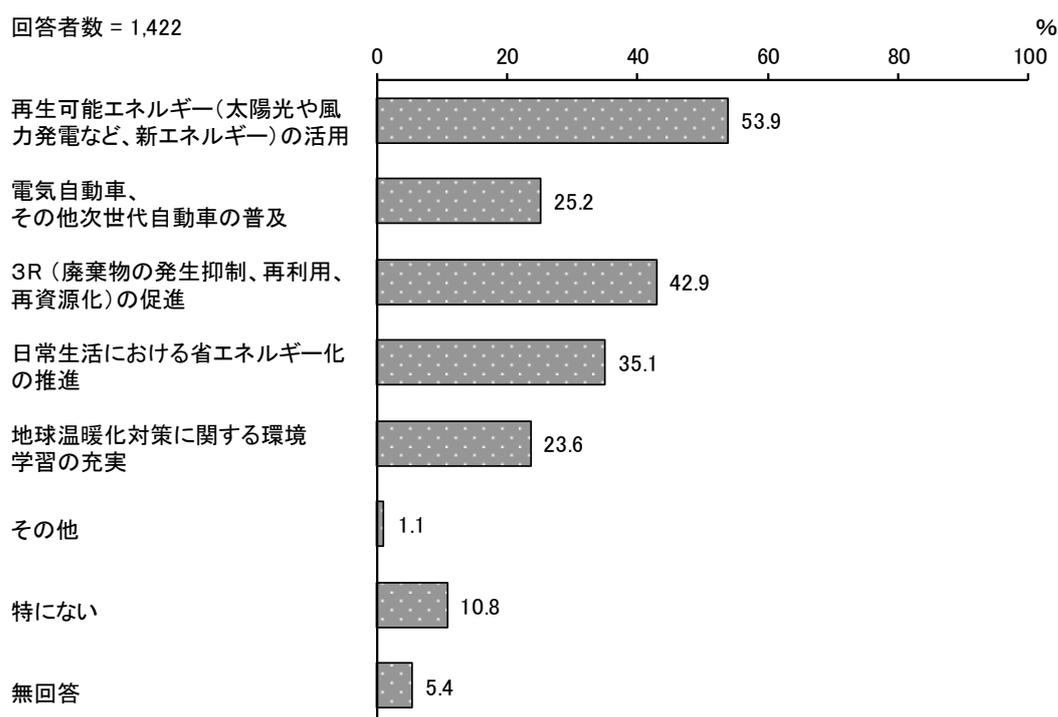
問 47 あなたは、桑名市ゼロカーボンシティの実現のためには、どのような取り組みが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

全体	再生可能エネルギー(太陽光や風力発電など、新エネルギー)の活用	普及 電気自動車、その他次世代自動車の普及	3R(廃棄物の発生抑制、再利用、再資源化)の促進	推進 日常生活における省エネルギー化の推進	充実 地球温暖化対策に関する環境学習の充実	その他	特にない	無回答
1,422	766	359	610	499	335	16	153	77
100.0%	<u>53.9%</u>	25.2%	42.9%	35.1%	23.6%	1.1%	10.8%	5.4%

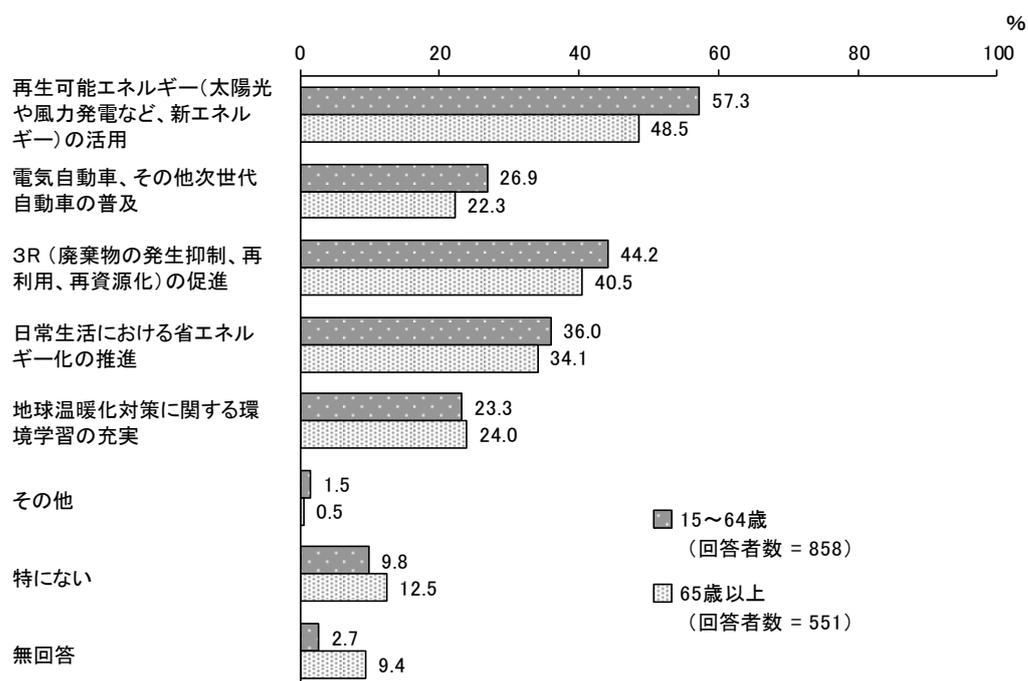
◎ゼロカーボンシティの実現に必要と思う取り組みは「再生可能エネルギーの活用」が 53.9% となっています。

- ・桑名市ゼロカーボンシティの実現のためにどのような取り組みが必要だと思うかについては、「再生可能エネルギー(太陽光や風力発電など、新エネルギー)の活用」が 53.9%と最も高く、次いで「3R(廃棄物の発生抑制、再利用、再資源化)の促進」(42.9%)、「日常生活における省エネルギー化の推進」(35.1%)、「電気自動車、その他次世代自動車の普及」(25.2%)、「地球温暖化対策に関する環境学習の充実」(23.6%)となっています。

図表 128 ゼロカーボンシティ実現のための取り組み



図表 129 ゼロカーボンシティ実現のための取り組み【年齢別】



【年齢別】

年齢別でみると、「再生可能エネルギー（太陽光や風力発電など、新エネルギー）の活用」は、15～64歳（57.3%）が65歳以上（48.5%）より8.8ポイント高くなっています。

問 49 あなたは、桑名市のまちづくりについて、どのような感想やお考えをお持ちですか。それぞれの項目について、「現在の満足度」と「今後の重要度」をひとつずつ選び、番号を○で囲んでください。

<現在の満足度>

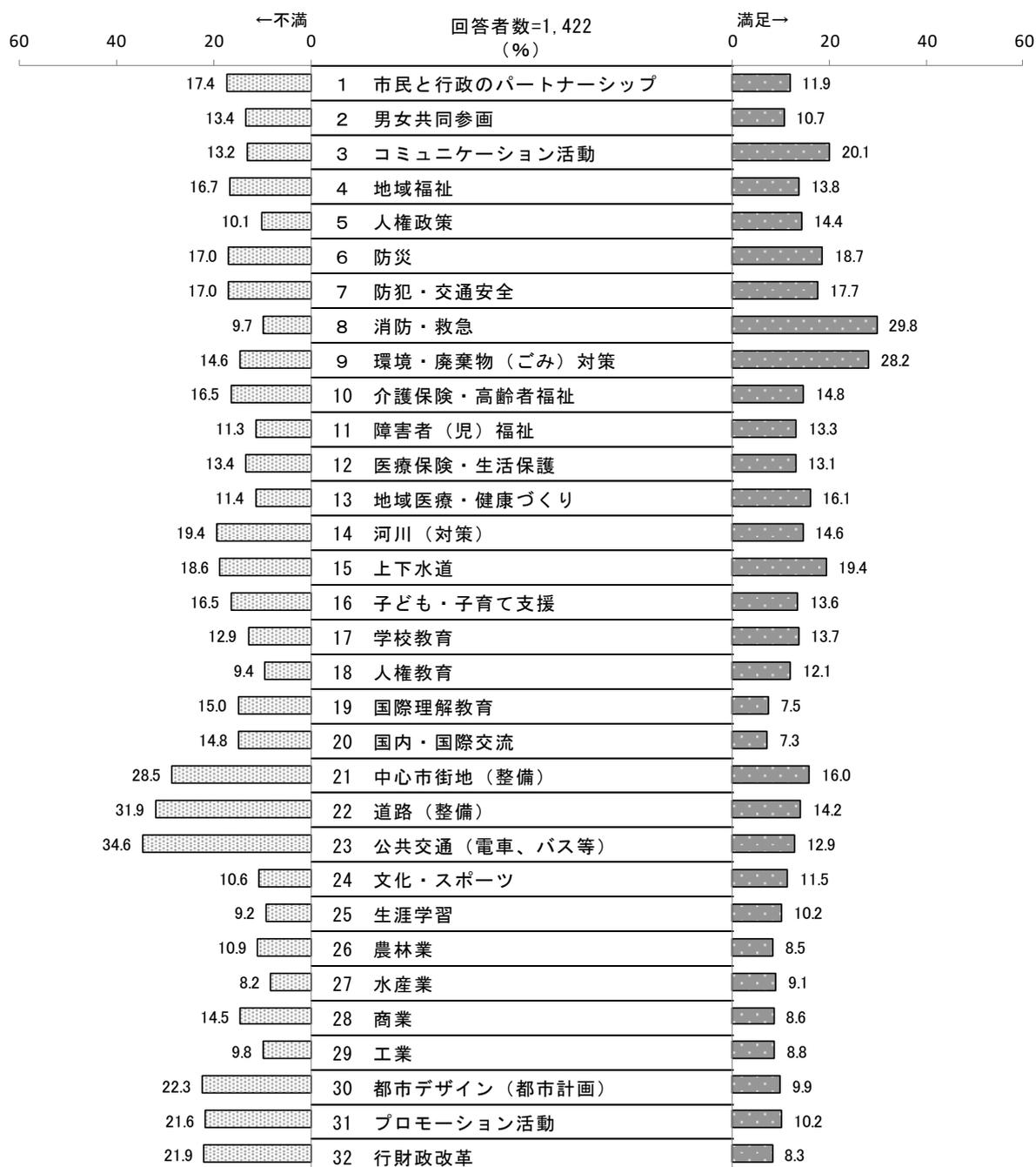
		満足	い ど え ち ら ば 満 足 と	ふ つ う	い ど え ち ら ば 不 満 と	不 満	無 回 答
回答者数=1,422							
1	市民と行政のパートナーシップ	2.1	9.8	62.4	13.2	4.2	8.2
2	男女共同参画	1.8	8.9	66.9	11.1	2.3	8.9
3	コミュニケーション活動（広報・広聴、市民との情報共有）	3.4	16.7	58.4	10.8	2.4	8.4
4	地域福祉	2.3	11.5	61.0	13.4	3.3	8.4
5	人権政策	3.4	11.0	66.2	7.8	2.3	9.2
6	防災	3.1	15.6	55.9	13.2	3.8	8.4
7	防犯・交通安全	2.7	15.0	56.8	12.6	4.4	8.5
8	消防・救急	6.0	23.8	52.0	7.2	2.5	8.4
9	環境・廃棄物（ごみ）対策	5.3	22.9	49.3	11.3	3.3	7.9
10	介護保険・高齢者福祉	2.6	12.2	60.4	13.5	3.0	8.3
11	障害者（児）福祉	2.5	10.8	65.6	8.7	2.6	9.8
12	医療保険・生活保護	3.1	10.0	64.4	10.7	2.7	9.1
13	地域医療・健康づくり	2.3	13.8	64.0	8.9	2.5	8.6
14	河川（対策）	2.6	12.0	56.8	14.3	5.1	9.2
15	上下水道	4.8	14.6	53.9	12.4	6.2	8.0
16	子ども・子育て支援	2.3	11.3	59.8	11.9	4.6	10.1
17	学校教育	2.3	11.4	63.0	9.8	3.1	10.4
18	人権教育	2.5	9.6	67.8	6.7	2.7	10.8
19	国際理解教育	1.5	6.0	66.7	12.7	2.3	10.7
20	国内・国際交流	1.6	5.7	67.4	12.1	2.7	10.4
21	中心市街地（整備）	2.8	13.2	46.6	20.7	7.8	8.9
22	道路（整備）	2.3	11.9	45.4	21.4	10.5	8.5
23	公共交通（電車、バス等）	2.4	10.5	44.6	24.0	10.6	7.9
24	文化・スポーツ	2.0	9.5	68.4	8.3	2.3	9.5
25	生涯学習	1.8	8.4	70.7	7.2	2.0	9.9
26	農林業	1.9	6.6	70.1	8.2	2.7	10.5
27	水産業	2.4	6.7	71.9	6.3	1.9	10.9
28	商業	2.0	6.6	66.2	11.9	2.6	10.7
29	工業	1.8	7.0	70.5	7.5	2.3	11.0
30	都市デザイン（都市計画）	2.0	7.9	57.5	17.0	5.3	10.2
31	プロモーション活動（観光・市のPR）	2.0	8.2	58.3	17.4	4.2	9.9
32	行財政改革	1.5	6.8	59.1	16.1	5.8	10.8

市のまちづくり施策（分野）について、「満足」「どちらかといえば満足」と回答した割合の合計『満足』をみると、「消防・救急」が29.8%で最も高く、「不満」「どちらかといえば不満」と回答した割合の合計『不満』では、「公共交通（電車、バス等）」が34.6%で最も高くなっています。

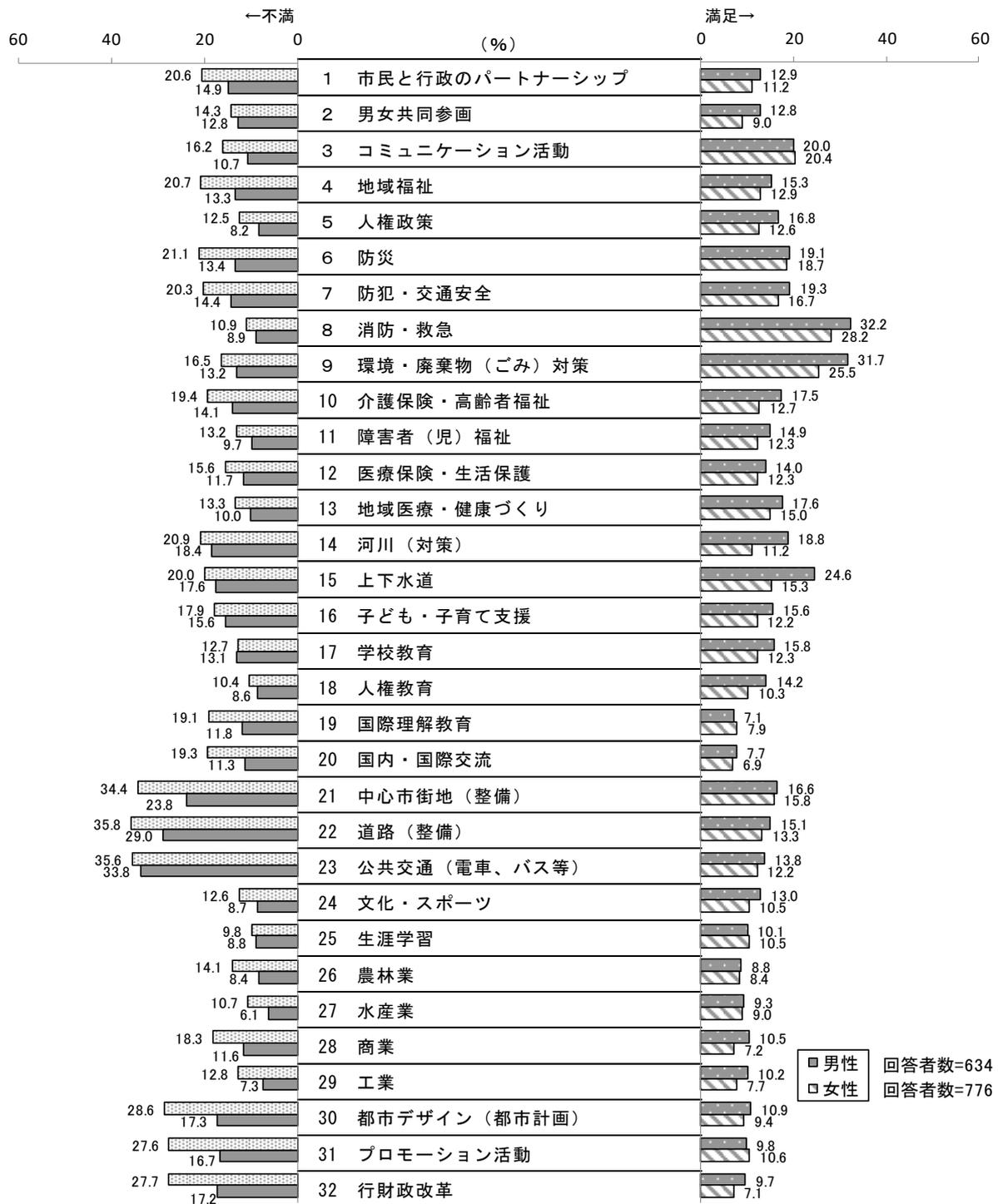
現在の満足度について、「満足」と「どちらかといえば満足」を合わせた『満足』をみると、「消防・救急」が29.8%と最も高く、次いで「環境・廃棄物（ごみ）対策」（28.2%）、「コミュニケーション活動（広報・広聴、市民との情報共有）」（20.1%）、「上下水道」（19.4%）、「防災」（18.7%）となっています。

「不満」と「やや不満」を合わせた『不満』をみると、「公共交通（電車、バス等）」が34.6%と最も高く、次いで「道路（整備）」（31.9%）、「中心市街地（整備）」（28.5%）、「都市デザイン（都市計画）」（22.3%）、「行財政改革」（21.9%）となっています。

図表 130 満足度【全体】

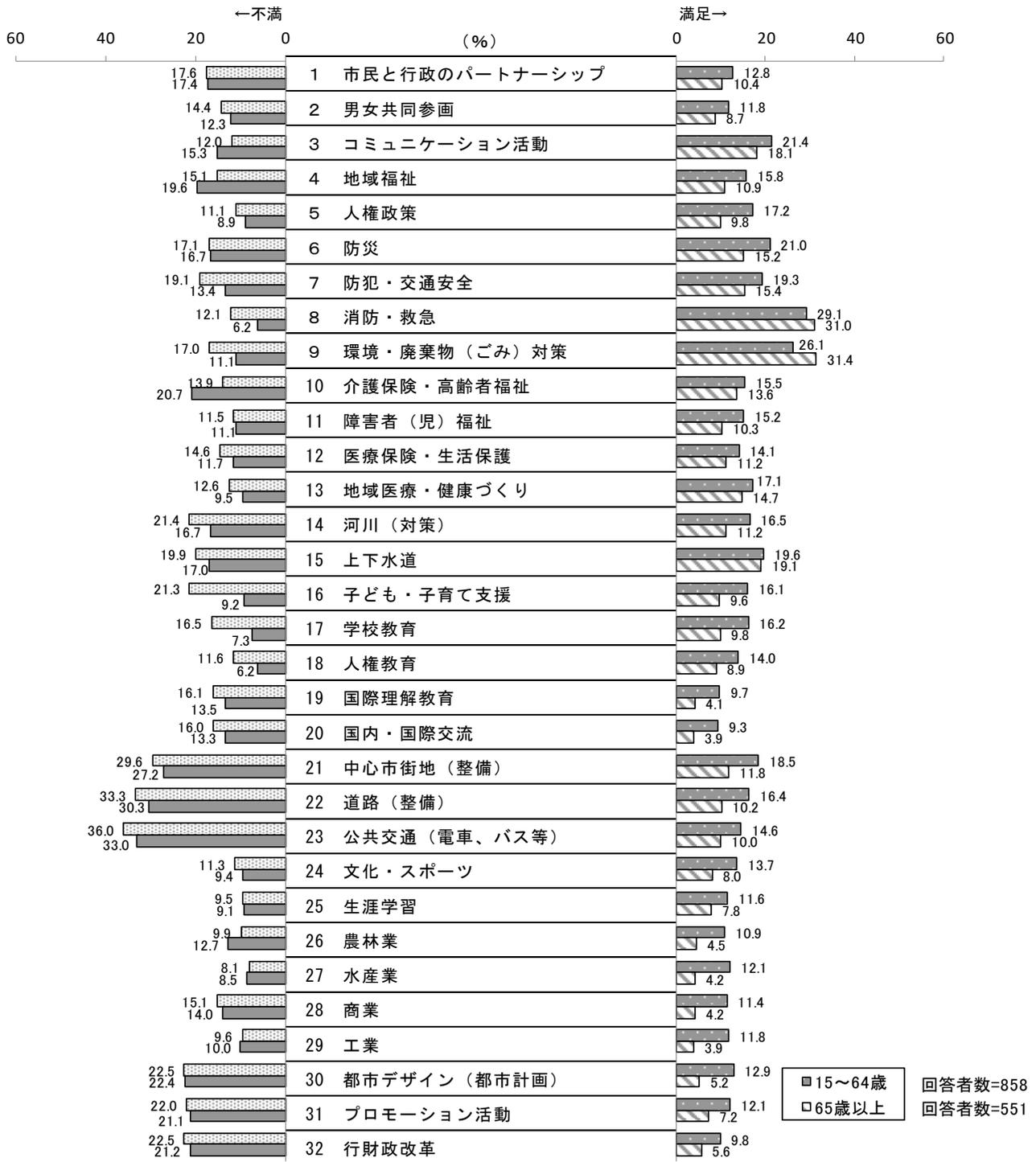


図表 131 満足度【性別】



性別でみると、『満足』は、「河川（対策）」「上下水道」は男性で高くなっています。また、『不満』は、「中心市街地（整備）」「都市デザイン（都市計画）」「プロモーション活動（観光・市のPR）」「行財政改革」などは男性で高くなっています。

図表 132 満足度【年齢別】



年齢別でみると、『満足』は、「人権政策」「水産業」「商業」「工業」「都市デザイン（都市計画）」は15~64歳で高くなっています。また、『不満』は、「子ども・子育て支援」は15~64歳で10ポイント以上高くなっています。

<今後の重要度>

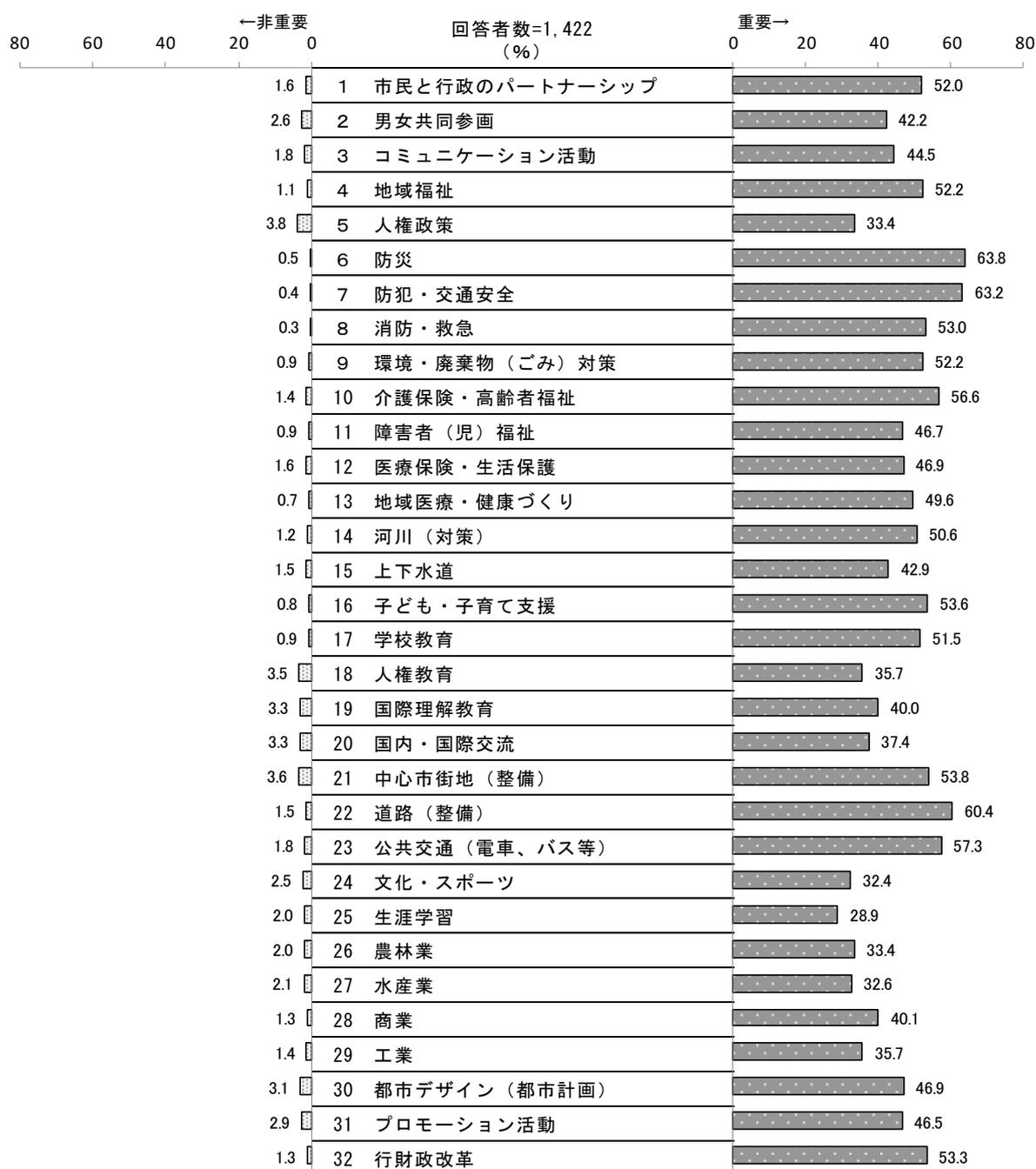
		組 む を 入 れ て 取 り	き れ て 取 り 組 む を 入	今 の ま ま で よ い	な あ ま り も よ い を 入 れ	も 力 を 入 れ な く て	無 回 答
回答者数=1,422							
1	市民と行政のパートナーシップ	13.0	39.0	34.8	0.8	0.8	11.6
2	男女共同参画	8.7	33.5	43.2	1.8	0.8	12.0
3	コミュニケーション活動（広報・広聴、市民との情報共有）	11.5	33.0	42.5	1.2	0.6	11.3
4	地域福祉	13.9	38.3	35.2	0.5	0.6	11.7
5	人権政策	8.9	24.5	50.4	2.5	1.3	12.3
6	防災	27.4	36.4	25.3	0.1	0.4	10.5
7	防犯・交通安全	25.0	38.2	25.7	0.1	0.3	10.7
8	消防・救急	20.7	32.3	35.2	0.1	0.2	11.5
9	環境・廃棄物（ごみ）対策	17.8	34.4	35.9	0.3	0.6	11.1
10	介護保険・高齢者福祉	20.3	36.3	31.2	0.9	0.5	10.8
11	障害者（児）福祉	15.3	31.4	40.7	0.5	0.4	11.7
12	医療保険・生活保護	15.8	31.1	39.7	0.9	0.7	11.8
13	地域医療・健康づくり	14.8	34.8	37.8	0.3	0.4	12.0
14	河川（対策）	20.6	30.0	36.6	0.6	0.6	11.6
15	上下水道	17.3	25.6	44.7	0.9	0.6	10.9
16	子ども・子育て支援	22.4	31.2	34.1	0.4	0.4	11.6
17	学校教育	21.0	30.5	35.7	0.3	0.6	12.0
18	人権教育	11.6	24.1	48.6	2.1	1.4	12.2
19	国際理解教育	10.0	30.0	44.3	2.0	1.3	12.4
20	国内・国際交流	9.1	28.3	46.6	2.1	1.2	12.7
21	中心市街地（整備）	19.8	34.0	30.7	2.2	1.4	12.0
22	道路（整備）	23.8	36.6	27.4	1.1	0.4	10.8
23	公共交通（電車、バス等）	21.0	36.3	30.5	1.0	0.8	10.4
24	文化・スポーツ	7.2	25.2	53.2	1.5	1.0	11.8
25	生涯学習	6.8	22.1	57.1	0.9	1.1	12.1
26	農林業	8.7	24.7	52.2	1.1	0.9	12.4
27	水産業	8.5	24.1	52.3	1.3	0.8	12.9
28	商業	12.2	27.9	45.7	0.6	0.7	12.8
29	工業	10.1	25.6	50.1	0.6	0.8	12.7
30	都市デザイン（都市計画）	16.0	30.9	37.6	1.8	1.3	12.4
31	プロモーション活動（観光・市のPR）	14.8	31.7	38.0	1.8	1.1	12.7
32	行財政改革	21.9	31.4	32.3	0.6	0.7	13.1

市のまちづくり施策（分野）について、「力を入れて取り組むべき」「できれば力を入れて取り組むべき」と回答した割合の合計『重要』をみると、「防災」が63.8%で最も高くなっています。

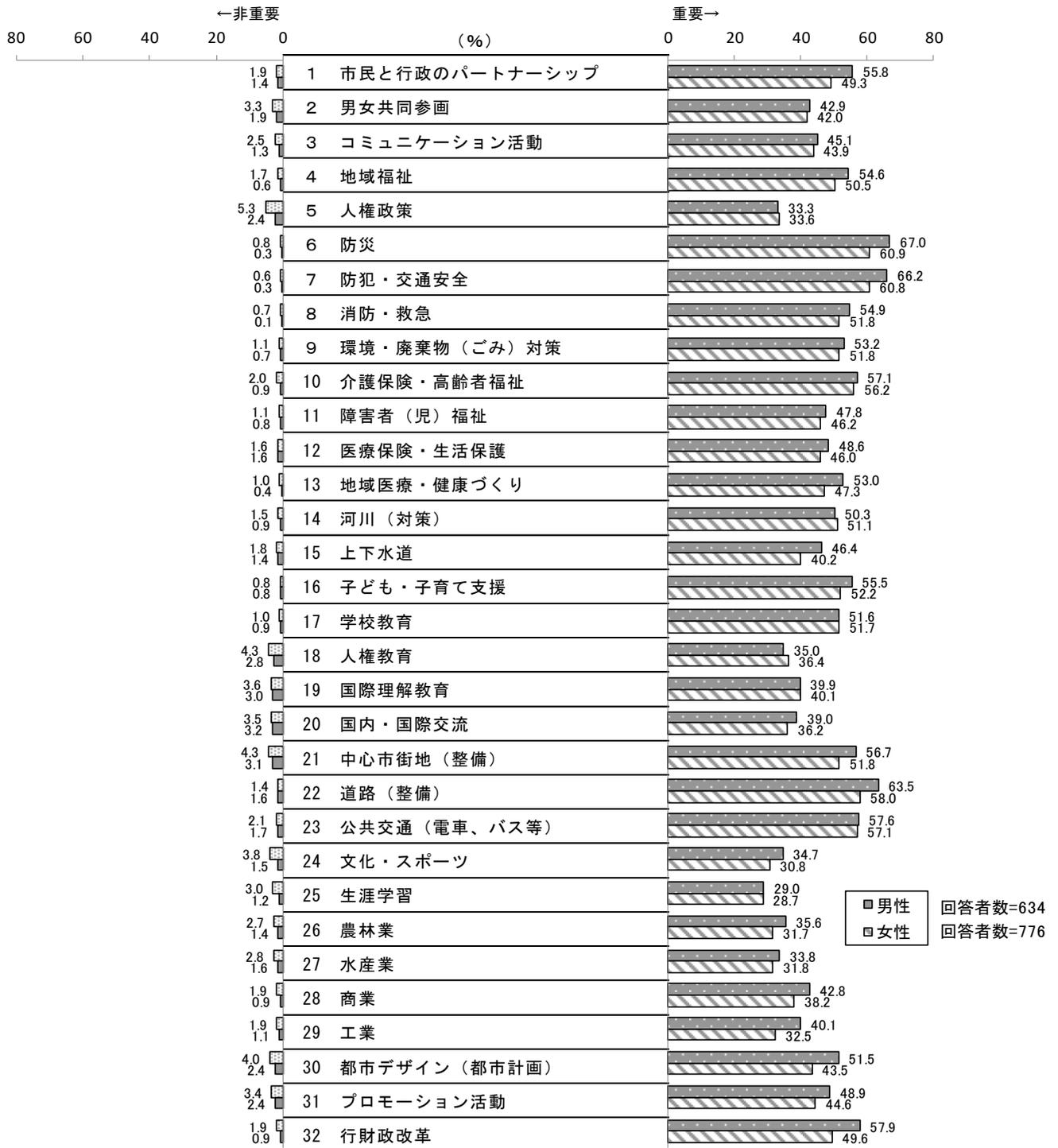
今後の重要度について、「力を入れて取り組むべき」と「できれば力を入れて取り組むべき」を合わせた『重要』みると、「防災」が63.8%と最も高く、次いで「防犯・交通安全」（63.2%）、「道路（整備）」（60.4%）、「公共交通（電車、バス等）」（57.3%）、「介護保険・高齢者福祉」（56.6%）となっています。

32項目のうち14項目は、半数以上の方が『重要』と回答しています。

図表 133 重要度【全体】

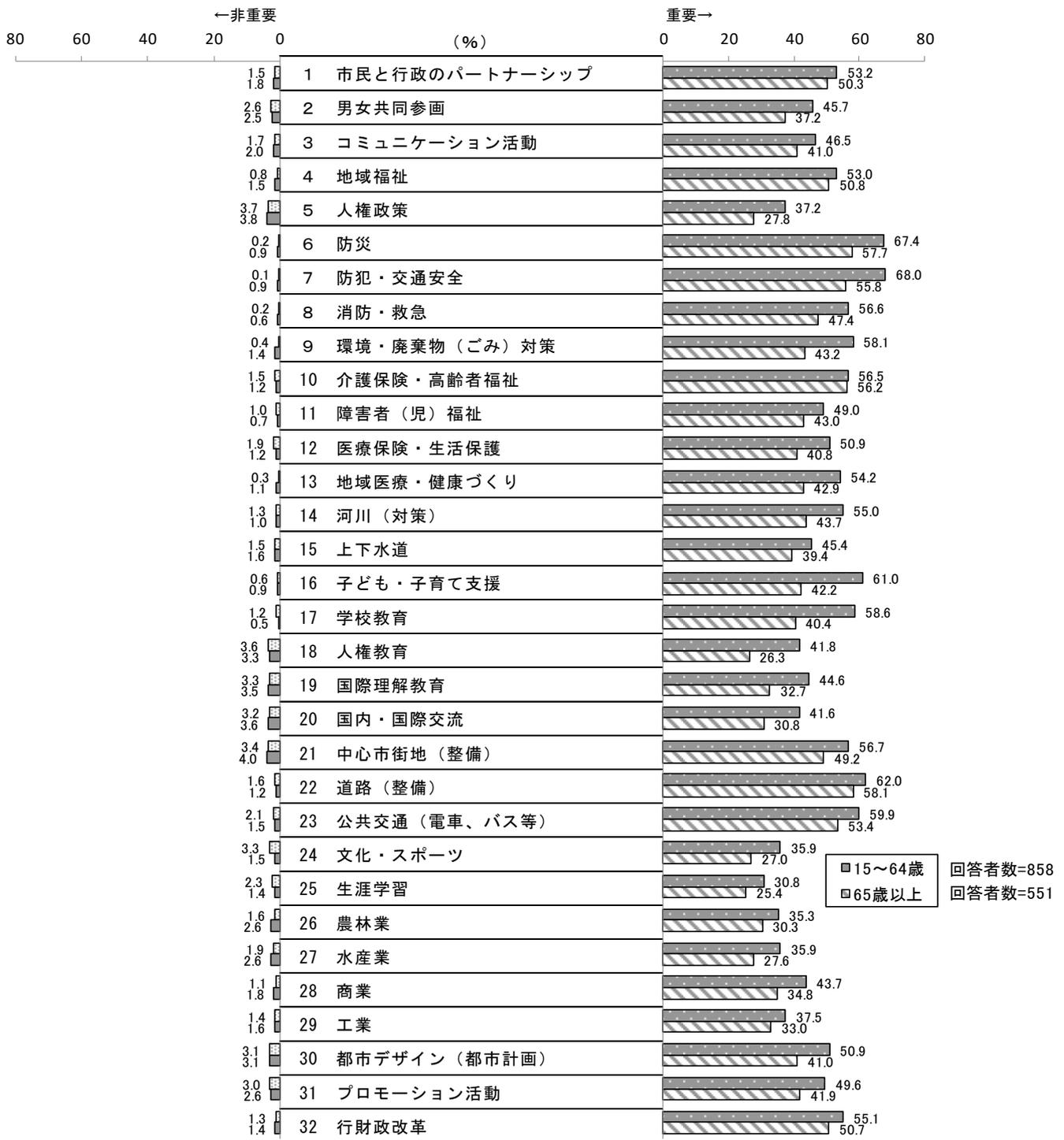


図表 134 重要度【性別】



性別で見ると、『重要』は、「市民と行政のパートナーシップ」「防災」「上下水道」「工業」「行財政改革」では男性で高くなっています。

図表 135 重要度【年齢別】



年齢別でみると、『重要』は、「環境・廃棄物（ごみ）対策」「医療保険・生活保護」「地域医療・健康づくり」「河川（対策）」「子ども・子育て支援」「学校教育」「人権教育」「国際理解教育」「国内・国際交流」では15~64歳で10ポイント以上高くなっています。